

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-32)、
廃棄物管理施設(8)、MOX燃料加工施設(2-3))」

2. 日時：令和5年3月3日(金) 10時00分～12時20分
13時30分～17時05分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任
安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、大岡安全審
査官、上出安全審査官、武田安全審査官、高梨安全審査専門職、清水係
員

日本原燃株式会社 再処理・MOX設工認総括副責任者 他26名

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門

原燃計画グループリーダー 他1名

東北電力株式会社 原子力部 課長 他1名

電源開発株式会社 原子力技術部 原子燃料室 上席課長

三菱重工業株式会社 原子力セグメント プラント設計部

総合配置計画課長 他1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和５年２月２８日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和５年２月２８日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html
- ・ 令和５年１月５日

「日本原燃(株) 再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

- ・ 令和5年3月1日

「日本原燃(株) 再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

- ・ 令和5年3月2日

「日本原燃(株) 再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	佐野タケダです。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始いたします。
0:00:05	本日のヒアリングは、令和4年に申請があった再処理設工認と、
0:00:11	令和5年の2月に申請があったMOXの設工認について、事実確認を行うものになります。
0:00:20	規制庁側の出席者ですが、本庁側からタジリフジワラ。
0:00:26	オオハシCCDPずタケダ、WEBからの参加がコサクオオオカタカナシハバサキカミデキシノセトガワ以上になります。
0:00:37	それでは日本原燃の方から出席者の紹介と、それぞれの役割について説明をいただき、
0:00:44	あと本日のヒアリングでの説明範囲、達成目標について説明をお願いいたします。
0:00:52	日本原燃事務局中浜でございます。
0:00:55	日本原燃側出席者紹介いたします。
0:00:59	まず事務局でございますけども再処理側からサトウ、
0:01:03	タカハシ、フジノ、
0:01:06	ナカハマ、
0:01:07	MOX側から、タニグチイシハラ。
0:01:11	以上となります。それと、溢水側の方、いす医薬品ですね、溢水医薬品側の参加者でございますけれども、
0:01:18	シノザキカシワムラ。
0:01:21	アカマツ。
0:01:23	堀口。
0:01:24	阿部。
0:01:25	SA関係で、堀口。
0:01:28	あと電力さんから、関西電力様から、笹川様。
0:01:33	三菱重工城様から、櫻井様。
0:01:37	以上となります。
0:01:39	それではまず、スケジュール関係についてご説明差し上げます。
0:01:46	はい。日本原燃の戸井田です。再処理のスケジュールですけども昨日、共通12月仮の重大事故の方ご説明させていただいて、今ですねちょう

	どスケジュールに展開する作業してます特に重大事故の方ですね、笹井スケジュールで反映できるように、
0:02:02	あると考えてますので、そちら、今日反映作業しまして、夕方提出して月曜日の朝部屋で、状況の方を説明させていただきたいなというふうに考えていました。
0:02:12	処理側は本日の朝日家の内容としては以上になります。
0:02:20	はい。日本原燃品川さんも、その後昨日の朝のヒアリングでお話をさせていただいてた、今後の進め方、あたり3月の審査会を何をターゲットにするのかと。
0:02:34	いうことの資料ですが本日横断しまして来週の
0:02:38	秋谷の中でまずは概略の確認をさせていただければと思っておりました。以上です。
0:02:48	規制庁の竹田です。それでは今説明いただいた内容につきまして規制庁側から確認あればお願いいたします。
0:02:58	規制庁の田尻です。あと、まず最初に坂に関してはもう、構造関係に関してはここにヒアリングするCSAとかも個別にヒアリング設定してそれぞれでまずやっていくってということなので、今日話すことは特にないって感じですかね。
0:03:13	日本原燃の別所です。はい。まずヒアリングがありますので、そちら踏まえてということを考えておりました。
0:03:19	規制庁鳥居です。不適合とかの話も後にヒアリングがあると思うんですけどやってやった方が早いような気がすんで状況は変わりました。木製に関しては、今日示すって言われたのは、何を示すんでしたっけスケジュール。
0:03:31	話を来週からという話で、今日の時点で何の資料がくんでしたっけ。スケジュールのベースなる今後の進め方、3月の審査会合20何をやろうと思ってるのか、それに向けてどういう、
0:03:44	説明をしていきたいのかということの考え方を説明をさせていただこうと思ってます。それが先日ですかね私が言ったまずはそれを出して、それをもとに、
0:03:55	スケジュールに落としたものを、来週中というお話を、最初のジョイントした形というお話をさせていただきたいと思っておりました。以上です。はい、規制庁体制が変わりました。

0:04:06	江藤。なぜ今日出てくるやつを踏まえながら最初にとも調整した上でのスケジュールが今後示されて中であってっていう形ですね状況はわかりました。自分から最初にMOXのスケジュールは以上ですけど他の方あればお願いします。
0:04:37	規制庁の大橋です。ちょっとあっせん確認をしたいんですけども、
0:04:44	今回
0:04:45	衛藤。
0:04:46	草間 2 回の申請もあったということなんですけれども以前厳然の方では、とりあえずの連携を図って進めていくというような話があったんですけども、今後
0:04:58	そういったその連携を踏まえたその申請の計画とかそういったことをどのように考えてるのかっていうのをちょっと説明いただけますでしょうか。
0:05:10	はい、吉尾でございます。はい。
0:05:13	まず最初に僕それぞれ I I I A S ですと
0:05:20	観点がそれぞれありますので、
0:05:22	最初にの方でいきますと、P P の変更ですね、が、すでに幾つか、
0:05:30	出ております。これも以前お約束したのは、
0:05:34	P P の変更申請の内容がですね、
0:05:38	設工認の申請をしている設備の設計仕様等に係るものである場合は、
0:05:44	申請の前にですねどういう位置付けのもので、どの申請の情報の設計方針と考えた、リンクしているのかということ整理をした上で、
0:05:55	お話をさせていただく。それをもとに申請計画を示していくというお話をさせていただいたんですが、
0:06:03	1 月末に P のとフィルター関係でですね、申請が出てますがこれすいませんもともとのお約束でき、していた調整ができないまま出ていってしまってるというのが現状でございます。
0:06:15	それで、至急関係者で話をしてですね、
0:06:20	あるべき姿に基づいて、今回の接待議会の最初の設置工事においても、それがその応援 P P 規定の変更と関係する。
0:06:31	条文の設計方針なのかというのを、整理をした上で、番号は設工認でしっかりと説明をしていくということをさせていただこうと思っております。

0:06:42	その辺の全体の考え方について進め方についてまた別途整理をした上で、お示しをさせていただければと思います。
0:06:50	これが最初井川の話でもう複数の形についてが関係でいきますと、S G 設備が今回第 3 回の申請の設備に、
0:07:02	直接関係するようなものがあります。これについては、
0:07:06	第 1 回の安全機能を有する施設であったり、重大事故等対処設備の基本設計方針であったり添付書類の設計方針の中で、
0:07:16	安全機能を有する施設等 S G P 関係の設備は倉庫に影響を及ぼさないように設計をするという方針をうたってございます。
0:07:24	また耐震関係では、下位クラスの波及影響の観点の中では改革の中にそういった S G P 設備を含めた形で、設計を示していくというお約束をしております。
0:07:36	そういった意味で第 2 回の申請、今回させていただきましたがその設備に関係する S G であったり P P の設備、6 S B せ S G の設備が、
0:07:46	直接、安全機能有する設備等を履行するというのが強いものもありますので、そういったものを全部明らかにした上で、
0:07:54	今回の申請との関係であったり、設備等の設計の考え関係ですね、そういったものをまとめて、議会の審査の中でご説明をさせていただきたいと思っております。以上です。
0:08:10	はい、ありがとうございます。
0:08:12	衛藤。
0:08:15	今後の計画を示されるのは何かいつぐらいにとかっていうのは、
0:08:23	はい、西原でございますがすでに出てきてしまったものに対してどういう説明を設工認としてしていくのかというご説明もいりますし、今後申請をする可能性のあるものっていうのも挙げた上で、
0:08:37	おそらく説明をしないとですね、また行き当たりばったり直径しか見えてないって話になりますんで、
0:08:43	そこも含めて、社内で調整をさせていただきますが若干また別途スケジュール化については、
0:08:50	お示しをさせていただければと思いますけど今の時点で、すみませんまだ即答できる状態にないので、少々お時間いただければと思いました。以上です。
0:09:01	はい、わかりました。今後で調整したら、また、

0:09:06	ご連絡いただき、示していただければと思います。
0:09:14	私から規制庁不足です。古作です。
0:09:18	スケジュール示していただくのがまず最初なんですけど、それぞれどう進めるのかっていう話でいうと、
0:09:29	最初の方であれば、
0:09:32	核セキュリティ部門の担当者。
0:09:36	ボックスの方で言えば、
0:09:42	何ですかね、S G室なり、I A E Aとの関係で、
0:09:46	設計上、何か、
0:09:49	論点とすぐされなきゃいけないというところがあればかもしれませんけど、
0:09:54	s 10 室の担当者と、
0:09:57	ということで、ヒアリングに同席いただくなり、別途進め方の面談をしたりと。
0:10:03	いうところで調整をしていかなきゃいけないと思いますので、
0:10:07	その点も調整できるようにスケジュールを示し方のところで、
0:10:13	検討いただければと。
0:10:16	よろしく。
0:10:18	はい。二本木西田でございます。はい。最初に目途に、今おっしゃったようにそれぞれの関係部署、
0:10:27	規制庁さんが関係部署とも話を連携しながらやっていかなきゃいけないと思いますのでそういう点も踏まえたスケジュールをお示しをしたいと思います。以上です。
0:10:46	規制庁の決得です。
0:10:48	その他の日本下の方から、本日の朝の認識合わせで共有する内容等はございますでしょうか。
0:11:01	日本原燃の藤尾です。本日は特にございません。
0:11:05	はい、規制庁だけです。わかりました。それでは規制庁側から何かございますでしょうか。
0:11:14	特にないでしょう。
0:11:16	それでは本日の朝の認識合わせのヒアリングについては、これで終了とさせていただきます。
0:11:24	この後どうしましょうか、少し

0:11:27	もう午前中の担当の方は元の方が出席はされてますか。
0:11:34	4 ページの藤江です。はい。もう、
0:11:36	準備ができております。
0:11:44	あの、タケダさん、はい、すみません日本原燃の藤です。
0:11:47	少しメンバーの入れ替えだけするのでこれはいるんですが、関係ないとか、退席させたいメンバーもいるので、少しだけ時間もらってもよろしいですか。はい、規制庁だけです。わかりました。それでは、十時20分再開でよろしいでしょうか。
0:12:03	日本原燃藤間です。はい。よろしくお願いいたします。
0:12:07	江島タケダです。わかりました。それでは10時20分に再開いたします。よろしくお願いいたします。
0:00:00	はい、よくお伺いしました。
0:00:03	それ一緒薬品についてのヒアリングを開始したいと思います。
0:00:11	本日の
0:00:13	ルーディング項目としてはコメントリストとやって、現地の0で個別の確認というところで、その先にコメントリストについて確認進めたいと思いますのでまず原燃側から説明の方をお願いします。
0:00:28	はい。日本原燃の篠崎でございます。令和5年3月1日に提出させていただきました、コメントに対応、対する対応方針について、説明差し上げます。
0:00:40	まず、この対応方針リストでございますけれども、2月に何回かいただきました、ヒアリング溢水のヒアリングの中で、いただいたコメント、
0:00:51	こちらについて整理するとともに、その対応方針について整理したものでございます。
0:00:58	いただいたコメントをちゃんと我々がキャッチアップできているかと、あとは、それに対する対応ですね、
0:01:08	意図するところと、違った方向に走らないようにですね、
0:01:12	対応方針について共通の認識を持ってればといったところに活用したいと思って準備したものでございます。
0:01:20	られながらですねいただいたコメントについてはもちろん速やかに検討着手してございますけれども、
0:01:28	まだ確定的にこういう対応にするんだと決めきってないところが大多数ございまして、

0:01:34	現時点でこの対応方針、中身にプアなところがございます。検討してこういうところに反映してきますよ。しかもまだ書けてないところも多数ございますので、
0:01:44	こういったところにつきましては適宜ですね、対応方針を決めてこのリストを更新させていただきたいと思っております。
0:01:54	また、溢水のほうのリストの列真ん中ぐらいに、化学薬品漏えいの展開といった列を設けさせていただいております。
0:02:04	溢水薬品、中内容構成に共通するところがございますので、溢水側でいただいたコメントにつきましては、当然化学薬品漏えいに
0:02:16	同様にですね、展開すべきものでございますので、
0:02:19	それについて我々こう認識しますよといったところを示すために、この養父展開を不要といった列を設けさせていただいております。
0:02:26	また一番右の列でございますけれども、
0:02:29	また条文とか、共通中に資料等ですね関係があるコメントかどうかといったところのフラグ立てをする列を設けさせていただいております。
0:02:40	この中でも特に共通 12 というところにつきましては、
0:02:44	そもそも出てくる設備、
0:02:48	或いは設計要求みたいなところに関わるコメントでございますので、
0:02:54	こういったところ共通 12 の議論を進める上でも、優先的に承知していかなくちゃいけないコメントというふうに我々認識しているところでございます。
0:03:04	はい。江藤先ほど申しましたようにまだ対応方針、しっかり書き切れてなくて、例えば 7 番みたいに、
0:03:12	説明順序とですね
0:03:15	説明すべき順序等、申請書の構成が合っていないみたいなおところにつきましては、
0:03:20	こういう順序に見直しますですとか、
0:03:23	書けるところは、現時点で書けるところについては、変えてきたつもりでございますけれども、現状ということで、共有させていただきました。
0:03:33	コメントに対する対応方針についての説明簡単ですが以上です。

0:03:39	はい。規制庁清水です。認識されてる通り対応方針のところも具体的な検討状況っていうのはあまり示されていなくて検討中ということなんだとは思いますが、
0:03:52	とりあえず
0:03:53	今後整理が必要な事項としてはまずは、こういったところもあるっていうこと認識されてるっていうことで確認はできたと思うんですけど。
0:04:01	具体的に早めに設計とか評価とかに影響しそうなことで確認したい事項、ちょっと検討状況というところを確認したいと思っています。
0:04:12	ちょっと上から順番に行って、
0:04:15	ナンバー1にはちょっと記載の、
0:04:18	話なのでNo. 3ですね、SAとの書き分けに関して、
0:04:25	と、
0:04:26	地震動の条件は1.0S s、また1.2S sの話どうするのかっていうことでこれナンバースリー等でもナンバー5を関係すると思うんですけど、
0:04:36	ここは地震動の条件っていうのはSAとDBでどういうふうにするのかって、今の検討状況方針と違って進捗ありますでしょうか。
0:04:54	はい。日本原燃篠崎でございます。今伊勢条文側でスケジュールでも示させていただいておりますけれども、3月中旬ぐらいから
0:05:06	実施に関連するところでの、SFの条文要求たところを明確にしてヒアリングさせていただく。
0:05:13	ことにしてございますけれども、そういうスケジュール感で作業を進めてございます。
0:05:18	それを踏まえて我々
0:05:22	の利水側としてですね、
0:05:24	申請書の方に反映していくという作業に、
0:05:27	入りたいとももちろん並行して進めますが、始めたいと思ってるところでございます。
0:05:33	成長趣味ですとSAとの関係ではまず、十時17でSAとの比較っていうところでまず項目はさ、早く整理されてるっていうことは認識しててもその具体的な、
0:05:46	SA側での条件っていうところも、
0:05:48	も含めて3月中旬にはその内容も整理されるっていうそういうことなんの説明と理解しましたが、認識やってますでしょ。

0:06:01	根井の堀口です今、
0:06:04	中重大事故側は立て付けの話と、どこにその 1.2 を今入れるかっていうところのボックスの申請とも、
0:06:13	横目に見ながら今どういうふうに直していくかっていうところ後、そもそもさ、めっちゃ
0:06:20	S G という重大事故としてはっていうよりもまず
0:06:25	全体として、水側で何を S A から受け取るかは決めるんだよね。それはだから溢水としてこういう評価をするから、どういう情報があるかっていうのを決めた上で、
0:06:36	それに対して、S A 側ではどういう情報を、どういう条件をつけて渡すかっていうのを決めるんだよね。
0:06:42	最終的にどういう評価を、溢水としてやっていくかってところがゴールなんです。
0:06:48	このゴールまでにどうやっていくかを説明しないと、S A としては出ないと向こうも困るんです。はい。すみません。補足です。すみません。その通りなんですけど。
0:06:59	ちょっと私が一番乗り遅れてるかもしれないので、質問するとですね。
0:07:06	体全体の話でいうと耐震の方でも波及影響を及ぼす数機器について、どういうふうな構造なのかっていうのは話を整理しないとというようなことを言われてますけど、
0:07:20	どういう同様の視点で溢水の場合は 1 水源。
0:07:25	としない。
0:07:27	耐震補強の設備というのがあって、
0:07:30	それをしっかりと抽出をするということが、ここで 1.01. 2。
0:07:38	溢水するっていう部分になるんだろうと思うんですね。
0:07:42	そうしたときに、
0:07:47	どこでその機器が抽出されるのかと、いうことなんですけど。
0:07:53	少なくとも重大事故の方で、この設備は溢水から守ります、この設備は 1.2 S s の地震動による五つ位から守りますと。
0:08:04	いうことは言うと思うんですけど、
0:08:07	1 水源の設定どうするかっていう話は、何か一斉に移ってからのような気もするんですけどその理解でまずいいですか。

0:08:18	はい。日本原燃篠崎です。その理解でよろしいです。S A側で、今おっしゃられたような、ここを守りたいといった状況もあって、溢水が、
0:08:28	1と5実現にするか、実現か除外するかというところに論じることになります。
0:08:36	はい。補足です。で、今のような話ワー
0:08:42	十時17とかの話の中でどこでどの程度書いて渡しますっていうのは、文章としては明確にされるということだと理解をしていますがそれもそれでいいですね。
0:08:57	江良堀口でその理解で大丈夫です。
0:09:00	以上です。
0:09:01	はい。補足です。で、その上で引き取った後、具体的に、溢水経路とかを考えるとこの範囲については、
0:09:13	1.0 S s 1.2 S s の評価をして水源の設定をする必要がありますねと。
0:09:20	いうことになってと。
0:09:23	ということですけど、具体的にどこの場所が 1.0 S s
0:09:29	での評価なのか、1.2 S s の評価なのか、具体としてどれを設定するのかと。
0:09:37	ということについて、いつぐらいに整理されるんでしょうか。
0:09:52	はい。日本原燃篠崎でございます。今言われたのは、それを決めないと、そもそもそのイスイ条文としてのストーリーとして、
0:10:02	どう評価につなげるかっていうところが、
0:10:05	明確にならない。
0:10:07	と思いますし、それはS A条文から必ずしもこれっていう対象をもらわなくてもですね。
0:10:14	ええ。
0:10:16	どういうふうに、
0:10:18	整理するかというのはできると思いますので、まず、ターゲットはっていう、いつならいつ。
0:10:24	来週、そっち。
0:10:29	コサクですけど、まず言われた通り、記載ぶりをどうこうっていう調整をしなくても、内容としてはすでに申請をされているわけで、
0:10:40	説明はできるという、事実関係とするとそうだと思うんです。

0:10:45	一方で、審査会合とかでも順を追って説明してもらわないとこちらは聞けないという話をして、
0:10:53	いるのですけど、
0:10:55	アサカイでも言っている通り、
0:11:00	細かな記載ぶりはさておいて、重大事故の1ポツの関係っていうところで今話をしたように、
0:11:11	1.0 S sとして溢水防護します。一定に清掃して溢水防護しますという方針さえ聞ければ、市側でそのに対応してっていうヒアリングができるわけで、
0:11:24	重大事故でそれぐらいは早く引き継ぎましょうよということ言っていて、今日資料提示があるんですけど。
0:11:32	骨格を示してっていうふうに話がされてますから、それを踏まえて
0:11:38	こう示していきますということはいえると思うんですけどいかがでしょうか。
0:11:45	はい。日本原燃の堀口です。はい。今日の観光、そして来週にかんぼスプールっていう、
0:11:52	馬路シーンを基にしたSAのルール
0:11:59	固められるので来週中にSEチームに、はい。
0:12:03	情報を付与します。
0:12:06	はい。以上です。
0:12:11	コサクですけどその上で溢水側のその何を評価して云々っていうのは何でしょうか。
0:12:17	派遣の上、日本原燃篠崎です。
0:12:23	今の2、半分並行しまして作業を進めることとして、
0:12:29	来週そういう作業がされるということなので、衛藤。
0:12:32	来週中にそういったところ我々も整理して、その翌週の頭ぐらいにはちょっと紙示せるようなスピード感で作業を進めたいと思います。
0:12:48	コサクですけど今は、今、今の時点から言うと再来週早め、
0:12:55	日本原電シノザキですはい。十河ターゲットにさせていただきたいと思います。
0:13:02	コサクですけど、ということは時実態問題でいうとまだ作業ができてないと。
0:13:12	はい、衛藤4の1だけでございます。

0:13:18	そうですねいろいろ。
0:13:21	頭でこねくりまわしてますけれども、
0:13:23	今ここでご説明できるようなところまで、作業っす始められてないって いう。
0:13:29	状況かと思います。
0:13:33	コサクでスウチヨ案とりあえず状況はわかりましたけど、何でそんな作 業状況なんだろうっていう疑問はいっぱいあつ。
0:13:41	作業として何をすべきかが特定できてないような気はしますが、とり あえず清水さんにお返しします。
0:13:50	規制庁清水です。実際その申請出てる時点でもう1点にS s っていう言 葉すら出てこなくて、ちょっと全く触れられてないので、
0:14:01	あまり元から整理できていなかったのかなとは思んですけど実際その
0:14:06	頭は1.2 S s 2 を持つようにしますとして公表カー内容が変わる評価とし て、
0:14:13	条件として変わらないのかとかそこら辺は、
0:14:18	今後、
0:14:19	早めに確認はしたいと思うので、まず
0:14:23	この設備を1.0 S s で守るのか1.2 節で守るのかというところの整理を早 めに提示していただければ、再来週早めということだったので、
0:14:36	作業の方お願いします。
0:14:42	0 シノザキすみません、日本原燃所だけ承知しました。
0:14:51	はい。
0:14:52	なんですけども、
0:14:54	ちょっとS A との関係でもう続いてナンバー8、2 ページ目に移ってナン バー8 のコメン。
0:15:05	違いますNo. 8、
0:15:08	あとNo.15 なんですけれどもちょっと現場前後してしまうんですけど、そ のS A 設備の選定に関して、今まで操作場所とかそういうところアクセ スルトなんか抜けてたから
0:15:21	それも表、対象の選定するっていう話があったと思うんですけども、そ この整理状況。
0:15:32	としては、

0:15:34	どういう状況なんですが、もうそういったところは許可とかでも示してるから、場所としてはここは守らないといけないっていうところも抽出されてると思って、
0:15:44	それを示す、
0:15:47	あとはそれを示すだけっていうそういう状況ですかね。
0:16:01	規制庁の田尻です。さっきのやつでこれの内容も含んでましたかねちなみにあのさっきS Eお話されて、あれが対処設備の話だけされたのか、ルートとかの話も込みで言われたのかを、さっき聞くの忘れていました。
0:16:14	質問に繋がったと思うんですけど、さっき説明があった内容っていうのはこういった場所耐震対応場所とかの話も込みの話でしたっけ。
0:16:28	はい。日本原燃の堀口です。ルートも含めて、はい。整理をしてそれで、再来週の早い段階で説明できるようにいたします。今、現状としまして15番の、
0:16:39	アクセスルートのところについてですけども、溢水の防護区画としての設定を、
0:16:45	をする。
0:16:46	してそれでどうやって整理、評価するかっていうところの確認作業。
0:16:51	行っているところで、まだ
0:16:55	具体的な評価進んでるわけじゃないところでした。以上です。
0:17:00	社長の通りです。ちょっと認識が確認したいんですけど、評価が進んでないってのは、対象の抽出自体ができてないって話でこれって、谷中先ほど清水からもお伝えしたんですけど許可の時にある程度できている者がいる気がするので、
0:17:14	物としては特定できてるんだけど
0:17:18	区画の設定であるとかどっからどこまでやるかっていう話を綺麗に整理できてなかったっちゃう話ですかね。
0:17:26	原燃の萩さん、田尻さんが来最後におっしゃっていただいたところになります抽出は終わっているんですけどそれをどうやって評価するかっていう細かいところの調整がまだできてない状況でした。以上です。
0:17:38	はい、規制庁滝です。だって再来週示される時点ではここですよとかっていう何か単なる情報だけじゃなくてそこに対してどうやって構造を持

	ってますとかっていうところまで整理されたぐらいのレベルのもんが示せる状況になってるところですね。
0:17:56	保健所の方に、はい。
0:17:57	そのつもりです。以上です。
0:18:01	コサクです。今の点は私としてもちょっと確認したいんですけど、アクセスルート自体は許可で特定はしているのだけど、それに繋がる。
0:18:12	溢水として考慮しなきゃいけないエリアっていうのはもう少し広がるので、それを今回、特定をしていってます。それを踏まえて、水源としてどうするかみたいなどころの整理を進めていて、
0:18:28	再来週頭に提示をしますと、ということですか。
0:18:34	日本原燃の堀口ですおっしゃる通りです今までアクセスルート、
0:18:38	は、
0:18:41	何すか、一斉にある程度駅があっても、ちょっと水に使いながらでも歩けるだろうというところを今現在見直しをして、しっかりと溢水高さを下げ、下げて、背が下げなければということ、
0:18:53	見直しを行っているところでした。
0:18:56	はい。以上です。
0:18:58	はい。コサクです状況はわかりました。田尻さんどうぞ。
0:19:02	佐治です。
0:19:03	最後に言われたやつのところもちょっと、
0:19:05	聞いておきたかったんですけど。
0:19:07	まだアクセスルートの話で、どこまでの高さを考慮するっていう話のときに、
0:19:14	何て言うなら、どの高さまでっていうのが前の時だと結構高いところまで大丈夫なんか試験試験なのか訓練なのかしましたみたいな話でやっただんですけど、結局どういった整備しようとしてるかの考え方というのはもう大体定まってるんですかね。
0:19:28	何センチまでならオッケーとかってするか、もしくは地下階段とかで開口があるので過渡的にしか水たまりないでここは行けるんですかという説明をする可能性とか、実用炉を見てるとあたりするんですけど。
0:19:39	どういう考え方で最後説明しようとしてんでしたっけ。
0:19:45	日本原燃の堀口です。基本は、20センチ以下に、溢水高さを抑えてそれで移動。

0:19:54	に支障のないことにしようと考えてますが今ちょっと、
0:19:58	最地下階に関しては、ちょっとそこができるかどうかってところがありまして、あと袋小路のように、水が入ってきて、そ、抜けにくい、抜けないところっていう部屋をどうするかっていうところもちょっと、
0:20:10	現在検討してるところです基本は、20センチ以下に抑えようと考えております。以上です。
0:20:18	とりあえずを超えましたなんて9000人以下で、どうしても20センチ以下に水がたいところが最下階とかの話のところについて、事故対策設備でしようとしてるのかどうしようとしてるのかっていうのを今検討してるということで、よくわかりました。自分からは以上です。
0:20:34	成長シミズですと、今アクセス数、20センチの話が出たので、ちょっと関連して、
0:20:42	ナンバー32にも挙げてる通りそのDBでも、
0:20:47	元アクセス通路部、原則20センチとしつつ、後になお書きがあっってということがあって、実際評価、
0:20:56	の判定基準として、
0:20:59	ちゃんと
0:21:00	明確にするようにっていう話はあったと思うんですけど、結局、20センチ、原則統一20センチを超えないとしてそれだったらOKっていう、
0:21:12	そこの、
0:21:13	判定基準とかの整理って、
0:21:15	もうできてないんですけど、
0:21:19	試験して問題なかったから大丈夫ですとか、そういう説明にしようとしてるとかそういう方針とかって何か決まってますでしょうか。
0:21:29	日本原燃篠崎でございます。DBの世界ではですね、
0:21:36	その漏えい元を特定して閣僚しに行く。
0:21:41	というためのアクセス通路部ってのは設定ございませんでこれどちらかというとなSAを踏まえての記載になってございます。
0:21:48	ということで先ほどの話にちょっと包含されるんですが、
0:21:52	そこに寄りつけるというところで、20センチという基準を原則で、今、SA側で、
0:22:01	整理していただいと。それがここにも記載されていくものになるかなというふうに思っております。以上です。

0:22:08	はい、規制庁シミズここは主にS Aに該当する内容ということでそれはS A側の整理を踏まえて、提示されるってということで理解しました。
0:22:19	規制庁の田尻です。ちょっと関連してたんですけど、結構整理資料とかを見ていてなんですけど、事故対処っていう意味でいうと制御とかで対処できるんで現場行かなくてもいいっていう話の中もあるんですけど、
0:22:32	隔離とか一応現場に行く操作のことを許可のDBの方でも触れていたような気がするんですけど、今のお話だとS Aだけちゅう話だったんですけどd pにおいては、
0:22:43	現場に行くルートのところはフォローしなくてよくなっていると思えばいいんですけど。
0:22:53	はい。日本原燃篠崎でございます。事故対処とか、その後の確認とはまた別の話になるんですが、その区画として設定すべきアクセスログとしては、
0:23:05	漏えい元の特定、或いはそれを止めるための隔離のために行くところアクセス通路を設置することにしてございまして、それについてはDBとしてはない遠隔で全部対応できるという整理してございました。以上です。
0:23:19	規制庁鳥居です。なんで、今言われたようにDBとしては隔離とかのやつも含めて全部遠隔操作ができるので、アクセスルートがない。なんか許可時に、多少触れたけどあれは一応空中5のままになって、
0:23:32	対策の対象はないってことですね、状況はわかりました。
0:23:39	コサクです。今の話は、
0:23:42	設工認図書の中で明確に、
0:23:45	されてるってことでいいんですかね。或いは今後していくということなのかわかるんですけど、
0:23:54	はい。日本原燃篠崎でございます。
0:23:59	檀考えは今の通りなんですけども、それが
0:24:03	今はっきり明確にはなってないと思います特にこれS Aと交流しちゃうとS Aだけの話になって、
0:24:08	レビューがどうなったのかってわかんないままほったらかしになってしまう可能性もあるので、ちょっとそこはちゃんと書き下すようにいたします。
0:24:17	はい。補足ですよろしく申し上げます。それで

0:24:23	今のも、若干戻った話でいうと
0:24:28	どのぐらいの高さまでにするのかというところで、ただし書きだとかって、遠足だと言ってるところなんですけど。
0:24:37	日
0:24:39	例えば、32 番の話でいうと、4 ポツ溢水評価に追記するってなってるんですが、そもそもその設計コンセプトとしてどうするのかっていう意味だと基本設計方針なりそれを踏まえた、
0:24:54	添付書類の最初の方針あたり、
0:24:57	対応するものがあるんじゃないかなと思うんですけど。
0:25:02	この4 ポツって言うのは、
0:25:05	でも4-3 だから、多少もう深くなっちゃってるような、
0:25:10	気はしますけど。
0:25:12	ちゃんと上流までさかのぼったところでこういう体系であればいいとかっていう何か判断ありますか
0:25:29	はい。日本原燃篠崎でございます。あくまで判定基準というだけではなくて、設計条件といったところ認識しましたので、
0:25:39	4、今書いてる、ここより上流のところでも、どこか、先ほど言いましたようなところを、うたうことを考えます。
0:25:49	はい。補足ですよろしく申し上げます。そこがDBではSAではこうだったり、先ほど先ほど袋小路というところがあってとか、地下階ではっていうのも、
0:26:01	大差くうとの込みだとは思いますが、どういう考えのもとこういう判定基準にしますと、
0:26:08	いうことに繋がるように、こういうことができるようにしますということとは言ってもらえる必要があるかなと。
0:26:15	先ほど聞いて思いましたので、整理をした上でまたヒアリングで、確認できればと思います。よろしく申し上げます。
0:26:27	長シミズです。では続いて確認でちょっと若干細かいことにはなるんですけど、2 ページのNo.8 についてこれ前からお伝えしている言葉の定義について第1回、
0:26:41	見ます。
0:26:43	急いで

0:26:45	溢水防護設備と定義してるやつが今までは溢水対策設備になってたりしてもそこら辺はその対応方針にもある通り今その審査会合資料とかで示してる。
0:26:56	定義 2、申請書を整合しますよってことで回答があるんですけど、これで 100 の別紙 4 カラーを見直しするっていう、
0:27:06	ことが書かれてるんですけど、
0:27:09	浅野。
0:27:10	別紙 4 だけじゃなくて別紙 1 の本文から定義っていうのは出てると思うんですけど、そこは本文の記載の適正化として直すつもりっていう、
0:27:21	それも含めての回答ということでよろしいでしょ
0:27:25	はい。日本原燃嶋崎次数大変失礼いたしましたおっしゃる通り、
0:27:30	別紙、添付書類より上流からこれ後設備対策設備のところの定義をしっかりと書き分けないといけないと思ってますので、すいませんこれちょっと失念してました失礼しました。
0:27:42	わかりました第一課の時にも書いてたけど今回具体的にその対策設備とかが出てくる今回のところで記載の適正化なりなんなりで直す。
0:27:51	本文も直すっていうことで理解しました。
0:27:55	藤。
0:27:56	宇井鉄塔 No. 10 のコメントに関してなんですけども、
0:28:01	この基本設計方針側でその積等の設計の要求に関して、
0:28:08	振動 S s による地震力等の
0:28:12	辞書なんか影響を受ける事象に対して機能維持しますってこと書いてその等で他に、
0:28:19	何か放流することは実際なかったのですかっていう確認だったんですけども。
0:28:24	実際もともと想定しようとして何を想定してて実際に、
0:28:30	特に追加がなかったっていう結論もしそこに変更があれば、私は意見要求として確認、何か必要になってしまうんですけども、
0:28:40	ここを結論としては
0:28:43	何ですかね、検討が必要な荷重とか環境要因とかに漏れがあったなかったとかの確認状況とかって今どんな感じでしょうか。

0:28:54	はい。日本原燃篠崎でございます。この通り含まれの火災荷重とかそういったものがござありますけれども、これ許可の件ですね、この辺整理してご説明させてもらっておりまして、
0:29:07	結果として、地震力といったところを、
0:29:12	設計受けとして、
0:29:15	考慮すべき荷重、環境要因として含めるということで整理してございまして、
0:29:20	が増えるとは思っていないんですけれども、そういった説明がですね設工認の段においてスポッと抜けてしまってるといったところがございますので、そこを改めてこういう理由で考慮すべき荷重、環境要因というのは、
0:29:34	地震力なんですよといったところを整理して説明させていただこうと思っております。
0:29:40	慎重シミズですが、
0:29:42	確認あげた事象とかも踏まえて一通りの確認は進めて今のところ追加はないっていうことで、その状況でその結果を、は説明っていうところは共通 12 で、
0:29:55	早めに説明されるっていうことで理解しました。
0:30:05	！！ですかね。
0:30:10	すいません日本原燃篠崎でございます。
0:30:13	ちょっとこれ共通中に入れて書いてしまったんですけども、むしろ共通 12 では整理された、設計要求、
0:30:20	が
0:30:22	幹事会で書かれるところになりますので、
0:30:25	ちょっと共通中の中でその話をするのか、それより前にお話をして、それを前提で共通 12 を作り込んでいくのかってところは、すいませんちょっとご相談させてください。
0:30:36	長シミズは確かにここなら別にあれですね共通中に示すっていうことじゃなくて関係するところをただ書いてるだけっていうことをですね、イスイ側として早めに、
0:30:46	特に追加条件ありませんよっていうことを確認したいと思うので、
0:30:52	ちょっと最後に、

0:30:54	一応考え、確認した事項いつ何で示すのかっていうところを確認したいと思うので、
0:31:00	ここは
0:31:04	もう整理がついてるのであればこういう考え方結果地震力だけですっていう説明は溢水側で示してもらえればなとは思ってるので、
0:31:15	はい。思ってます。
0:31:19	コサクです。今の点、
0:31:23	位置付けは認識いただいたと思うんですけど、基本、溢水の 1.0 に相当する説明事項だと思いますので、整理をして、共通 12 で具体に入る。
0:31:38	前に説明ができるようにしていただければと思う。
0:31:42	なんですけど、スケジュールとしてそんな流れでも大丈夫ですか。
0:31:48	はい。江藤。日本原燃篠崎でございます。おっしゃる通り、そこが曖昧ですと共通 12 の中身の確認とかっていうのができないと思いますので、
0:31:58	その前までに整理できるように、説明するようにいたします。
0:32:04	はい。補足ですよろしく申し上げます。
0:32:09	清長市民ですね。
0:32:11	藤。
0:32:14	てなんですけどもちょっと若干かね。
0:32:17	とNo.12 で挙げてる実際
0:32:22	基本設計方針とかで、溢水対策設備として挙げているもので実際に採用しなかった設備っていうのがいくつかあって、
0:32:30	その具体的に使わなかったとかいうところはお聞きしてるんですけども、もともと想定してたところからなぜ不要になったかっていうところは
0:32:40	説明として示して欲しいと思ってるんで、これも向上人物の設定っていうところになるので今お話したように共通 12 よりも前 2 水側で、
0:32:51	説明していただければと思うので、
0:32:54	対応よろしく申し上げます。
0:33:00	日本原燃篠崎です。承知しましたそういう認識もあってこの共通 12 というふうに、一番右の列にフラグを立てさせていただいてるものは、
0:33:11	優先的に機密じゃないと、次に進まないということ認識してございますので、優先的に対応させていただきます。

0:33:18	今のお話ですと、
0:33:22	ナンバー34 なんかも同様の話だと認識しています。
0:33:26	以上です。
0:33:29	成長シミズです。はい。なるほど。
0:33:37	他忘れたんですけど、
0:33:41	これもっていうのであれば、
0:33:45	水密H a t c hの話とかもですかね、その辺もお願いします。
0:33:50	規制庁、吉田です。失礼しました。規制庁の谷です。全般としてなんですけど、今後、コメントリストを今回出させていただいて対応方針も少し変えていただいたところではあるんですけど、
0:34:01	スケジュールのめどを全体として書いていただくようお願いしますそのスケジュールが守れなかったからって、どこを言うつもりもないんですけど、めどがわからないと、結局、いつまで待つのかっていうのでそれが取り返し力になってないとかいろいろよくわからなくなる。
0:34:16	てしまうので、1個1個こちらから確認するというよう今後示すときはスケジュール感も含めて示していただくようよろしくお願いします。
0:34:27	はい。4名シノザキ承知いたしました。
0:34:33	延長シミズです。
0:34:35	続いてナンバー13も、
0:34:38	一番入口でつまずいたってところの1、評価対象設備の選定作業に関してで前回のヒアリングで、
0:34:48	その漏れとしてあったところはこういうところがありますねそういうところも
0:34:52	系統図使ってちゃんと確認してますし、作業してますってこれお聞きして、その時に確か確認作業が2月中と言っていた気がするんですけど。
0:35:03	評価対象の選定の精査作業って今どういう状況でしょうか。
0:35:11	はい。トロン元シノザキです。すいません進捗をお示ししてなくて申し訳なかったです。2月末に向けて作業やってたんですけど、少し正直遅れてる状況です。
0:35:22	はい。
0:35:25	そうですね事前にそもそもどういうふうにとやるといったところも、すぐにお示しするというのも対応できてませんので、これ至急対応させていただこうと思っています。

0:35:34	イメージですけども、
0:35:37	3、3月、議員間10日とか、中から中旬にかけては、
0:35:45	整理を、
0:35:46	最終的な整理を終わらせたいと思ってますんで、
0:35:49	それに先立って、
0:35:53	考え方みたいなのは、当然やんなきゃいけないと認識してますので、そういうスケジュール感で進めさせてください。
0:36:00	一応シミズですとちょっと作業は遅れてるっていうことは、それはあれですかね、何か作業していく中で他にも、こないだお伝えしたただ静的っていうことで除いてたけどその配管にも、
0:36:15	考慮すべき機能があつてとか、あとフェイルセーフのところもちゃんとフェイルセーフ機能なのかっていうのは確認するっていうところを挙げてたと思うんですけど他に何か漏れがありそうとかそういう。
0:36:27	懸念があつたわけじゃなくてただ、
0:36:29	時間かかっているだけっていう、
0:36:31	ことで、状況としては、
0:36:33	そういうことですよ。
0:36:36	はい。日本原燃篠崎でございます。安全機能をしっかり整理して、それから系統を見ながらやっていくっていう作業にやっぱりちょっと時間かかっているというところでございます、
0:36:48	あとどうすればいいかわからないようなものが出てきてしまって困るといったような、
0:36:54	そういうものによる作業の遅延ではございません。以上です。はい、わかりました。では、今作業の方進めていただいでですね具体的に
0:37:03	この間お話し、
0:37:07	この間、画面共有していただいた資料で、
0:37:11	何て言うんですかね、その整理っていうのを楽しむ。
0:37:15	ああいったのものをリバイスしたものかちょっとわかんないですけど整理っていうのを示した上で具体的に、
0:37:23	上流から補足説明資料で確認して、
0:37:26	ますよって言った。
0:37:28	防護する設備の選定評価数、設備っていうところを示されるとは思うので、

0:37:35	適宜、
0:37:37	作業の方、
0:37:38	進めていただければと思います。
0:37:45	はい。町長。
0:37:57	はい。規制庁清水です。
0:38:04	てなんですけども、
0:38:07	とりあえずここまでで他規制庁今の2ページ、コメントリスト2ページ目まで確認したんですけど他は規制庁側でここまでで確認ございますでしょうか。
0:38:20	とりあえず
0:38:21	次進めます。
0:38:23	次3ページ目なんですけども、先ほどナンバー15は確認したのでNo.20、
0:38:33	そして、制限の設定に関して、
0:38:38	この間お話した、
0:38:41	ところだと
0:38:43	原燃は、溢水量の設定、こういう系統ごとに表を作りつつも
0:38:50	何ですかね破損形状が何。
0:38:52	複数書いてるところがあってそれ一つの系統でもう想定する形状が違ってという回答だったと思うんですけども。
0:39:02	ね、これについて
0:39:05	対応方針として、
0:39:10	同じ系統でもう仮称により破損形状変わるところは、
0:39:16	ちゃんとわかるように、図とかで示しますよってということだと思うんですけどもそもそも考え方としてその保有水量の設定っていうところをどういうふうに設定しているのかをちょっと確認したって、
0:39:30	一つの系統、何ですかね。
0:39:34	破損する箇所それぞれ違う、そ、
0:39:38	その形状想定した場合、そこから、
0:39:42	静量の設定ってというのはどういうふうにしてるんですか。一色、その系統に含んでる保有水量がそれぞれの破損形状から出るってしてるのかそれともその
0:39:52	何ですかね、一つの系統内でも区切って、

0:39:57	水、
0:39:59	そこの箇所だけの人数が出ますとかそういう設定にしているのかと かって、
0:40:06	聞きできますでしょうか。
0:40:10	はい。日本原燃の小松です。はい、えっとですね一つの系統の中 で、そういった破損形状違う部分がありますけれども、盛寮は全部一緒 です。
0:40:20	ここに記載していますのはその区画内にですね、室費、同じ系統でも、
0:40:28	破損、配管によってといいますか例えば系配管系が違うところはこ っちは、
0:40:34	破損、関係上貫通クラックにしたいけれども、ファクト細かいほうは、 減算で良いとかそういった、
0:40:42	1個1個判断を入れていって、こういう細かい設定にはなってるん ですけども、漏れる量は、
0:40:48	漏れるその保有量は一緒になります。以上です。
0:40:56	規制庁田尻です。ちょっとまず企画費だけで申し訳ないんですけど 確認なんですけど、これそれぞれさあつけてるのは、たまたま配管口径 とかが違うからちゅう話なのか、片方には
0:41:08	補強とか対策をするからとか理由なのかでいうとどっちでしたっ け、たまたまの話でもそういった対策してこうなってます。
0:41:18	日本原燃の赤間先生すいません最初の方、聞き取りづらかったの でもう一度同じです。一つの系統の中で、要は破損形状が違うって いうことなんで強度評価の結果とかは違うと思うんですけどそれ っていうのは、
0:41:33	一部だけ補強工事とかをしてるからの話なのか、結果たまたま そういうふうになってますっていうだけの話でいうとどっち でしたっけ。
0:41:47	日本原燃の赤松です。たまたまというわけではございませんで して、その溢水量の軽減のために、
0:41:53	旭様はそこで破損したときに影響があるので、石井寮を低減 させたいからそこは補強対照表といいますか、一身上外 の対象。
0:42:03	ゆすりを設定しております。はい。規制庁谷です。その時の一 斉な影響っていうのは没水っていうよりは被水の方ですかねそれ とも没水の方の影響もあるんでしたっけ。
0:42:16	稲毛仲本です。没水と被水両方、それぞれの評価に対して必要 なところを、1件除外にしているという、

0:42:25	考えてございます。
0:42:27	規制庁たりですね、もうそれの方で、さっきのシミズのは、質問に戻ってくるんですけど、さっき系統保有水量は一緒ってのはそれはそうだと思うんですけど、漏えい量に関して、
0:42:39	1 番だけが破損を想定することによって、その溢水区画全体としては量が減らせるとか要は隔離とかそういったものへの時間は結局変わらないと思うので、
0:42:50	破損形状とかで、同 1 ヶ所からの漏えい量を減らすことによって結局全体としては溢水量が減らせてるっていう説明なんすかね。
0:43:00	日本原燃の赤松です。想定破損の場合、最初にその隔離まで、ある一定の流量で出ますので、その一定の流量は、その破損形状感ずるクラックなのか現生産なのかによって、
0:43:13	変わります。ですのでその部分的に関する確認したいというのは、流量を減らしたいよう、合計の溢水量を減らしたいというところで、そういう除外したいという
0:43:25	そういう考えで、設計しております規制庁タジリです。ちょっとすみません基本的なことも 1 点なんですけど、この同じ系統の中で差があるっていうのは、系統は同じだけど部屋は違ううちゅう話ですかねそれとも部屋自体もな、部屋は同じところのことを言ってるんすかね。
0:43:43	中元ですね両方ございまして、同じ系統でも違う部屋に跨っているものは当然ありますし、あの中でもそういった破損形状を開けたいわけているというところもございまして。
0:43:53	規制庁谷です。同じ部屋の中で、その系統の中で一部だけ破損形状を変えたときって評価にどう考慮してるんですかねなんか同じ部屋の中だと区画が結局一緒だから、同じような雨水とかで評価結果になってしまう気がするんですけどそこに影響が出てることなんすかね。
0:44:14	日本の中で、すいません必須いいですね、S E、ここの配管から、要は、すいません。
0:44:23	規制庁田尻です。なんでさっきからもう水水とかこっち持ってってところなんですけど結局その系統アベたからには何かしら、系統ごとに部分部分で破損形状分けたいってことは、
0:44:36	やっぱ考慮してるからだと思っていて、今言われたみたいに被水ちゃったら、特定の場所からの水ノロ会社が増えてしまえば、その系統の別の

	ところで水漏れても防護対象にかからないからっていうところがあるな と 思っていて、
0:44:49	ただボス性があるって話をされて、薄井土岐はどう考慮してるのか とかの話も出てくると思ってるんで、分けるからにはそれを何に対して 期待してるのかっていうところと評価でどう考慮してるのかっていうと ころを聞かなきゃいけなくなると思ってるのでその辺り整理してまた示 せるようにしてください。
0:45:08	はい。日本原燃赤松です。承知いたしました。
0:45:13	古作です。話、同じことを申し上げるのでちょっと恐縮ではあるんです けど、
0:45:19	今の話でその評価として説明をしてるっていう認識だとちょっと困るな と思ってる、
0:45:27	評価でこういうふうなことをしたいので設計として、こういうふうに対 応してますっていうことだとすると設計のその条件なり
0:45:37	方針ということで1ポツとして整理をしてもらわなきゃいけない。
0:45:42	いうところなんですよ。認識は合ってますか。
0:45:47	規制庁も自分は最初の方で聞くつもりでした評価のところっていう認識 はなかった。ごめんなさい僕の言い方が確かに。
0:45:57	はい。日本原燃石野だけです今の設計として、
0:46:01	の配慮というところで、今の考え方を整理する必要があるという、ご指 摘あったように認識していました。
0:46:09	はい、古作です。わかりました。それであれば早めに説明いただけると 思いますのでよろしく。
0:46:20	はい。
0:46:21	規制庁清水ですよろしく申し上げます。
0:46:25	続いてなんですけど、これもちょっと、ちょっと細かい話になるんです けどナンバー22で
0:46:32	溢水量の算出IIのその安全率について、ただし書き化されたんですけど 情景9を評価では除外するって書かれてるところ聾なぜかっていう質問 で今これ薬品で付与って書いてあるんですけど役員においてはその腐食 性ガスの影響、火、
0:46:49	評価っていうところで同じように、
0:46:53	除外するっていうこと書かれてるので、不要ではなく一応薬品側でも、

0:47:00	関連するっていうことで認識をお願いします。
0:47:05	はい。日本原燃塩崎です。承知しました適切じゃありませんでした。よ うって書いて、括弧、腐食性ガスっていうふうを書くべきでした。
0:47:15	はい。規制庁清水です認識されているのであれば大丈夫だと思うのでよ ろしくお願いします。
0:47:21	等で、続いて4ページで、
0:47:25	ナンバー24 なんですけども溢水量の
0:47:30	系統保有水量の安全率、
0:47:32	確かマスキング、今回設工認リングでマスキングになってたので何%予 算しますっていうところで、
0:47:42	ここ、
0:47:43	あと不確かさを整理した上で根拠を新追記しますっていうことだったん ですけど、
0:47:50	安全率の困窮についてはもう成立されてて特にその数値として、何%と かが変更する可能性はないとかそういう状況ですかねっていうのをちょ っと確認。
0:48:03	てください。
0:48:11	はい。日本原燃篠崎です。
0:48:15	まずこの安全率の
0:48:19	何か根拠みたいなところをしっかりとらまえて、最初にどうだからって いったところ、
0:48:28	整理する必要があると思ってまして、
0:48:31	ちょっとこれはまだやりきれてませんので、
0:48:34	現時点で、
0:48:36	今のままで、
0:48:38	行くんだというような話はちょっとすみません、できないんでちょっと ここしっかり整理して、
0:48:43	ちゃんとした根拠を示して説明させていただきます。
0:48:47	はい、わかりました。まだ、
0:48:51	整理、
0:48:52	途中で、
0:48:54	ということでもしちょっと

0:48:57	その値が変わるのであれば条件とかにも影響するかもしれないので、そこはちょっと早めにお聞きできればと思うのでよろしくお願いします。
0:49:06	規制庁の奥谷です。
0:49:08	一応、とりあえず、パパの費用とかパッと見たときのイメージなんですけど、この安全率の話っていうのは、系統保有水量として多少の前後が全部というか所、上上振れしたり下ブレしたりするからって言う風に掴めてるような思いがあってだから、
0:49:24	保有水量がカチッと決まってるそこだと多分こういう安全率書けなかったりとかしてたりもする気がするので、4日の頃から整理はしてた気もするんですけど、これって何か新たな検討が必要になってます今、
0:49:39	例年シノザキです考え方おっしゃられる通りなんですけれども、
0:49:44	不確かさを踏まえて、根拠という話をちょっとコメントいただきましたので、
0:49:50	そういう意味では数値ありませんけれども、その数値の根拠とか、そういったところも踏まえて
0:49:57	整理をしているという、
0:49:59	ことをございます。
0:50:00	規制庁土肥です。なぜ先行は前とかなんかで辺り書いてたけど、値が言えないって確かに控えたなんて言わないようにしますけど、なぜその数字が何でこの数字になったのっていうところの根拠を横に置いとくべきだったの2、
0:50:13	なんで書いてあったの今わかんなくなってるんで探してるってことですかね。何かよくわからないけど管理をしました。はい。
0:50:22	はい。
0:50:23	吉見です。
0:50:26	藤。
0:50:27	続いてなんですけど、あとナンバー26で、大きいところでプールの蓋の、
0:50:37	評価ですから一時的に取り外す蓋についての考慮がちょっと、
0:50:42	なかったのでそういうところを整理して、
0:50:44	明日っていうところで、
0:50:46	ここで書かれ、今対応方針として書かれてるのが一時的に取り出せた。

0:50:54	を取り外した状態での評価を実施した上で、現状の解析モデルとの裕度を比較することで、
0:51:03	評価に行き当たりないことを説明したいってことで、書かれてるんですけど、以前のヒアリングだと
0:51:10	何ですかね、プール内の
0:51:13	入ってる設備とかをこうないものとして保守的にはするからそういうところもちょっと、
0:51:19	そういう形状ですね、ごめんなさい、中のものは多分考慮しないままデフレ計上長田はここからちょっと出っ張ってるところとかを考慮したらどうこうって話を聞いた気がしたんですけど、それと同じ話をすると、次の話です。
0:51:34	乳井瀬谷でございます田崎さんおっしゃっていただいたようにプールの形状を考慮して戻り水の戻りみたいのが発生するところがそれを評価上考慮しますよということで
0:51:46	日本語的には合う、あんまり適切じゃない精緻化でしたっけ。てましたけどただ構造考慮するだけなのでモデルをいじりますよってだけだと思いますけどそういうことをやろうとしてたということです。
0:52:00	規制庁鳥居です。その上で対応方針の回答の日本語の意味がよくわからなくて、モデル見直しますよっていう話かと思うんですけど、一旦ですけど、考慮した評価を実施した上で、現状の解析モデルにおける解析裕度との比較っていうふうに、
0:52:15	新しい解析するんだったらそっちの結果示したらいいのになんか比較ばどうこうって話超えてるのは何でしたっけ。
0:52:23	はい、日本エリアでございますちょっとこれ書き過ぎなのと、ちょっとあのやり方をですね別途ちゃんともっと早く説明をさせていただいた上で、方向性を合わせていきたいなと思ってましたんで、これ
0:52:36	何をやろうとしてるかっていうところを、来週早々にでも、説明をさせていただければと思ってました。
0:52:45	谷さん、前回言っていた通り解析を1回にかなりの日数がかかるので、解析のケースをふやせばふやすほど、当然ながら、その分、時間軸がかかるところもあるので、
0:52:56	合理的になるべくできればなというところのやり方を、別途ちゃんと説明をしようかなと思ってたところでした。以上です。

0:53:04	規制庁谷です。外に説明があるということで説明はそのタイミングでとは思いますが、今の説明が、最終的な申請が終わる時のための話をしてるのか、取り急ぎの話をしてるのかっていうのを整理した上で来週話を聞ければと思うので、
0:53:20	今現時点において全部の結果のみそろえて出すには時間がかかるので、1個、やってみて、どれぐらいの誘導でっていうのをやってみたらこれぐらいの結果が出そうですっていう見積もりを示そうとしてるっていう話なのか。
0:53:33	最終的にもう、全部見直す時間をすべきでありそうな気がするんだけど、1個だけやって他は比較っていう等の形態を示そうとするのかっていうのと意味が違ってくる気がするので、その辺りの考え方も、確認できればと思うのでよろしくお願いします。
0:53:48	はい。日本原燃石田でございますですねその辺の目的っていうのをちゃんと示した上で何をやろうとしてるかを説明したいと思ってます。おっしゃっていただいたように
0:53:58	最終的な申請書の形としては当然ケースどういう状態であるかという評価の条件なり、方法があってそれに基づく結果がつくというのが、至極当たり前の話だと思ってまして。
0:54:10	もう一つ前回田尻さんからも対策の話を平行してやらなくていいのかっていうところのいろんなご助言いただいたと思うんですけどそういうことも踏まえたときに、まず第1弾として、こういうことの大枠を掴んだ上で、次のステップにつなげるとかですねそういうやり方もあるんじゃないかというところで、
0:54:26	説明を、やり方を別途ゴソウお話をさせていただこうと思ってました。以上です。
0:54:33	はい。規制庁谷です特にこのスロッシング対策設備にも関わるし評価にも関わるし、なんか時間かかるものがもろもろくっついてきちゃうので、早めに欲しいどうしようとしてるのかそれで駄目だったらやり直さっていうまた時間もかかってしまう気がするので、
0:54:47	早めに方針等を整理して説明いただけるよう、よろしくお願いします。じゃ、来週早々って言いましたっけ。ちょっとタイミングか、ちゃんと聞き取れなくて、

0:54:55	はいちょっとまた、スケジュールはお示しをしたいと思います。すいませんな。何もかも全部同じ状態で恐縮です私のところにこういうふうに今やっていますやろうと思ってますっていう資料は来てるんですけど。
0:55:08	見えてなくてですね、お出しできる状態になってないので、早々に見て、来週の頭の方で出してヒアリングが組めればなと思ってました。はい。
0:55:20	はい。現状はわかりました。はい。
0:55:24	はい。
0:55:24	よろしくお願いします。
0:55:29	規制庁シミズ等、
0:55:31	続いてなんですけども、5 ページ目ノートナンバー35 床勾配についてなんですけども、以前の現状の説明だと現実てキーにその最大の2分
0:55:44	はい。
0:55:48	とかいう話があったと思うんですけど、基本的にその一律で、現実的にするのであれば一番厳しい条件に考える必要あるとかいうコメントもしてたと思うんですけども。
0:55:58	今その整理としては考え方として何か変更しようとしてるとか、
0:56:06	今建物の実際の設計状況を踏まえて
0:56:10	実際
0:56:11	最大の2分の1っていうところが一番厳しい条件になるのかとかを確認されているのかもしれないんですけどそこら辺の状況っていかがでしょうか。
0:56:21	いいんじゃない表現シノザキです今言っていた通りなんですけど、この前いただいた指摘、まさにその通りで
0:56:29	片側に向かって、単純にこの線形な形で斜面になってるんであれば、
0:56:34	たまる部分は半分で最大でしょってのはいえるかもしれないんですけども、本当にそうなってるのっていう話もされてますので、
0:56:41	実際建物の床勾配がどういうふうに設計されているかってのを踏まえて、
0:56:47	今の値がちゃんとした
0:56:51	当先な数値として設定になってるのかといったところを整理している状況でございます。もう少しだけ時間をいただきたいと思ってます。

0:57:00	はい。規制庁志水です。まだ結論としてはまだ出てない。確認中っていうことで、落ちましてここちょっと先行炉とは違うような、
0:57:10	値、設定をしてるところもあるので現状の施設として
0:57:15	ちゃんと状況確認した上で
0:57:18	決定して、根拠を示していただければと思うのでよろしくお願いします。
0:57:25	続いて藤さん。
0:57:28	5ページのナンバー37の、
0:57:30	コメントで、
0:57:32	屋外タンク等の屋外での溢水に関する局所的な評価、
0:57:39	先行炉でやってる局所的な評価っていうところの話をしたと思うんですけど。
0:57:43	コメントの回答としては配置19整理して、評価の要否について市補足説明資料で説明するってなってるんですけど、この用要因というかまず、
0:57:54	条件整理して、要否の判断というところまで
0:57:58	今どういう状況でしょうか。
0:58:04	日本原燃塩崎でございます。
0:58:06	以前も説明した通りロットの違いですね、高低差がないところにタンクと、守るべき建屋の開口があるというところで、
0:58:18	そういう説明で、ちゃんと局長としていないよといえるかどうかと
0:58:25	いないよといえるかどうかっていうところを今やってるところでございまして、それでちょっと説明しきれないようであれば、局所評価何かしらですね、
0:58:34	局所評価が必要だといったところの検討を進めているところでございますので、そういう意味で迷う人書いてございました。以上です。
0:58:42	はい。ちょっとこれまだ検討中というところでちょっと補足説明資料で説明するってなってるので、何かその上流からやってた中で後でちょっと示されそうな雰囲気もあったのでこれはちょっと早めに確認する事項として、
0:58:56	持ってるのでよろしくお願いします。
0:59:00	規制庁の奥谷です。1点ちょっと聞いてみたいんですけど、局長評価っていうのが、何までを指してるかによるんですけど、やっぱりすぐ角度の

	話をされるんですけど、タンクがあって、一方向だけに破損で実は普通してもいいんですけど、破損すればそっちの方向に水が流れる気がするんですけど、
0:59:17	局長評価をやらなくていい場合ってというのはどういう時を想定するんですか。
0:59:27	はい日本原燃篠崎でございます。例えば
0:59:31	距離ですとか、間に
0:59:36	なんすか遮へいとなるっていったらいいんですけども構築物みたいなのがあって、
0:59:40	直接来ないですとか、そういった位置関係なんかを踏まえて、
0:59:44	破損したところからですね、一様に広がっていくという、
0:59:49	そういった水の広がりモードっていうんですかね。そういったところが説明できるか否かっていうところがキーだと思っています。
0:59:56	規制庁の田井です。今言われたみたいに、距離の話を持ち出すんだったらわかるんですよ。一定以上の距離があって、明らかに広がってずっと1方向性を持って、そこに一直線に広がってくるはさすがにだろうってのはわかるんですけど。
1:00:09	何か角度の話途中で触れた気がするんですけど、今おっしゃられた形だと、確度の話ではなくて、距離が一定以上離れているだとか、途中で障害物があってそっちの方向に一方向に流れることはないだろうっていうときは、
1:00:23	いや直線で水が今日横尾にない場合は、全体の何て何とか面積みたいなやつで評価してますよって話ですかね。
1:00:35	はい。日本原燃篠崎ですちょっとそれも含めて、次回以降もございませので、その説明ができるかどうかで今作業をやっているというような状況でございます。
1:00:45	はい。規制庁田尻です。何かできるところもひょっとしたらって気はしますけど今おっしゃられたようにいっぱい穴があいてる中で、どこまでいえるのかなっていうのは、若干よくわからないところがあるので、
1:00:56	何か悩みすぎてもう結局倒れる可能性があるんだったらちょっと相談したっていうか、説明した方がいいんじゃないかなという気がするんでよろしくをお願いします。
1:01:07	店長シミズですよろしくをお願いします。

1:01:11	これにちょっと関連して念のためなんですけど奥がタンク等の破損の等で実際に、
1:01:21	全農評価においてあるものとして地下ピットの
1:01:26	水だとか阿藤冷却塔越え冷却塔とかを、
1:01:33	1 水源として想定してるっていう話があったと思うんですけどこれをなんかかなり保守的に
1:01:41	地下ピットもぜんぜん全量スロッシングでとか等、耐震性ある冷却塔も破損するとして想定するって話をしてたんですけどその上で
1:01:52	何でもかんでも保守的にじゃなくて、
1:01:55	ちゃんと説明、
1:01:58	詰めていくようにっていうことで話はあったと思うんですが、ここは
1:02:03	水源野瀬。
1:02:05	屋外の水源の設定っていうところで、今やってることから特に変えようとはしてなくて、ちゃんと
1:02:12	合理性っての今説明できるように整理してる状況っていうだけと理解してもいい。大丈夫でしょうかナンバー28の、
1:02:20	4 ページのNo.28 のコメントになるんですけど、
1:02:26	はい、どうぞ。日本原燃篠田でございます。はい、おっしゃられる通り、ナンバー28 で書いている通り、
1:02:34	今おっしゃられたような整理を今やってるところでございました。
1:02:38	はい。とりあえず今設定してるその1 水源とかは変えるつもりなくてちゃんと保守性っていうところを説明をしに行こうとしてるっていうことで、
1:02:48	了解しましたそれもちょっとな、早めに。
1:02:51	説明としては入れていただければと思うのでよろしくお願いします。
1:03:01	ついて、
1:03:04	もう
1:03:04	弓削イシハラでございます。
1:03:07	素行はすいません私もまだ意見があってなくてですね、こないだのヒアリングに大川さんに言っていただいた通り第1 回の時に個別補足で屋外のSAのやつを出してるんですけど、
1:03:22	あれ括弧暫定って書いていて、暫定として評価するためには、かなり大盤振る舞いをしましたと。ただ実際今回溢水評価が、添付書類でも屋内

	の方が出てくるので、それとかけ離れた評価の条件なんかをつけたときに、じゃあ、
1:03:37	何でそれは違うんですかみたいな説明も、はっきりできないと思いますし、そこはやはり考え方を合わせていかないと、結果して、何か一斉全体としては、
1:03:48	何でその設計方針がぶれになるんじゃないかなと思っていてそこをまたすいません社内で、すいません、うまく全体意見が合意できてない状態でした。以上です。
1:03:59	はい、規制庁趣味ですとか二相ですね第1回で暫定評価っていうところで、高さ開口部に対して問題ありませんっていう、
1:04:08	その結論としては示していただいていたと思うんですけども、ちょっと一斉の中で通して、
1:04:15	分割の申請で通してみたときに、MOXとかも含めてですかね、ちょっとぶれがないようになっていうところの整理は、よろしく願います。助教。
1:04:25	はい。やっぱしました。
1:04:32	ここまでで他規制庁側から何かあまり、
1:04:35	確認ございますでしょうか。
1:04:41	藤。
1:04:43	続いて、
1:04:45	は、
1:04:47	ちょっとあとは細かい話なので、とりあえずは大丈夫なんですけどもちょっと一応状況の確認までで一番最後ですかねその他で、
1:04:59	これ前回のヒアリングではなく前々回のヒアリングで多分聞いたことで後について共同計算とか計算的などところで、
1:05:09	まだ、
1:05:10	ちょっと勉強不足なので、確認して整理しますっていうことだったと思うんですけど実際にその値として次元が違うものを
1:05:19	比較してたりっていうかなりそういうミスとかもあったんですけども、この辺の一通りの確認はもう終わって、
1:05:29	特に何ですかね、大きな只野記載ミス程度で、
1:05:34	大きな誤りとかは何かあった、なかったとかの確認とかってできてますでしょうか。

1:05:43	はい。日本原燃篠崎です。すいませんまだ
1:05:47	ここがおかしいところですよという抽出みたいな確認全部ってのは、正直できていないところですので、
1:05:56	やらなきゃいけない認識がありますので、作業を進めて参ります。
1:06:00	はい。わかりましたちょっとまずその上流の評価条件というところとかの設定によってもしかして変わり得るかもしれないので今はそんなに細かくということではないんですけども、
1:06:10	明らかにおかしいところとかは、
1:06:12	認識の上、今後の対応をお願いしていただければと思うのでよろしくお願ひします。
1:06:19	レーザーの石井。
1:06:22	そう、このコメントリストについてはこっから規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:06:31	えっとです。それちょっと聞き今後の進め方なんですけども個別にそれぞれ再来週示しますとか、しそSONYとかいう話があったもの。
1:06:43	あると思うんですけど、他に早めに方針確認したいところとかを、今全く書かれてないんですけどそれをどう示していくのかっていうところで、
1:06:58	個別に
1:07:00	上げ、
1:07:01	S Aとの関係とかはまた別の資料があって、
1:07:06	スロッシングの件をまた別の資料で示すつもりなのか。
1:07:11	わからないんですけど、
1:07:13	あれですかね今後0、このコメントリストを、
1:07:20	に
1:07:21	今の方針というところをちゃんと書いていくように示すのかそれとも00資料なりで、
1:07:27	実際申請書の記載とかを綺麗にするのは追ってでもいいと思うんですけど備考欄とかなり、
1:07:35	できれば申請書の記載も直せるところまでは直してっていうことで示していくのかとかだと、どういう進め方がいいかっていう懸念、何かありますでしょうか。

1:07:48	はい、すいません日本原燃篠崎です。ちょっとそれも悩んでるところで、相談のポイントであったんですけども、
1:07:58	一番もちろん理想を言えばですね、対応方針でこうやりますと書いた上で、しっかり 00 も、
1:08:06	直して、補足説明資料で部隊も説明できるというふうに行くヒアリングできるというふうに準備を止めれば、
1:08:13	いいんですけども、なかなかそれやると時間もかかりますし、
1:08:19	先ほど言いました、どれが優先的にやらな決めなきゃいけないかっていうのは、ちょっともう少し右の列もやりますけれども、
1:08:27	まず明確にさせていただいた上で、個別、細かい議論とか全体の議論入る前に決めていかなきゃいけない方向性、
1:08:37	というのをまず洗い出しまして、
1:08:39	それについて、いつ説明を差し上げるというスケジュールに落とし込んでいくようなやり方をしたいと思います。
1:08:48	そうですね、コメントリストの 1 個 1 個の潰し込みというよりは、全体の説明スケジュールに合わせて、このコメントの
1:08:56	いつ、どれをどの単位まで呼ばせていただかなきゃいけないのかといったような使い方をさせていただければと思いました。
1:09:05	はい、規制庁趣味です。当間先ほど田尻さんからコメントあった通り各それぞれについて説明しますよとか追記しますよってということだけしか書かれてないのでいつまで整理していつ示すってところ。
1:09:18	めどっていうところコメントリストには入れ、
1:09:22	ただ、それはちょっと状況としてはまた更新していただきたいかなとは思うんですけども具体的なその早めに、
1:09:29	方針、
1:09:30	そして今日確認したような事項ですかね、わあの内容っていうところは、適宜検討状況を聞きたいと思ってるので、
1:09:43	すいません今の回答だとそれは、
1:09:46	00 資料でやっていきたいとか。
1:09:49	個別別の資料出してとか、ちょっとすいません回答が、
1:09:55	どちらのが 1 点、失礼しました、2 本例、
1:09:58	日本原燃篠崎でございます。00 ですとか、個別の補足説明資料にしっかりっていうとそれもまた時間かかってしまいますし、

1:10:07	ちょっと今の我々の作業スピード感でいうと、それもなかなか難しいと思いますので、
1:10:12	ちょっとこのコメント対応方針をうまく使いながらですね。
1:10:15	この中で示せるものを示していきたいと思ってます。もちろんヒアリング、個別ヒアリングする時には、これだけではなくて、ちゃんとした、
1:10:26	説明資料が必要だというふうには認識してございます。
1:10:31	はい。規制庁志水です。とりあえずコメントリストのほうを更新してそこに、
1:10:38	検討状況と入れていただくっていうことで理解しました。
1:10:45	成長の度です。
1:10:48	一応原則として4だったら、当然1ポツから上流からやっていくっていう形になってるんですけど、今の溢水の状況が普通だったら、許可の方からやってきていて、ある程度設計の見通しがえられてる状態で、
1:11:02	それを詳細設計として設工認で見た形で普通に調達からいけそうな気がしていたんですけど、
1:11:07	何かそもそも見通しえられてるかよくわからないところがさ、関係してるので、そういったところは最低限方針、
1:11:16	今後詳細な根拠とか示してもらえばいけそうだねっていうぐらいの見通し終えたいと思ってるので、さっき言ったようにこの資料を活用するのかわからないんですけど、最低限後でひっくり返ることがなさそうだなっていう見通しぐらいは早めに入りたいなと思ってるので、
1:11:30	そのあたりをいつごろまでに、各コンペにいつごろまでに示せそうなのかっていうのを整理してもらおうとともに、さっき言ったように基本は、会合とか待ってる河西と角の関係なんすけど上流から話聞いていこうとは、
1:11:43	思っているんで、それをいつごろから開始しようとしてるのかとかの溢水に関して、今後それぞれどう進めていこうとしてるかの原燃としてのまずの考え方をスケジュールとして示してもらえると、話がしやすいかなと思うんですけどそれって示せますか。
1:12:01	はい。日本原燃篠崎です。ちょっと個別、この項目は何月何日みたいところ難しいかもしれませんが、まだ衛藤店。
1:12:09	全体ですね、どういう順番で、こいつを潰し込んでいかなきゃいけない優先的っていうところは、

1:12:16	このコメントリストだけではなくて、ちょっと何か
1:12:19	スケジュール的なもので、
1:12:21	指名させて、進めさせていただこうと考えます。
1:12:24	規制庁谷です。日付退院は言わないけど最低限週単位ぐらいのレベルでは大体スケジュール示せない等、何の見通しもなくなってしまってるような気がするので、それぐらいは示せるような気もするのでご検討いただけると助かります。自分からは以上です。
1:12:43	規制庁氏名政党スケジュールそうですね毎日ヒアリングはしてるので、
1:12:51	ちょっと今日のコメント踏まえて月曜日、来週月曜日の朝ですかね、水の、
1:12:57	どう進めていくかスケジュールっていうところを指名検討原燃としてどう進めていきたいかっていうところを示していただいてちょっと話できればと思うので、
1:13:06	対応の方をお願いします。
1:13:13	とりあえずのコメントリスト関係でここまで規制庁側からほか確認ございますでしょうか。
1:13:22	どう。
1:13:23	例えば原燃側もよろしければ都築薬品の方に移りたいと思います。
1:13:30	医薬品 00 ですね。
1:13:33	藤。
1:13:34	元側から一斉道東同様に、
1:13:38	展開するところは各それぞれやっていただいて役員個別として原燃側から説明、冒頭で説明あればお願いします。
1:13:50	はい。日本原燃篠崎でございます。先ほどコメント、溢水の方のコメントで、薬品漏えいの展開ようにしてるところはもちろんいただいたコメントを反映させていただきますが、
1:14:01	それとは別に、薬品として単独でしてといたしますか、説明しなきゃいけないポイントといたしますか、そういったところ、あまりないんですけど簡単に紹介させていただきます。
1:14:16	はい。日本原燃の堀内でございます。
1:14:18	江藤。今、
1:14:21	ご覧いただいておりますコメントリストですね、こちらの方の 8 ページ目にも、医薬品としてイスイ部分のヒアリングの中で薬品に対してと

	<p>いうコメントを受けた部分が2点ほどございましてこちらを記載してございます。</p>
1:14:34	<p>こちらにつきましては今、篠崎の方からも話ありました通り医薬品条文としてご説明を差し上げなければならない部分と、</p>
1:14:42	<p>ということで個別項目として挙げているものになってございます。</p>
1:14:47	<p>ですね。</p>
1:14:50	<p>この順番になるんですけれども、この点、8ページ目にちょっと示してございます。1ポツ目の項目。</p>
1:14:58	<p>薬品の漏えいにおける漏えいと漏えい元に対する考え方ということに関しましてはですね前回のヒアリング前回のヒアリングでもですね、</p>
1:15:09	<p>当面医薬品としましては基本的には同様発生させないように</p>
1:15:14	<p>応力評価だったり、耐震評価、補強工事も含めまして、こちらを行うことによりまして繰り返しになりますが漏えいを発生させないという対応をとると。</p>
1:15:25	<p>いうことを述べさせていただいてございます。</p>
1:15:28	<p>こちらにつきましてはですねコンセプトという記載をさせていただいておりますがこういった対応をとるとということに関しまして</p>
1:15:37	<p>医薬品の00-01と医薬品の戸部CEOすいません。0401別紙4-14-3に追記させていただくように</p>
1:15:47	<p>コンセプトとして示すと、いうことをまず考えてございます。</p>
1:15:53	<p>次の2番目にも関わってくるんですけれどもこういった対応を行うことによりまして薬品を漏えいさせないという形をとらせていただきますので、結果としまして漏えい評価におきましても、</p>
1:16:06	<p>対策が必要となるものが、大分削れ、削られるというか、大分少なくなるということになってございまして、その結果としまして水防設備と、</p>
1:16:17	<p>兼用するもの、こちらに関しましては医薬品としては発生しないと。</p>
1:16:22	<p>いうことと、いうふうに今まとめてございますので、この旨についてもですね、別紙4-1の方に記載をさせていただいて、</p>
1:16:31	<p>別紙4-1の方を修正させていただきましてそれがわかるように説明をさせていただくということでまずは考えてございます。すいません、日本原燃シノザキですちょっと補足さして行って、訂正させていただきます。その結果としてという紙、表現をしましたが、決して薬品影響評価の結果としてこれを</p>

1:16:51	必要になったんでという意味ではなくて、設計思想というか設計コンセプトとしまして、まずは薬品は漏えいさせないといったところを、対策の1番目として使うと。
1:17:02	ただどうしてもですね、漏えいしなきゃいい。すいません、漏えいを考慮しなきゃいけない。一部ドウドウの配管等ございますので、
1:17:12	そういったところの悲劇を守るために、このいす薬品防護番といったものが、対策設備としては、追加で必要になりますよといったようなその設計の考え方として、
1:17:24	説明は展開させていただこうと思います。
1:17:26	失礼しました。
1:17:32	規制庁、志水です。県側からの説明は以上でよろしいでしょうか。
1:17:39	また、日本原燃掘内でございます。申し訳ございません。もう1点ほどございます。
1:17:44	等ですね、溢水の方でも薬品との関わりということでコメントをいただいております、薬品の方でも同じような対応で記載をさせていただいているんですけども、化学薬品に対しまして、液体流体としてももちろん存在してございますが、
1:17:59	こちらの流体としての性質に関しましては溢水条文のほうで説明することということで石井常務の方にも記載することということでコメントをさしていただいておりますし、実際に記載をさせていただいております。
1:18:11	従いまして医薬品条文の方ではですね、薬品による化学的な影響、腐食ですとか劣化とか、こういったものを対象とするというふうにまとめさせていただいております。
1:18:21	こちらに関しましてはですねこれに伴いましてというか、影響を考慮する化学薬品、こういった腐食だったり、減った及ぼす化学薬品というものを選定した上で、その影響評価について進めていくと。
1:18:35	いう方向で述べさせていただいておりますので、冒頭のところでですね、設計上考慮すべき化学薬品、こういったものを設定することなどをまとめさせていただいておりますのでこちらについても説明が必要かというふうに考えてございます。
1:18:50	大まかに医薬品単独というか医薬品として説明が必要な項目以上として考えてございます。

1:18:58	規制庁志水です。今説明あった内容についてもちょっと確認したいと思うんですけど、まずそのちょっと上から順に確認させていただきたい。
1:19:07	思いますまずその日、
1:19:09	例えば、
1:19:11	薬品ゼロゼロのう。
1:19:13	通し 139 ページなんですけども、念のための確認というところなんですけど一斉で
1:19:19	評価対象設備の選定で漏れがあったっていうところで薬品の方の状況っていうのを確認したいんですけど、役員の方はその溢水みたいに静的なとかいうのはないんですけど、
1:19:31	その (1) として設計上考慮すべき薬品の影響を受けない部材で構成される機器っていうことをまず評価対象から除外しますって挙げてその説明の中で、
1:19:44	対象設備のうち安全機能を担保する箇所が、こういったものだったらっていうことで書かれて
1:19:51	いや、急いでのミスとかを踏まえるとその安全機能を担保する箇所としてちょっと、
1:19:56	考慮が漏れていたっていうところとかもあったんで、薬品があって溢水の状況を踏まえて、何かこう評価対象の、
1:20:06	確認作業とかって、漏れないかの作業とかって何かされてたりしますでしょうか。
1:20:15	日本原燃篠崎でございます。化学薬品につきましても、1 と同様に、
1:20:23	その安全機能に着目して、抜け漏れが抜け漏れています江藤抽出。
1:20:28	評価対象として適切に抽出されてるかどうかといったような確認作業ってのは、同時に並行に行ってございます。
1:20:36	ただ
1:20:38	今清水さん言っていた通り、液体性状としての化学薬品の影響というのは市側で拾ってございまして、
1:20:46	今回特にこれは抜けていたその流入とか閉塞とか、そういった観点では化学薬品の方では
1:20:54	ございませんので、
1:20:56	今のところですね、この

1:20:59	作業中において、化学薬品で抜けっというのは確認されていない状況でございます。以上です。
1:21:07	はい。
1:21:08	成長新味です。流入、
1:21:11	閉塞とか一斉側で見てるからってということで、
1:21:16	まず薬品とし、溢水は一斉でそういうところがあったとして薬品としても、
1:21:24	他に何ですかね。
1:21:28	何か除外の考え方としてこもれがなかったってところのそのそもその考え方としても他に何か役員としてあげないといい。
1:21:38	拘留漏れがあったとかそこ飲まなかったってことなんで、要するに、その溢水と同じところはないかなってところだけじゃなくて、
1:21:48	はい。日本原燃篠崎でございます。ちょっと説明が痛くて申し訳ございませんでした。当然、医薬品につきましても1と同様に、評価対象設備の選定どうやってるのかと。
1:22:00	いったところは、そもそも同じようにちゃんと安全機能に着目して、
1:22:08	あんなんですけど、損傷モードをちゃんと考慮して評価対象設備を設定していくという、その考え方には変わりはありませんので、同じようなチェックをしてございます。
1:22:20	現時点でまだ今の考えから、ぶれて追加になるところはないといったことを質問言いたかったところでした。失礼しました。
1:22:29	はい、規制庁シミズ状況としては今んところ出てないってということで一応すせ
1:22:34	全体精査作業は溢水と同意を行っているということで理解しましたのでまた溢水と合わせて、
1:22:41	その結果っというか考え方とかですかね示していただければと思います。お願いします。
1:22:49	はい。
1:22:50	藤。
1:22:52	続いてなんですけども先ほど設計のコンセプトとしてそもそも漏らしませんっという話があったんですけども、その前回のヒアリングで実際にどこ
1:23:05	薬品の漏えい、

1:23:07	を想定してるかっていうところで一般共同行。
1:23:12	何。
1:23:13	といった話があったと思うんですけど。
1:23:15	ちょっとその申請書を見る限りだと他にも何かいろいろ、
1:23:20	漏えい。
1:23:22	量の選定表だといろんなところから出てZoomを例の量を想定してるようにも見えてちょっと。
1:23:28	確認をさせていただきたいんですが、00資料だと、158ページちょっとまずその想定破損による漏えい量の選定っていうところで確認さしてください。ちょっとここを例示。
1:23:42	ちょっとしか上がってないので申請書を見ないってところ。
1:23:46	今申請種だと
1:23:49	4万7700。
1:23:52	37ページからですかねちょっと想定破損の漏洩量の選定っていう結果のところを示されて、
1:24:00	実際何か
1:24:02	前処理建屋D、
1:24:05	ドカーブに立て先生。
1:24:07	とか、建屋とかでも出てるんですけども、結論として、
1:24:12	想定破損はどこで漏洩量っていうのを想定してるのかっていうのを説明いただけますでしょうか。
1:24:22	はい。日本原燃堀内でございます。
1:24:24	想定破損に関しましては先ほど申しあげましたコンセプトの通りですね、衛藤応力評価によって漏らさないということを対象と方針としてございますが、
1:24:35	ガイドの方、溢水評価ガイドの方でも示させ示されております、ターミナルエンド、こちらに関しましては完全に漏らすこと、というような記載になってございますので、それを反映して、漏洩量として記載させていただいているものが、ものになってございます。
1:24:52	はい。規制庁驚見です。当然あればターミナルエンドのところは漏洩量としてあげていて、
1:25:01	この間言っていた一般共同校以外にも、

1:25:07	申請書上値が出てる建屋で漏れがある漏れを想定してるっていうそういう理解でよろしいでしょうか。
1:25:18	はい。日本原燃堀内でございますそのご認識の通りでございます。はい。
1:25:23	この間一般教どうこうだけって言ってたのはちょっと、
1:25:27	また結果わからなくなっちゃったんですけど、具体的に挙げるとしたら数ヶ所だけとかってあげれますかねそれとも。
1:25:36	いっぱい。
1:25:38	民だね。
1:25:40	なるんで、
1:25:43	規制庁のタジリです。すいません今、田宮エンド部に関しては漏えいを想定しますよって言った時にそうすると、溢水薬品がまじっやものに対して堰とかを期待してるとこまだ出てきちゃうような気がするんですけど。
1:25:55	今言われたっていうのは一般共同校で2ヶ所ぐらいって言ってたやつプラス、まだ多数ありますよという説明ですかね。
1:26:06	大変なホリウチがございます。今は佐治さんがおっしゃっていただいた通りで一般共同校以外でもターミナルエンド部がございまして、そこからは漏えいするというふうな想定をしております。
1:26:17	規制庁館です。
1:26:19	であれば、これ転用するやつがないっていう説明がよくわかんなくなってくるんですけど、そこは成功したままですか。
1:26:29	はい。すいません、日本原燃篠崎ですすみません回答が途中で申し訳ないです。
1:26:34	まずガイドに従ってターミナルエンド部は化学薬品は当然漏れるものとして、まず考えます。ただ、その漏れる箇所につきましては、
1:26:44	区画との関係におきまして、化学薬品どう影響評価と、関係ないところと、
1:26:51	ということになりますので、
1:26:53	藤家、何でしょうか。積とか、そういったもので守るべきところはございません。

1:27:01	規制庁、鍛冶です。何で結局、薬品が漏れるところを最終的に全部特定してもらった上で、評価で今考慮してないところがあるんだと思うんですけど、
1:27:13	そいつが溢水経路との関係で考慮しなくていい位置にいるのかその区画に防護対象がないだけの話をしているのか、最終的に溢水量没水とかの見積もりで考える溢水量に立たなくていいっていう話になるのかを1神戸次第な気がするんですけどそのあたりも考慮した上で、
1:27:29	ターミナルエンドから漏れるとこの後薬品に関しては、何にも影響しませんよっていう結論が出てると思えばいいですかね。
1:27:39	日本原燃堀内でございます。えっとですねターミナルエンドからの漏えいを考慮する場合といたしますが、想定破損という場合になり、なりますので、他事象との重畳は考えない、単一の補償という形で考えます。
1:27:53	従いましてターミナルエンド部で漏えいした薬品の漏えい量に対して評価をすれば十分という形で考えて評価をしてございます。以上です。
1:28:02	規制庁館です。なんできちんとこの由井の方だと、漏れる場所はこの間一般、1般教動向のところ、想定破損っていう意味でいうと、あんた漏れるところもあるけど、
1:28:12	そこでの量が少ないから結局石とかいらんって説明になるんですかね。
1:28:21	伊勢水道町長しなかった場合でも量が漏れるんだったら区画の堰とか期待結果してしまってる時があるような気がするけどそこん時もないってことでいいんですかね。
1:28:33	安全な法律でございます。衛藤タジリさんの意識で大丈夫。その通りでございます書くとしまして、溢水、すいません医薬品評価の、
1:28:43	対象設備となるものとは今日、共同してございませんで、量的にもその当該の区画から炉へ漏れ出すことはないということで影響ないというふうに説明を申し上げさせていただきました。
1:28:54	規制庁谷です。
1:28:57	多分大丈夫だと思うけど最後に言われたその区画から漏れることがないっていうのが、よう考えると漏れることはないっていう説明なのか夜勤用じゃないけど、溢水よりも受けている石とかで結局そこで止まるんですっていう説明かによって結果が変わってくるんですけど。

1:29:11	今の説明だと、基本的にはその積とかがなくても止まるという説明をされようとしてるんだと思うので、そのあたりも整理して説明できるようにしていただければと思います。
1:29:22	日本原燃堀内でございます承知しました。
1:29:28	規制庁清水です。ここコサクですすいません、今の最後の承知しましたが本当に承知してるのかがちょっとよくわかんないんですけど。
1:29:37	どういう認識をしているのか説明してもらっていいですか。
1:29:41	はい。すいません日本原燃篠崎でございます。もし関とかですね、
1:29:48	次、そういったものに頼らず既存の設備段差等で、
1:29:52	その他から漏れないと。
1:29:55	いう理解でございます。
1:29:59	古作です。その区画からって言ってることが言葉としてまずいなと思ってる
1:30:09	はい、日本原電柴崎です。確かに価格と言っちゃうと、医薬品、
1:30:15	配布薬品漏れい後額と何か混在してしまいますので、
1:30:21	漏れる箇所と漏れる量と、その影響というか、それについてちょっとちゃんと整理させていただきます。
1:30:31	はい。補足です。こちらが思ってることが、李は認識してることは理解しました。す。その想定箇所から、溢水薬品、
1:30:44	と混在しちゃうような場所まで、
1:30:49	防護設備、
1:30:52	防護対策設備ですかね、を考慮せずともそこまでいかないとかですね、というようなことを言ってもらわないと、薬品の方での対策が不要ですっていうところまでいかないよっていうこと。
1:31:05	だと思うので、
1:31:08	一応そこは認識シノザキさんされたってということですかね。
1:31:14	はい。眼鏡シノザキです今みたいな説明が必要だというふうに私は認識してしました。はい。以上です。
1:31:21	はい。補足ですよろしく。
1:31:25	規制庁の田井です。ちょっと自分も不安になったんで1点確認なんですけど、薬品とか、放射性物質がまじってる町にかかわらずなんですけど、薬品周りにちょこっとして小さな堰みたいになってなんかいるイメージがあるんですけど、

1:31:38	そういうのは期待している。
1:31:49	規制庁田井ですどっちで今与儀の話言ってるんですけど、考慮するんではいかんと下の方ですかね。なんか預金周りだとちっちゃい堰外って多少の漏えいはそこで受けれるようなイメージが預金が立ったんですけど。
1:32:01	そういうのがなくてもう、先ほど長さんから言ったように、溢水とまじるようなところまで、薬品Y薬品も行かないとかや、水が来ないの方も含めてですけど、
1:32:12	差別化できてるっていうことでいいんですけど。
1:32:16	日本原燃篠崎です。想定破損の世界の話をしてますので、まずイメージ、イメージですけど、対象は配管。
1:32:25	でございます。
1:32:30	長田井です。なんで、医薬品の方の防護対策設備は防護板みたいなやつ、設備前にくっついてるやつだけだと思ってるんですけど、ほか2、既存のものも含めて、気体スルー積とかそういうものはないんですけどという整理でよかったでしたかね。
1:32:55	日本原燃塩崎でございます。
1:32:58	ちょっとあの施設も含めてと今、
1:33:00	おっしゃられたのかなと思いますけれども、
1:33:03	眉
1:33:04	鮎川段差とか何でしょう、溢水、
1:33:09	失礼しました、化学薬品漏えい対策設備ではない。
1:33:16	壁とかですね床探査みたいなのは、一部考慮してる場所はございます。
1:33:21	はい。規制庁田井です。その床段差が扉とかのところで段差が多少あるんですけどという話なのか、ちっちゃな席みたいなものがあるのかってまた何かちょっと位置付け変わる気がするんですけど今のお話だと、もとかからある、
1:33:34	扉の下のちょっとした段差みたいな説明のような気はするので、どういったものに期待するのか含めて説明できるようにしてくれ、いただければと思います。

1:33:44	はい。日本原燃篠崎です。先ほど説明しますといったそういった対策設備がなくてもですね、ターミナルエンド部からの漏えいが、守るべきまでいかないとかそういった
1:33:56	説明差し上げようと思ってますので、ちょっとそこでちゃんとそういったところについても、全部に整理して説明差し上げます。
1:34:06	清長シミズです。よろしくお願いします。
1:34:10	藤。
1:34:11	続いて金城ですけど 00 資料の右下 162 ページで次地震起因の
1:34:19	漏洩量っていうところで示されてて、先ほどちょっと話があったように、地震起因の漏えいってなる等、一般共同
1:34:29	2ヶ所だけとかそういうことなんですかね。
1:34:46	あ、すみません少々お待ちください。
1:34:52	今日どうこうって、この藤堂に入るんですかね。この労働関係じゃない。お待たせしました日本のホリウチでございます。今清水さんがおっしゃったのは 162 ページの表、第 2-4 表に記載されている、前処理建屋ですとかあとは精製建屋に数値は入っていることというふうに、
1:35:12	させていただいて、回答させていただきます。
1:35:14	大変申し訳ございません、こちらの 2 点につきましてはですね
1:35:19	大変申し訳ない動きとなってございましてこちら、漏えいはないものという形で対策でございます。
1:35:28	はい。規制庁清水です。その前処理建屋アベ 5 期でやればとせ前処理建屋と精製建屋からの漏えい量の想定っていうのは 0 で、
1:35:40	藤堂のところで、
1:35:43	のみになるっていう、この出てる数値っていうことで、具体的なその動きの箇所っていうところはそういう認識でしょうか。
1:35:53	日本原燃の堀内でございます。今清水さんがおっしゃっていただいた認識の通りでございます。
1:35:59	はい、わかりました。じゃあ信金は前回確認したように、一般共同校で 2ヶ所だけで、いうことでそこは
1:36:12	等想定する圧縮額では、
1:36:15	一斉の想定っていうのは、あるなしっていうことをちょっと確認した気がするんですけど。

1:36:24	1 般教どうこうの 2 ヶ所でのその溢水との関係って、どういう説明だったか、すいません。
1:36:31	よろしい。
1:36:38	その区画内で溢水の想定はなしっていう話。
1:36:42	でしたっけ。
1:36:53	ご本人の堀内でございます。
1:36:55	江藤 1 線に関しましては洞道内に評価対象となる防護対象設備評価対象の設備がございませんので、
1:37:03	そういったところから 1 種の表には、表として出てきていないということになってございます。
1:37:10	はい。東條だ薬品。
1:37:15	対象として出てこない。
1:37:17	薬品でその漏えい。
1:37:20	するって言うてる一般教養のその区画において溢水ゲイン
1:37:27	もないっていうことですかね。
1:37:30	漏えいする水源です。
1:37:34	日本原燃は法律用語。
1:37:47	チーチャンタジリです。ちょっと頭の整理なんですけど、
1:37:51	薬品が漏えいするっていう 1 般教どうこう 2、一斉でも薬品でもいいんですけど防護対象がいるいないっていうとまずどっちでしたっけ。
1:38:10	聞こえてますでしょうか。日本すいません日本原燃塩崎です。
1:38:16	どうどう耐震耐震の労働ございまして、
1:38:22	当間道道全体で言いますと、
1:38:24	当然、
1:38:25	防護対象は、いや、社長といいですけど、あくまで今その薬品が漏えいするって言うてる格好の話としてですね。
1:38:41	はい。日本原燃篠崎です。漏れるところについては、耐震のどうどう、地震で壊れるところになりますので、
1:38:50	そこには、
1:38:52	防護設備はございません。ただそれが併設しますか、隣にあります。
1:38:59	耐震どうぞそこには、安重のケーブル配管。
1:39:04	虐待入ったのか、がございまして、そこに裨益してしまう。
1:39:11	のでそこに 5 番つけるという話でございました。

1:39:14	今の説明は、水に対しては濡れてもいいけど薬品の裨益はまずいやつがあるっていう説明ですかね。
1:39:26	はい。日本原燃篠崎です。はいすいませんその説明が足りませんでした。
1:39:31	そうですね向後大胡設備として溢水防護設備とし対象設備としては安重なので当然守るべきなんですけれども、
1:39:40	水によってやられないということで評価対象設備から、溢水の世界では外しているということでございます。なので区画も設定していないと。
1:39:49	規制庁伊井です。なんで、一応溢水薬品で除外規定が微妙に違っていて、除外規定に引かかる溢水の方だと覗けるやつが薬品だと覗けなくて、対象としているので、区画の設定において薬品だけそこに名前が出てきますよと。
1:40:03	溢水に関しては、そこに防護対象がないので、そこでの評価はいらないけど、そこから漏れる水が他のところに影響を及ぼす可能性っていうのは考慮して、その評価概要だったら溢水県としては見るってことですかね。
1:40:31	日本原燃白根町長お待ちください。
1:40:54	来てちょっとです。いやあ、単にさっき水高評価するしないの話をされたのか、水源として見ないんですって話をされたのかよくわかんなくて、
1:41:04	ちょっと位置関係にもよると思うんですけど、そこで漏れても、防護対象がいるところに行かないんですっていう説明をされた可能性もあるんですけど、最低限1水源にはなるんじゃないかなっていう気がしたので、どういう説明だったかっていう確認をしたいというのが趣旨です。
1:41:23	はい。させると日本原燃シノザキで、大にならないと思うのでちゃんと整理しますが、
1:41:31	先ほど言いましたように溢水の世界では評価対象通りございませんので、ここに対して区画っていうのを設定してないと。
1:41:40	ことでその溢水県 i s 間瀬衛藤、溢水量ですか。
1:41:45	ていうのはこの申請書上示してない。
1:41:49	ことになると思いますんでちょっとすいません、そこ。
1:41:52	じゃあ、その溢水、
1:41:55	の影響がないから、それをちょっと整理させて説明させてください。

1:41:59	はい。規制庁田井です。伊勢区画の設定は、アボタイル以内でやってるのかもしれないんですけど、それ、別にそのどうどうカラー、例えば貫通部等を通してどこかの区画に水が入り得るんだとしたら、入り得る水っていうのも別に
1:42:14	一緒に借りないところから水ならば、水は水だと思うので、
1:42:19	道道の位置関係を考えると、貫通部普通に出るんで大丈夫ですって言ってこられるような気がしたんですけど、考慮してないって言われると何か、何だっけっていうふうに聞かなきゃいけなくなるので、これこれこうだから、
1:42:31	結果的にここの水ってのは考慮しなくてよかったんですよっていう説明さしてもらえれば済む話だと思うのでその辺り整理して説明いただければと思います。
1:42:43	姫野磯崎です。コメントの趣旨を理解しましたので、成立します。
1:42:49	はい。一応シミズです。あとはちょっと、
1:42:53	過ぎて、2点ほどなんですけども、
1:42:56	一応漏洩量薬品はまず漏えい元なるべく減らしますよっていうことのコネクトは理解して、
1:43:04	特に漏らさないようにいろいろ対策されるとは思うんですけどもその何かその保守管理とかそういったところは結構重要だと思う。そもそもその、
1:43:13	思われませんっていうところを確実にするためには、
1:43:16	重要だと思うんですけども、その管理っていうところで原燃側なんか特に、
1:43:22	駄目。
1:43:25	これってどういうふうに今説明された溢水と同じようにちゃんと節管理しますよぐらいの。
1:43:31	検討でしょうか。
1:43:36	はい。日本原燃篠崎でございます。今おっしゃったように溢水と同様です。例えば想定破損から除外するところにつきましては、ちゃんと
1:43:47	電力状況とかあと管理していきますよといったのは、ございまして、その内包する流体薬品の特徴にとらえまして、どういった
1:43:57	場所でどういうその管理をやっていくのかといったような、補足説明資料を準備してございます。

1:44:06	はい。以上です。
1:44:07	成長済みですとまた役員ってなると水と違って腐食とかもあると思うので、そういったところをちゃんとやりますっていう古藤の説明にはなると思うんですけど。
1:44:17	各説明資料で具体的に内容を説明するってことなので、わかりました。
1:44:23	と、
1:44:25	審査の2点でしたね00資料の右下177ページで、
1:44:31	アクセス数いて下の方ですねアクセス通路部のところでここも薬品は溢水同様原則センチ以下っていうことで書いてるんですけども、
1:44:43	水野中磯入江水沼軽くの当間薬品、この高さのところ歩くのってまた何か状況違うような気がするんですけども一応その、
1:44:56	この何とか、
1:44:58	マスキングの辺り以下のところ、人は、そこを歩いて操作とか、
1:45:05	できるんですかねっていうのを確認したいんですけど。
1:45:11	はい。堀内です。今おっしゃっていただいたような対策で最初、対策というかアクセスが必要な箇所にアクセスする社員がですね、必要な化学薬品に対して必要な分を装着して、移動するということを考えてございますので、
1:45:28	あとはやはり、椅子を同様にですね水圧的な面で歩行できるか、移動できるかという観点でと同じ設定としてございます。以上です。
1:45:38	はい、規制庁趣味ですと防護服っていうのが何か出てきてそれきてっていうことだと思うんですけど。
1:45:45	防護服って、
1:45:47	何。
1:45:49	何ですかね、S Aのな。
1:45:51	これ、もうまたS Aのその操作とかに必要なになる。
1:45:56	福中。
1:45:57	の気がするんですけども、
1:45:59	それって何かどこかで、
1:46:02	登場し、
1:46:03	します。
1:46:04	が、
1:46:10	角あれですよ。

1:46:12	設備とかとして上がるようなものじゃないんですね。
1:46:16	下水道では、日本原燃の堀口です。別紙の、ちょっと今ページはページ番号はちょっと出せないんですけど、6-1-1-4-2-2という、
1:46:26	アクセスルートに関する部分に書いてあったと思うのでちょっと確認をいたします。
1:46:32	はい。規制庁驚見です。承知はちょっと。
1:46:36	2の方お願いします資機材っていうところに入るんですから
1:46:42	あり、
1:46:42	やっぱり位置付けとしてわかりました。
1:46:48	こう言ってなんんですけど184ページで、
1:46:52	その奥が伊井で発生する薬品の漏えいに対する評価方法っていうところで、184ページに評価方法として以下の、
1:47:02	点を考慮するってことでA B C Dで挙がってるうちのBについてなんですけども、
1:47:09	漏えい地点から評価対象に向かって中心角90°の扇型に広がるものとするっていう説明があって、これも許可の時から整理しようでこの90度に広がるとかの説明はされてるんですけど、この
1:47:23	中心角90°の扇型っていうのってこれ評価上どういうふうにし、
1:47:28	使用したのかっていうところを確認したくて、
1:47:32	何かその漏洩量この面積で割って高さを出してるとか、そのために必要になるあたりなんでしょうか。
1:47:42	はい。日本原燃堀内でございます。基本的な認識今清水さんがおっしゃっていただいた認識となります。灯籠いう箇所を設定しましてそこから5号対象までの距離を出しましてそこに対してですね90度を上げ方を設定します。
1:47:57	そこに対しての面積は当間均一に広がる面積という設定をしまして、その面積と漏洩量から高さを出すという計算をしてございます。以上です。
1:48:08	はい。規制庁清水です言い方っていうのが評価の条件の値に使用されてるってことで理解したんですけども。
1:48:16	この90度っていうのがちょっといまいちよくわからなくてあとその溢水との関係だと、溢水が何ですかね、一方向とかじゃなくて均一に広がりますよとか言ってる中で、

1:48:31	この薬品との関係でこの 90 度に、
1:48:35	広がるとかって、どういう考え方で設定されてるかって説明できますでしょうか。
1:48:46	日本原燃堀内でございます。まず溢水との違いなんですけれども溢水に関しましては、別にご説明をさせていただいた通りですね溢水元となる箇所が多数存在してそれが当間考え方によって同時的に破損する、破損して溢水すると。
1:49:03	いう考え方があるのに対しまして化学薬品に対しましては、構内を移動するタンクローリーと結城単一の点からの漏えいを想定する形となります。
1:49:13	従いまして、まずは、その中で均一に漏らすというのは余りにも評価として、過小といえますか、という形になると、ということがございましたのでまずローリーという基点を、
1:49:27	危険を持たせましてそこからの広がりという評価をさせていただいてございます。
1:49:32	K0 という設定に関しましては、当然ですねローリーの破損の形態にもよるのかもしれないんですけども単純に断とは差は破損した場合には、同一炎上に広がると。
1:49:46	どう同心円状に広がるということが想定されるんですけどもそれもですね形状によってどういった広がり方になるかということがございますので、ここは急増という形ですいませんちょっとこの設定の妥当性というところについては、
1:50:00	ちょっと 1 個上の余地があるんですけども、そういったことがございまして 90° の扇型に広がるという評価でやらせていただいております。以上です。
1:50:10	長清水です。ちょっとまず全社電話の溢水との関係についてで役員側では
1:50:18	一様に広がるっていうとちょっと評価として、
1:50:21	ということでわかったんですけど、逆にそうなると溢水側ではその、
1:50:26	下、ソテーを破損想定する箇所、いくつかあるんですけどもそこからその開口部いっちょ線に向かって 90 度扇形とかそういうのとはまた考え方は、
1:50:38	違うんですが、逆にその溢水側、

1:50:43	という考え方もあるんですけどもその違いって、
1:50:49	複数、
1:50:50	破損箇所がある、漏えい元があるから、ないからとかの違いで説明でき、
1:51:05	はい。衛藤日本原燃篠崎でございます。今、実際はですね前から説明差し上げてます通り、一様に広がるという条件の
1:51:16	評価をやってございまして、これ1方向に向かってっていうことはすいません考慮してございませんでした。ただ別個いただいております、局長の話もございまして、
1:51:28	ちょっとそれと合わせて、石井として、どういう。
1:51:33	屋外等のタンク等の破損に対して、どういう広がりみたいなのを、
1:51:38	考慮するかみたいのは、そちらとあわせて整理させていただきたいと思っております。
1:51:43	はい。規制庁清水です。別に伊勢側で
1:51:49	タンクから開口部に向かって90度という形でやるべきだとかそういうことではないので
1:51:56	お互い
1:52:00	それぞれの元というところの違いもあると思うんですけど
1:52:05	減ったんだとかそういう形上、
1:52:09	土地としての形状というところは同じだと思うのでそういったところで変にそごとか出ないように、
1:52:15	水がれの方の整理もお願いや、お願いします。
1:52:21	もう1点の方のすみません、補足です。少しだけ補足というか、お話をすると、それぞれの状況に応じて、整合した考え適切に評価をしてくださいと。
1:52:36	ということだと思っております。
1:52:38	タンクローリー。
1:52:41	から液を移送すると。
1:52:47	いうところの関係から、し、
1:52:52	いろんなケースがありえてその時のこういうことを考えるのが一番保守的なので、考えると、こういう伝播が、
1:53:02	一番、
1:53:03	厳しいので、

1:53:04	というような話。
1:53:06	だと思っんですね。一方で溢水の場合はこういう、こういう溢水を有してこういう姿勢が考えられてそれを全体見たときに、
1:53:17	考えるのが、
1:53:19	評価として包絡できるのかと。
1:53:22	いうことをまとめていただければと思いますのでよろしくお願いします。
1:53:27	はい。井上シノザキです。そうしました。
1:53:33	規制庁シミズ窃盗。
1:53:35	もう1点の方の、その90度の話なんですけども同士、倒れてその倒れて下ノ口動支援所に広がるとしたときに、
1:53:46	9、今90°で設定されて
1:53:50	それがもし、
1:53:52	もっとう一方にっていうことで狭まる等、また
1:53:56	引き出すための面積っていうのは変わってくると思うのでそのちょっと、
1:54:03	設定。
1:54:05	何で90度っていうところにしたのかそれで、
1:54:08	妥当性っていうところは説明いただければと思うので、
1:54:13	よろしくお願いします。
1:54:17	はい。日本原燃塩崎です先ほど古作さんからいただいたコメントと、同義と認識してます。
1:54:25	それぞれですね石井今回、グローリーですけども、
1:54:28	どういう故障モードでどう伝播してくっていうのが、厳しい条件なのかといったのを、説明する上での一つだと思いますので、そういう整理をさせていただきます。
1:54:42	お願いしますか。ここまでで規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:54:50	とりあえず薬品。
1:54:53	確認したかったところは、ここまでなんですけど他規制庁側から全体を通して薬品について確認ございますでしょうか。
1:55:02	規制庁の田尻です。さっきみたいな薬品と一緒に微妙に保管方法違うけどそれぞれ定まって構わないんですけど役員に関して、次、何かこういうふうに考え方違うんですって説明を受けてきたわけでもないの、

1:55:16	せっかく西出役員並べてやってるんですけど、何かそういう違いを言っていたかかないと後でこっちが気づいて指摘っていうの、2度手間になる可能性があるんで、その点も含めて今後対応いただければと思うんでよろしくをお願いします。
1:55:32	はい。
1:55:33	日本原燃塩崎でございます。薬品の別紙の、
1:55:38	4の作り方が、溢水と、せっかく比較して備考欄がございますので、
1:55:43	ちょっとそこですね、ちゃんと
1:55:47	説明すべきポイントがないかってのちょっと踏まえて、以降欄の充実と必要な説明については
1:55:55	早めにですね説明させていただくようにさせていただきます。以上です。
1:56:00	はい。どっか等全体を通して規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:56:08	それでは原燃側から振り返り。
1:56:11	をお願いし溢水の一応ポイントリストも含めてですかね振り返りの方をお願いします。
1:56:23	はい。ちょっとお待ちください。
1:56:28	はい日本原燃篠崎でございます。振り返りさせていただきます。まずコメントリストでございます。
1:56:42	失礼しました。
1:56:45	ちょっとマイク入れちゃって最初からさせていただきます。
1:56:48	日本原燃篠崎でございます。振り返りでございます。まずコメントリストのところでございますけれども、
1:56:55	大きい話としまして、今後これの活用も踏まえて、
1:57:01	期限、契約対応ですねいつまでに反映しますよとかですね。
1:57:08	そういったところを頭の中で明確にさしていただきたいと。
1:57:12	思います。
1:57:13	今日いただいたコメントにつきましても、このコメントリストの方にまた、加えてですね、管理をさせていただこうと思います。薬品も同様でございます。
1:57:24	細かいところは割愛させていただきますが、
1:57:32	S Aとの関係ですね、それぞれ向こうから帳簿条件が渡されて衛藤石川で整理するんですが、

1:57:40	一応並行して作業できるところにつきましては、再来週の
1:57:47	説明できるようにちょっと準備を進めさせていただきます。
1:57:52	はい。あとは、
1:57:56	共通 12 等の前提となるですね、設計要求、
1:58:02	そもそもその設備が要らないのを含めてですけども、そういった話も、これ優先的にさしていただく必要がございますので、ローリングより設定させていただきます。
1:58:15	はい。あとは、
1:58:19	特に想定破損ですね、麻生形状が違うところ、
1:58:23	全周にしているところ、貫通クラックにしているところ、漏れないところにしてるところですね。
1:58:29	あそこの示し方後、その没水被水との関係性みたいなところは整理して説明させていただきます。
1:58:38	あとは、評価に用いてます安全率の考え方とかですね、こういったところも、
1:58:46	根拠を整理し進めさせていただく。
1:58:48	してました。
1:58:50	あとあのプールですね通常状態と違う状態での影響評価につきましては、早めにちょっと方向性を示させていただきたいと思いますので、ちょっと来週の説明を考えてございます。
1:59:03	あと衛藤奥が局所の説明ですね
1:59:09	或いは
1:59:12	屋外タンク等の 1 水源として想定する地下ピットの水ですとか、
1:59:18	耐震性を持つてる冷却と、
1:59:22	彼らの扱いみたいなのところにつきましても、再度整理させていただこうと思います。
1:59:28	はい。当然医薬品でございますが、薬品につきましても、溢水と同様評価対象設備の妥当性、
1:59:38	選定の妥当性確認みたいなのところを改めてやってございますので、そういったところは、1 同様に説明させていただきます。
1:59:46	はい。あとはですねやっぱり漏えい元が、今まで
1:59:54	1 般教動向のところの頻度や考慮してますよという話があったんですが、今日説明差し上げました通り、そもそもターミナルエンド部で、

2:00:03	建屋内で守れるところがございます。それに対する配慮ですね。なぜそれに対しての影響評価が必要ないのか。
2:00:13	それに付随しまして、防護対策設備として積んんかが登場してこないのかみたいなところを、しっかり整理して説明させていただきます。
2:00:25	あとは、
2:00:29	溢水も同様でございますが、屋外の漏えいに関しまして、
2:00:36	アंकローリーからの漏えいを想定した、評価の方法について今日説明差し上げましたが、あそこの枚数も含めてですけれども、
2:00:48	どういうもので、どう、
2:00:51	保守的にその評価条件を設定してるのかといったところ、
2:00:57	90° の角度も含めてですけれども、整理させていただきます。
2:01:02	はい。
2:01:05	はい大きいところの振り返り以上になります。
2:01:07	はい。規制庁、鷺見です。そう。
2:01:11	では全体を通して何か規制庁側から確認ございますでしょうか。
2:01:21	藤衣川もよろしいでしょうか。
2:01:28	はい。原燃側も、特にございません。
2:01:32	それではこれでヒアリングを終了したいと思いますので録音を設置します。
0:00:01	のタケダです。
0:00:03	それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始いたします。
0:00:06	本日のヒアリングは、令和4年の12月に申請があった最終設工認申請につきまして、提出がされている資料をもとに、事実確認を行うものです。
0:00:18	規制庁側の出席者ですが本庁側から、石井のフジワラタジリタケダになります。
0:00:27	ウェブからの参加がコサク。
0:00:30	ハバサキカミデオオオカオオハシタカナシ。
0:00:35	以上になります。
0:00:38	それで日本原燃の方から出席者の紹介と、それぞれの家担当の役割の担当について説明した上で、本日の説明範囲と達成目標について説明をお願いいたします。
0:00:54	糸山事務局の中浜です。

0:00:57	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:02	Web事務局より、ムラヤマサトウ。
0:01:06	ハヤシイシハラフジノ。
0:01:10	本日は請負い事になりますが、まず市申請書不備関係の対応の取りまとめといたしまして、スズキツジモト。
0:01:20	広域耐震関係で欲しいの。
0:01:23	品質保証関係で、No0。
0:01:27	あと施設拡幅から、前処理からヤマモト、複雑固化からナカムラシ、
0:01:36	成果から、あぶかな。
0:01:39	電気保全書かれ、細江。
0:01:43	あります。
0:01:45	一つに共通住民関係でございますけれども共通住民関係の取りまとめるシミズ、
0:01:51	設備関係の説明で阿多ナツメサカモリ中、
0:01:57	三菱重工様より、榊様。
0:02:00	以上参加者となります。
0:02:02	今回ご確認いただきます資料でございますが、関連受けさせていただいてます。まず最初、第2回、
0:02:10	設工認申請書不備への対応状況につきまして、というものを元に説明させていただきますまして、その後共通12の累計分及び、
0:02:20	構造概要についてというものを、
0:02:23	ご確認いただきたいと思います。
0:02:26	それでは申請書不備への対応状況についてご説明を差し上げます。
0:02:32	はい。日本原燃鈴木でございます。それで昨日提出しました、節項第2回設工認申請書の館警察不備に係る時系列の問題点。
0:02:45	について説明をいたします。
0:02:47	また時系列の方の資料の方ですが、こちらの方ですね12月5日から12月実26日の申請断面のところについて、
0:02:57	時系列を整理してます。この中に右折加藤機器耐震グループ後許認可、
0:03:04	等ですねこの中にメンバー点を付記して、真似て洗い出したものになってます。この問題点ごとに、真木と秋田、問題点は聞き取りを行いですね。

0:03:16	要はその要因については要因分析の方で分析をしたというふうになっております。
0:03:22	山路系列の方ですけども、12月5日の時に第最終補正を行いまして、あとですね、12月26日までタイトなスケジュールになってまして、
0:03:32	まず最初のところでございますけども、機器耐震グループの問題点1というところになりますけども、こちらの方で計算書の様式が
0:03:44	これまで整備しているし申請書として作成したのからですね、並び替えをちょっと行ったということで、記載のルールとかを変更しましてその周知とか説明会を行いました。
0:03:56	それがこの真ん中の表にあるところなんですけども、こちら1回説明会をしたんですけども、その後ですね、修正内容とかですね、ありまして、それが申請間近まで続いてたっていう問題点がありまして、この時点で、
0:04:10	最終分を一式最終版の様式を意識できずにいたというところで、様式のところ付言起こったという問題でございます。
0:04:20	次その表の右側に左側にある、問題点並んでますけども、こちらの方は、補足説明資料として、教育でレベルを作成するんですけども、
0:04:31	ホテル他朝夕の申請書になるということで、時点でチェックを行うんですけども、そこのチェックの段階で不備があったっていうことを書いております。
0:04:41	次続きまして、各施設課のところですね、申請の方をポンプアップして、
0:04:47	それ段階に入るんですけども、その中において一番最初にアンダーラインで書いてありますけども、こちらの方で、
0:04:55	蝦名曾根チェックをやってくんですけども、
0:04:59	次、事務局の方にリリース日は、事務局の方がリリースを設定してですね、省略かけてるんですけども、資料作成が遅れたこともあって、
0:05:12	ファイルはリリース量を見直す必要があったんですけども、そこをですね見直すことができなかつた、いづにですね、結果ですね、指定のプロセスの境界化して実績の結果できなかつたということが、確認されております。

0:05:27	右側の方にちょっと書いてありますけども、こちらについては問題点ずっと問題点9のところについては、学長が起こった原因のところ、問題点を書いております。
0:05:37	こちらの問題点について、抽出した問題点を、今までの方ですね、要因分析を、
0:05:45	形で整理しまして、対策をつなげていったっていう、その流れですね 今、CRのCRのシステムの西暦に今対応してるというものになってます。
0:05:58	あと、載せてるのはですね耐震計算書のものですけども、続くこれ以外にですね、本文と、
0:06:06	体積を最小限の
0:06:08	書類ですね、強度計算書とか、
0:06:11	でも同様にも行っていて、
0:06:13	3月の中旬までに終わらせるというスケジュールで進めております。
0:06:17	説明の方は以上です。
0:06:21	規制庁竹田です。ありがとうございます。
0:06:24	それでは今の説明につきまして規制庁側から確認あればお願いします。
0:06:32	規制庁カミデです。何から話をしたらという感じはありますけど。
0:06:41	いわゆる今説明あった資料も、耐震計算書の不備、
0:06:47	てなっていて、
0:06:49	これでCR登録っていうことですがそもそも申請書全体をチェックしないで出したんじゃないのって思ってるんですけど、耐震計算書だけなんですか。
0:07:02	試案の方はですね耐震計算書以外のところについても、試合を発行して処理を今しておりますちょっと遅れてますけども、ちょっとページが遅れてますけど今、同じようにですね、
0:07:14	問題点を抽出して、分析等もやってるところです。すいません。
0:07:21	はい。
0:07:22	規制庁神です。それって一体としてやらなくて、幾つかの、
0:07:29	グループに分けるっていうのはどういう思想なんですか。
0:07:34	今回のスズキです。当初の耐震計算書の方で不備が見つかったというところで、それで1回目の1回とか、手続き上の流れだけなんですけども、

0:07:45	C Rを発行しまして、狭窄で不備の内容を抽出して、はい。
0:07:53	コサクです。はい。現状分けてやってるのは、
0:07:58	わかってますけど、そんなんの意味あるんですか。
0:08:02	ことを、峰が言っていて、やってることを一生懸命説明してもいいんじゃない。
0:08:08	はい。
0:08:11	ですね今、一応合わせて、引き継ぎのやってるところでございます。
0:08:20	規制庁亀井です。
0:08:24	合わせ合わせてやっていると言われましたけど何かよくわからないですね。ちなみに耐震計算書以外としては何本建てて、
0:08:33	んですか、そういう耐震計算書とそれ以外、
0:08:36	それでも、何駒田をいるんですか。
0:08:42	ましえーっとですね、要因分析聞いてみると、耐震計算書等、
0:08:50	整理しているのと、あと、それ以外の経産省については、それで今整理をしています。当本部の方ですね。
0:08:59	委員の方がちょっと違ってきてるところもあるので、それは別に、整理をしていってるところなので、
0:09:05	3三つで展開をかけてるっていう感じコサクです。ちょっと混乱するので、
0:09:13	整理をしたいんですけど、C Rとしては2本ですか3番、P Rを2本です。
0:09:20	はい、菅田です。で、
0:09:24	大枠でいうとまず耐震計算の不備計算書の不備だけで立ち上げてしまいました。
0:09:31	その作業。
0:09:32	をしてる。
0:09:34	普通なのか何だか他も判明したということで、
0:09:40	改めて前、耐震以外のものということで立ち上げたということですか。
0:09:47	日本原燃鈴木でその通りです。
0:09:51	コサクですけどその2本目立ち上げたっていうのはどういう流れですか。
0:09:58	日本原燃の鈴木ですけども、耐震検査の方で不備があったんで、それ以外の支社長のところについても、無理がないかを掛けた。

0:10:08	組が見つかったので、C Rを発行したというものです。
0:10:16	展開を図ってっていうのはどういう判断。
0:10:21	日本原燃鈴木です。
0:10:24	今内容を見ると、転記ミスとかですね、録音の落丁とか、そういう時漏れとかがあったので、
0:10:30	新工場の中にですね、があるっていうのは、ないかどうかを、
0:10:37	うん。
0:10:38	ありましたというところです。
0:10:42	古作です。
0:10:45	私としては
0:10:48	可能性があれば、早く手をつけていくということは適切だと思うので、
0:10:53	わからなく、
0:10:55	事業者がよくやる
0:10:58	C Rの検討が終わってないので、水平展開は図れませんっていうようなことはあるんですけど、
0:11:05	今回はそういうことはしなかったっていうところろうでは、どんな状況なんですかね。
0:11:13	また試算書の方を、
0:11:17	終わらせてからですね、その他の方に展開。
0:11:20	もあるんですけど今回ですね。
0:11:22	まずは不備の内容を確認しようということで進め、日本
0:11:26	向けてですねきてですね、対応しております。
0:11:30	コサクですまた事実関係だけの説明になっちゃいましたね、考え方を。
0:11:43	あんまりから。
0:11:46	日本原燃鈴木です。考え方としましては、
0:11:53	耐専計算書等あったので、
0:11:57	下早々お待ちください。
0:12:01	日本原燃の佐藤です。
0:12:03	耐震計算書で速やかにC Rを切って、
0:12:07	私ヒアリングの中に
0:12:09	ちょっと全体を眺めてという話をしたときに、日下さんの方から、いやもうその発生時点で速やかになって言ったようなご発言もあってもそこ私、伴節に

0:12:18	他、
0:12:19	に対しても速やかに展開すべきということで、CRを即発行するよということで話いたしました。
0:12:25	以上です。
0:12:27	はい。
0:12:28	わかり
0:12:29	その時に、
0:12:32	当然可能性があるものを早く確認していかなきゃいけないということなんですけど、結局、カミデの話に戻りますけど、
0:12:42	他のものも見て、共通要因なり他にも、
0:12:47	自然が出てきたときに対策としてトータルどうしたらいい。
0:12:52	いうのを、
0:12:53	一体として考えるべきものはないんですかと、ということだと思っんですね。耐震だけでクローズしてしまうと、全体とそごが出てしまうというようなことがないかっていうのは、何か考えてないんですか。
0:13:08	日本原燃佐藤です。ちょっと昨日の資料をお示しした資料の2ページ目スケジュールをちょっとつけてたんですけども、おっしゃる通りその耐震だけではなくて、申請書、トータルとして見る必要がありますので、最終的な
0:13:22	投資を確定させるパフォーマンス改善会議というのは、一体でやるようなスケジュール感で進んでおりました。最初の取っかかりが、耐震上ちょっと先行してやっておまして、
0:13:33	これすいませんちょっともう我々のちょっと進捗遅かったせいがあるんですけども、あの会合に向けたちょっと資料の確認ということで、まずはその耐震、i n gではあるんですがまずは改修のところをご説明したかったと。
0:13:44	そういうことも資料のちょっと提出になってしまいました。
0:13:46	以上です。
0:13:49	はい。補足です。なので、
0:13:53	これだけ見ても、最終的な対策として全体どうなるかということはず、
0:14:00	話が十分できないということかなと思ってるんですけど。

0:14:07	現状に於いて、そもそも調査に1ヶ月弱かけている分析にも1ヶ月かけている。
0:14:18	で、対策はもっとかけていると。
0:14:22	実際は1ヶ月の中で
0:14:26	その他もあるから伸びているだけっちゅうだけなんですけど、
0:14:30	ていう。
0:14:32	のこの時間の使い方ってどうなってるんですか。
0:14:38	日本病院の鈴木です。
0:14:41	事象の方が時間かかったというところにつきましては、まず、各施設課の方は二通りの事情がないかということで、調査を依頼しまして、できた場合についてですね。
0:14:52	聞き取りをして、ちょっとグルーピング、
0:14:56	をしました。グルーピングをして、要因がどんなのかっていう形で、要因を洗い出して、対策の方にもやっているとこのところ、
0:15:06	そのグルーピングの方です。
0:15:08	昨日提出した時系列の右上の方にですね、記載紙のナンバーって形で、このぐらいの分類をして整理をしていって、
0:15:19	ポロポロとあと聞き取りですね。
0:15:22	こちらの方に時間かかって、
0:15:24	聞き取りをする上で、1回聞き取りをすると他のところにですねもう1回聞いておりましたような、
0:15:30	縛りが必要なところがあるとなるともう1回-をするようなことを、ちょっと繰り返しやってまして、それでちょっと時間を要したというところになってます。
0:15:39	以上です。
0:15:42	はい。補足です。それ、今の話でいうと、
0:15:48	今回の受賞のスタートとしては、不備の不備のある部分が見つかったということでスタートし、
0:15:59	同様のことだったりそれ以外の不備はないかという調査を1ヶ月かけてやりました。
0:16:06	てことですか。
0:16:09	はい、そうです。
0:16:12	はい。補足です。それで調査をした結果、

0:16:19	分析として、その分類をしその原因とかを抽出をしと。
0:16:24	いう作業に入ったってことですか。
0:16:27	はい。日本原燃都築です。その通りです。
0:16:33	はい。
0:16:34	起こりました。不備を、
0:16:38	抜き出してくのには確かに時間かかるんだろうなど。
0:16:42	思い、
0:16:43	ますけど、
0:16:45	不備を見つけるのにこだけ時間がかかるってことは、
0:16:49	当初せ、申請書をつくるにも、
0:16:52	これだけの時間かかるんだよなというふうに思いましたけど、どうなんですか。
0:17:00	日本原燃鈴木です。ですね不備の内容を見ていて、内容をちょっと見ていくとですね、もう少し深掘り
0:17:12	いろいろ上層部の方に話をしていくとですね、少しやっぱ、
0:17:16	大体上げる意見なんか聞くと、やっぱ違う観点でもう聞き取りをして、いろいろ表さなきゃ洗い出さなきゃいけないのかなあということが上がってきたりですね、やっぱり再度、
0:17:29	非常に大変な
0:17:31	分析になってるのかなというふうに思ってます。日本原燃佐藤です。申請するにあたってはですね当然今回再チェックしたようなやっぱり確認は必要かと思ってます。
0:17:40	そういう意味でも今回申請した12月だった11月末位から準備はやってるんですけどもちょっと無理があったのかなというのは正直思っております。
0:17:51	以上です。
0:17:54	はい。補足です。ちょっと先走って最後の方にしなきゃいけないような話をおっしゃいましたけど、
0:18:00	取り合えずスタートと、そのあと何をやってきたかっていうのはイメージありましたけど、
0:18:11	昨日ね一昨日の資料だと、先ほど佐藤さんの話になったように3月ミドルにCRパフォーマンス改善会議ということでしたけど、

0:18:22	現時点で、とりあえず説明しなきゃと思われたというところではありつつも、
0:18:29	話の中だと耐震は説明できるけど他はC R。
0:18:33	会議体はまだやってないので、説明できないみたいに言われてましたが、
0:18:38	斉田最終段階のものはそれはそれとしてこれまでってどう扱われてるんですか。
0:18:52	はい
0:18:53	表現のスズキです。
0:18:55	写真の方は一応今、時系列化溶解物的な方法を作っております、
0:19:01	それ以外のところについても、要因の洗い出し等は整理をして、こちらこれからですね、
0:19:07	説明していくっていう段階になっております。
0:19:13	そうです。
0:19:15	耐震以外のものはまだ、
0:19:17	作業部隊が整理中で、
0:19:20	会議体には一切測ってないっていう古藤。
0:19:24	でしょうか。
0:19:26	はい。日本原燃鈴木です。
0:19:29	事務局の取りまとめの方で、うん。
0:19:33	本多海野様については、確認をして分析をし、
0:19:38	申し込みもやはりそのまま出てきているので、それの方ですねこれから社内の会議体の方にかけていくということになっております。
0:19:48	コサクですけど一方で、耐震の方は、
0:19:51	もう何か欠けてるんですか。
0:19:55	日本原燃都築です。新の方はですね先行して始めておまして、社内の会議体の方に、
0:20:03	こちらもですねちょっと、
0:20:05	今の通り案をまとまってるんで、最終的に石田さんが来るべきですね、会議体にかけていないんですけども、上層部の方には話をしてい。
0:20:16	合ってます、会議体の方にかけるのになってるところです。
0:20:22	補足です。

0:20:24	今の説明からすると、我々に説明できるか否かというのは上層部に説明した場合、
0:20:36	日本のスズキです。まだ仕様表の方、侵害のところですね。
0:20:41	まとめの方としても、もう少しですね、もう少し結論の方を進めたいところがあって、まだ
0:20:48	衛藤。
0:20:49	すぐできないところであるので、それをですね早急にということかですね、まとめて開けていきたいというところでございます。
0:20:59	日本原燃の佐藤です。日下さんおっしゃっていただいた通り上層部ある程度説明が終わってますので、大きな方向性が変わってないということでご説明できるということでもまずはちょっと耐震だけ先行して説明させていただきます。
0:21:14	とコサクです。
0:21:17	野呂さんは、
0:21:19	印象。
0:21:20	としてってということで参加されてますけど、
0:21:24	この進め方なり分析なりってどういう受けとめていって、どういう関与の仕方をしてるのか説明いただけますか。
0:21:37	今現在のNOです。今回、CRが2本ということで、1番目の耐震計算に関わる部分について、要因分析をして今再発防止立つところ、
0:21:49	検討しているというところで、その他5期についても、CRの中で今要因分析を実施中ということで、ここの対策と、
0:22:00	最終的には日本の共通的な要因についても、場面図改善会議っていうところの社内の会議体を
0:22:10	バックの中で、承認が取れた時点で、最終的には是正処置が確定するというようなことを認識してます。
0:22:20	今回は、先ほど佐藤がおっしゃった通り、耐震計算書の変更をしておりますので、まず、かつ純層部の、
0:22:30	一応方針についても説明が終わっているという、
0:22:35	前提のもと、規制庁さんの方に提案しているというふうに理解してます。以上です。
0:22:43	コサクです。進め方と言っちゃったのでちょっと、
0:22:48	認識がずれちゃったかなと思うんですけど。

0:22:52	この分析を、
0:22:54	Q M S の観点から、
0:22:56	どう思われます。
0:23:07	コサクですちょっと漠としていいですかね。そもそもこの検討分析して要因を抽出して対策を検討してるっていうのに、ノロさんははらんでるんですか。
0:23:21	日本原燃野呂でございます。
0:23:27	今回は、C A P システムの中で、
0:23:31	その検討というのは行われていて、マピックっていうところが最終的に議論していくんですけど、我々品証部門についても、今回の事象に関しては、
0:23:42	是正措置の審議であったり、計画の妥当性現時点のものでございますけど、そういったものに、アドバイスという形で関与しております。
0:23:53	以上です。
0:23:55	そうです。そういった辺りを最初の方から聞いたかったんですけど。
0:24:03	コーンっていうんですかそういった打ち合わせは、
0:24:09	毎週なのか毎日なのかよくわかりませんがやっていて、本件についても適宜何度もやっているということですか。
0:24:17	もうちょっと具体的に説明いただけますか。
0:24:21	日本原燃の場でございます。
0:24:24	事象発生時点から関与してるということではなくて、ある程度今回の聞き取りであるとか、1人が終了して、時系列の整理ができた時点で、
0:24:36	どこが問題点かというところから、毎日、これ品証部門についても関与してございます。以上です。
0:24:46	コサクです。ありがとうございます。江藤今野でいうトピックは毎日やっていて、そこにインプットがあったのは、
0:24:54	調査がある程度進んで分析に入り、
0:25:00	調査の十分性なり何なりっていうのは話ができるようになったぐらいっていうことですか。
0:25:08	日本でのものでございます。結構の会議については、まだ図っておりません。その図る前段として、我々品証部門が、今アドバイスっていう形で関与させていただいております。
0:25:22	以上です。

0:25:29	毎日といったのは、情報共有をしながら会議体とは別に、担当者レベルでの打ち合わせをして、
0:25:39	日本原燃の方でその通りでございます。
0:25:46	補足です。わかりました時期としては、この
0:25:50	線表で言えば、
0:25:52	1月、遠藤あたりっていうこと。
0:26:01	富山辨野でございます。おっしゃる通り分析とか沢木防止対策の1月エ ンドの、これから我々もアドバイスをさせていただいております。
0:26:13	はい。
0:26:14	状況はわかりましたけど、
0:26:19	そうだね。
0:26:24	なんでこの段階からQMS的な話をしたかという、この分析を見て、 昨日なり、一昨日なり話した。
0:26:35	そもそもQMSとして設工認で添付書類があってですね。
0:26:41	それでやるべきことがある中で、
0:26:43	これはどこに位置付けされてるんだろうかっていうのが全然わからない。 い。
0:26:48	けど、
0:26:49	そういった目ではノロさんは見てないんですか。
0:26:58	日本原燃の李でございます。おっしゃる議員。
0:27:03	もう、あの後、今アドバイスというか指摘もしております、今回問題 点形フローで、
0:27:10	問題点は何点か抽出されておりますけど、問題点のところ、本来はど うすべきであるとかっていうところをきちんと明確にした上で、
0:27:20	その上で何ができてなかったというふうに整理をするだとか、そういっ たところを今後しっかりピコにかける前に、資料として、
0:27:31	明確にする必要があるというところのアドバイスをさせていただいてお ります。これについてはまだ資料に反映されておられません。
0:27:40	はい。補足です。そうですね。QMSでやってる人だったら自然にそ う思うと。
0:27:46	衛藤。
0:27:47	1月エンドから関与して行って、

0:27:53	現時点においてまだそういう状態になっていないっていうのはどういうことなんですかね。どなたからでも説明でもいいですけど、
0:28:13	日本原燃の佐藤です。
0:28:15	おっしゃる通りそういった観点の指摘を受けており、社内で受けておりながら
0:28:22	その耐震以外のところの調査の方にもちょっと
0:28:26	満杯を使っていて、正直すいませんそこまでは対応ができてないということです。今の指摘はそれなりに受けている認識はしておりましたので、ちょっとすみません私の方の指導も全然できておりませんでしたそこは
0:28:41	至急対応いたします。
0:28:44	はい。補足です。それで言うとはですね、また線表に戻りますけど、分析終わっちゃってます。
0:28:56	線表って、さっき移した最初のページですけど、
0:29:01	終わっちゃってて、分析、指摘されてて、やる認識はありますけど、いいながら終わってます。
0:29:09	いえるような資料を出されても困るんですよね。
0:29:14	かつ対策食うとして十分かみたいな話をしていくときには分析が必要でと。
0:29:20	いうので
0:29:23	耐震以外のところはまだ分析中ということに引っ張られてるんだったら、
0:29:29	耐震の方だって、そういった分析が追加で発生しうると。
0:29:34	ということだと思いますし、先ほど言ったようなところでまだ分析しなきゃいけないことは起こってはいはず。
0:29:40	ということなので、その点も議論があると。
0:29:43	いうところですよ。
0:29:47	ちょっとどンドン話を進めちゃうといけないので、
0:29:52	1トン。
0:29:53	カミデさんにお戻しをして、
0:29:57	またその何ていうかね、内容的なところから、
0:30:00	話をしてもらえれば
0:30:02	カミデさんすいませんでした。

0:30:05	はい、上出です。
0:30:07	どこまで話をするかというか、今の、
0:30:11	今までのところ
0:30:14	本来あるべき姿も書かれておらず、
0:30:19	中途半端な状態っていうことになって、これ自体はブラッシュアップされてまた話を聞くんだろうなとは思ってます。
0:30:28	ちょっとまた、今示されてる耐震
0:30:32	の話として、ちょっと思うところを確認しますが、その前にすいません。
0:30:41	原燃のちょっと中の体制を少し確認したいんですけど、今、野呂さんが、品証としての関わりを持っているという話でしたけど、
0:30:54	先ほど説明されたスズキさんであったり、
0:30:58	特に鈴木さんかな。
0:31:00	はどのような立場で、
0:31:03	資料だったり作業に関わってるか、説明してもらっていいですか。
0:31:11	はい。日本原燃都築です。私はですね今回不備がCR赤穂したということで、これが全施設課に関わることだということで、
0:31:22	試験結果業務課の取りまとめ的な事務局として取りまとめをしてるというものです。
0:31:29	以上です。
0:31:31	はい。規制庁深見です。許認可業務課で、
0:31:39	この不備が発覚してから、これのCRを取り、
0:31:44	取りまとめる立場として関わっていて、なので表、昨日もらった表を作ったりだとか、
0:31:56	ということですかね、提案の問題点の聞き取りだったりとかっていうのを中心でやられてる方っていうのが、都築さんと、
0:32:05	やっぱり日本病院のスズキでその通りです。
0:32:10	はい。規制庁亀井です。わかりました。
0:32:13	そうなると、
0:32:18	あれですね。
0:32:21	まずこれ、耐震計算書っていう話なんですけど、
0:32:26	機器耐震グループしかなくて、
0:32:30	耐震で建物もあると思うんですけど、

0:32:33	なぜそれが出てきてないのかっていうのをまず教えてもらう。
0:32:57	はい。兵庫県の鈴木です。耐震計算書のところの方の取りまとめ名は一応北井新グループということで、ここに、
0:33:06	記載をしております。以上です。
0:33:11	規制庁加部です。
0:33:17	今補足です。
0:33:20	コサクです。ちょっと私も気になったので、
0:33:24	質問するとスズキさんは、あれですか。
0:33:28	申請には携わっていない第三者として、今回C R Aに携わってるんですか。それとも、
0:33:35	申請の担当者として、
0:33:38	発生責任を持って対応するんですか。
0:33:44	どっちでしょう。
0:33:47	日本原燃都築です。
0:33:51	先生んした時の
0:33:54	離れたところで、
0:33:56	たものになります。
0:34:00	はい。古作です。わかりましたそれで言うと、
0:34:03	申請自体を、
0:34:06	直接に携わっていない。
0:34:09	ところで
0:34:11	ある意味じゃ、第三者というと許認可業務課なんでちょっと、
0:34:15	語弊があると、あるかなと思うんですけど、
0:34:20	第三者的な視点を持って、ニュートラルに分析を、調査分析をしていると。
0:34:27	ということで状況は理解をしつつ、
0:34:30	耐震計算は、
0:34:33	次、耐震でっていうのは大きな間違い。
0:34:37	なんですけど、
0:34:39	もう一つのC Rの方もスズキさんやられてるっていうことでいいんですか、また別ですか。
0:34:47	日本原燃鈴木ですその通りやっております。
0:34:50	古作です。もう一つの方もやってるんだとすると、申請書全体の

0:34:56	関係者っていうのは認識してないと駄目だと思うんですけど、
0:35:01	何機器耐震って言っちゃって平気なのかなっていうのが疑問なんですけど。
0:35:07	どう、何て言いますかね。
0:35:10	これの認識って整理できてますか。
0:35:28	コサクです。言ってる意味がわからない感じなので、あれですけど、
0:35:35	耐震計算書っていうのは、
0:35:38	建物構築物と機器等、大きく分けて設計
0:35:43	作成されていて、
0:35:47	視点として、
0:35:49	混乱するわけがないと思ってるんですけど。
0:35:53	等そのうちの機器耐震だけを一つ目のCRでやったということなのか、耐震計算書として建物構築物も含んでいるのかっていうとどっちでしょう。
0:36:04	鈴木さんじゃなくてもわかる人を説明してください。
0:36:07	日本原燃押野です。今コサクさんがおっしゃったように一つ目のCRは、機電耐震の部分だけでの範囲でのCR登録でしたので、
0:36:20	今回示してる場所は機器耐震グループが関与してる範囲となっております。
0:36:26	で、それ以降に、二つ目で挙げたCRの方では、建物側の方も調査の範囲として、含めて、調査をしていると。
0:36:36	ということです。以上です。
0:36:39	はい、古作です。わかりましたカミデさんどうぞ。
0:36:44	はい。規制庁金です。で、
0:36:46	何で機器だけ先行したんですか。
0:36:55	はい。日本原燃星野です。
0:36:57	機器の方はですねちょっと申請書を提出した後に、私の方で申請書を見た時に、いろいろ不備があるのは、先にわかっ。
0:37:09	ておまして、1月6日ヒアリングの時にも、ご指摘を耐震部分で先にいただきましたので、まずはすぐにCR登録するというので、
0:37:22	機器起源耐震の部分でまずCR登録をしたという状況になってます。
0:37:30	はい。規制庁神です。状況としてはわかりましたけど、
0:37:35	ていう感じですね。はい。

0:37:40	あとわあ、
0:37:44	翌期電位しかやってません。
0:37:47	根井。
0:37:48	もうちょっと確認すると今日出した、昨日出してもらった資料の2ページ目ですか。
0:38:02	今、北井氏、芦田さんは北井新グループの人としてこれ携わったってことでいいんですかね。
0:38:12	はい。機器耐震日本原燃星野です。私の方も許認可さんが取りまとめということで首藤されて、市聞き取り調査を受ける側で、関与をしております。以上です。
0:38:28	規制庁深見です。
0:38:32	何だろう、CRっていうよりは
0:38:35	申請する作業において、この12月の
0:38:41	計算書の様式見直しに伴う修正依頼をかけたかとか、
0:38:47	施設課から出てきたものを聞きたい心としてチェックする役目をは、
0:38:53	だとかそういう役割をやられていたってことです。
0:38:59	はい。日本原燃星野です。上出さんが今おっしゃっていただいた通りです。以上です。
0:39:05	はい、規制庁神栖わかりました。今日はそれ以外に施設、
0:39:11	各施設か。
0:39:14	実際に作業された方もいらっしゃるんですかね。何何名かでいいんですけど。
0:39:21	はい。日本原燃星野です。施設課の方もヒアリングに参加しております。
0:39:29	はい。それとか水わかりまして、あと許認可業務課としては先ほどの鈴木さんはこの12月段階であまり関わっていないということだったんですけど、
0:39:42	この資料でいうと右下の方ですね許認可業務カーとして、チェック、あと各界コメントを入れたり、合本作業、あとは、
0:39:54	品証チェック安全委員会ってありますけど、この辺りを担当された方ってなったわけですか。
0:40:05	はい。宮上都築です。ここのチェックはですね私はちょっと携わっては、

0:40:12	1000、こちらの方ですね、協議会に申請書バーを、
0:40:17	まとめるチームがございましてそちらの方でやっていたものでございます。
0:40:22	はい。規制庁管です。今日はいらっしゃらない。
0:40:30	後半原燃のツジモトですけれども、大変管理部から災害のところの申請書取りまとめ条項に携わっている影響、出席してございます。
0:40:42	はい。規制庁管認定です。
0:40:46	ちょっと気越す聞き取りにくかったですけど、どなたが担当されてた。
0:40:53	ツジモトです。
0:40:57	はい、梶長官です。
0:40:59	辻本さんという方で出席されて、
0:41:03	ということでとりあえずわかりました。
0:41:10	これ、
0:41:12	何だろう、中身の話を聞いても仕方がないので、
0:41:18	あとはそうですね。
0:41:22	まず
0:41:23	今後また資料が出てくると思うんですけど、
0:41:28	問題点。
0:41:30	が、これで全部かっていうのがよくわからなくて、よくわからないっていうのは、何があったのかっていうのはちゃんとわかるようにして欲しいんですね。
0:41:40	例えばそのNGの結果が出ていたとか、間違った諸元が入ってるだとか、そういったことをまず起きた事象。
0:41:53	まず明らかにして、
0:41:56	そうなってしまった問題点は何かっていうので問題点が出てくるっていう感じにまずは整理を、
0:42:03	してもらいたいなあと思ってるんですけど、よろしい。まずその辺は、原燃としては正しいですか。古作です。
0:42:12	その点では、
0:42:13	昨日出た資料と一昨日でた資料で、それぞれつまみ食い状態になっちゃってるかなと思うんですけど。
0:42:22	最初に確認した通りまず調査がありましてということなので、その内容をまずしっかりと整理をいただきたいということ。

0:42:32	だと思えます。で、
0:42:36	一昨日の資料でいうと、
0:42:39	2 ページ 2 ページ目、3 ページ目、2、
0:42:43	数字は書いてある。
0:42:46	何設備。
0:42:47	何ページみたいなことは、
0:42:50	なんですけど、これの具体があまり書かれていなくてというところがあるので、
0:42:57	それをもう少しちゃんと示していただいてカミデが言ったように、この緒元なのか何なのかというようなことでまとめて、
0:43:06	まずもらうと。
0:43:08	いうところでもう十分 1 ページになっちゃうかな。
0:43:13	1 ページで収まるかどうかはちょっとよくわからん
0:43:16	けど、
0:43:17	やっていただいて、その時に、この耐震計算書大金進計算書以外って書いてますけど、先ほどのCRと体をつけて書いてるんだとするとこの記載も間違ってるような気はするんで、
0:43:30	以外と言わずに、ちゃんと全体としてどういう状況なのか、ものがわかるように整理をしていただきたいと思いますけどよろしいでしょうか。
0:43:44	日本原燃鈴木です。了解しました。
0:43:48	はい。補足ですカミデさんどうぞ。
0:43:50	はい、規制庁上津で今映って資料で言うとその次のページとか 2、主な問題点として、一応出てん点として例示が摘み食いであるんですけど網羅的にですね、
0:44:06	どういうことっていう、こんなことがありましてっていうのはわかるようにしといてください。で、
0:44:12	特に 4、今写ってる 4 ページの二つ目のポツで、
0:44:20	一次+二次、
0:44:21	ていう話だけ書いてあるんですけど、私が見てる限りでは一次+二次以外も、間違いがあったんじゃないかなと思ってんですけどそのあたり、
0:44:34	理解されてる方とか、いないですか思い当たる。
0:44:37	ところがある人とかいないですか。

0:44:40	日本原燃鈴木でございます。ここの4ページの資料2以外のところで すね、事例がありますので、そちら理解をしております。
0:44:50	事例の方についてはすね、提示をしていただき、いきたいと思いま す。以上です。古作です。事例として出すんじゃなくて、類型として整 理をして、全体が包含できる説明にさせていただきたいと。
0:45:05	その上で、事例があるということだと思う。
0:45:12	日本原燃都築です。了解しました。
0:45:17	はい。規制庁深見です。
0:45:21	一次+二次以外にもありましたよね。
0:45:25	認識されてる方いないですか。
0:45:27	日本原燃星野です。上出さんがおっしゃっていただいた通り、一次+二 次以外にも数値の書き間違いですね、ございました。
0:45:39	資料のですね7ページ。
0:45:44	のところですね。
0:45:50	これって、
0:45:57	7ページの方でも、例えば評価用加速度ですね、そこの数値が間違っ ていたと、というようなことは、事例でこの段階でお示ししておしま した が、
0:46:10	他の
0:46:13	事象気象というか不備に対してもこういった内容を添付する形で対応し たいと思います。以上です。
0:46:25	はい、規制庁神様の内容添付。
0:46:28	別にしなくてもよくて、先ほど小阪からも言いましたけど、そちらとし ては、駄目だと、駄目だったところを網羅的に拾い上げてる。
0:46:39	でしょうからそれを累計して、19した状態で説明してくださいというこ と。
0:46:46	ですね。で、だとしても何で一次+二次だけ、これが出てきちゃうのか がよくわからなくて、チェックの観点として、
0:46:58	なん、何なんですかね他の。
0:47:02	普通に一次応力だとしても1%済みだとしても同じ原因で、同じ再発防 止策になるんじゃないかなと思ってるんですけど、何かぬ特別抜き出し たりとかって何かあるんですか。
0:47:18	日本原燃鈴木です。大体の方ですね事例。

0:47:23	事象ごとにその問題点を洗い出して、資料に落とす時にですね、人的なところで問題点を書くとはですね、
0:47:33	的なところがわからないので、資料としては具体的なところの間違ったところの例としてあるものをちょっと変えてですね、
0:47:43	ありましたので、
0:47:44	この記載になってます。
0:47:48	以上です。
0:47:53	規制庁上出です。
0:47:57	やっぱりよくわからないんですけど、とにかくあれなんじゃないですかエビデンスがあるんだから、そのエビでそういう、
0:48:04	をちゃんと申請書に転記するっていうこと。
0:48:09	の作業ができていないっていうのでそれは事象 001 なんでしょうけど、②も同じ。
0:48:16	ことでしなくてっていうことだと思うんですよ。
0:48:19	何か私勘違いしてますかね。
0:48:22	コサクですけど、
0:48:26	まとめちゃうと、そうっちゃうけど、原燃においては少なくとも昨日出した資料で、問題点を、
0:48:33	中に挙げていて、その
0:48:37	問題点の一つ 8 番 2、一次+二次、
0:48:41	言葉を限定して書かれているので、この問題点についての対応ということを書かないと、
0:48:50	原燃の C R 対応との関係で説明が適切でない。
0:48:56	いうことに現状だとなっているのかなと。
0:48:59	思います。
0:49:00	一方で問題点の一つとしてこういう言い方がいいのかどうかっていうのはあると。
0:49:05	ですね。
0:49:07	またその問題点相互関係があるのか。
0:49:10	今回の要因分析が適切かっていうのもよくわからないところあるんですけど、
0:49:15	その点妥当、網羅的に類型整理してというときに、

0:49:21	これ、問題点原因ってきてますけどまずは、先ほど言ったように、事象があつてと。
0:49:28	ということで事象の分類もあるような気はするんですけど。
0:49:32	どういう整理の仕方をしていくつもりなのか。
0:49:36	ていうのがまずあるのかなと思いますけどいかがでしょうか。
0:49:43	日本病院の鈴木です。おっしゃる通りですね
0:49:47	先ほど説明したように、事象を分類し、うちの方でもしておりますて、事象分類して、
0:49:55	に対して問題点を挙げて、要因を考えて対策防止対策を考え、整理していきたいなと思います。
0:50:05	はい。補足です。それで言うと、昨日の資料の1ペーは3ページの、
0:50:12	に要因分析図があつて、
0:50:14	問題点。
0:50:18	の前に、
0:50:19	知事、
0:50:22	いうところでの黄色の枠が、
0:50:24	ということです。ただ、これ、よくわかんないのは、フローはそうなつてんだけど、要因分析図って書いてあるところの凡例は、順番が逆になつてんですよね。
0:50:35	これ実際の作業としてこういう順番でやってません。
0:50:51	日本原燃鈴木です。ちょっと字レア凡例のところが、
0:50:56	ちょっと流れが逆になっておりますけども、
0:51:00	並べるのは逆になつてるだけだと思っております。以上です。
0:51:05	実際の作業は、
0:51:08	ちゃんと調査の中で事実を整理をしてその整理をした事実に応じた問題点の抽出をしているってということです。
0:51:17	日本原燃鈴木で一応、我々、生きてる中で問題点を洗い出して、
0:51:23	えっとですね
0:51:25	技術を確認して問題点を調べ、それを要因にしているの。
0:51:31	しております。
0:51:34	はい。大丈夫です。
0:51:36	であれば、事実というのは、調査の
0:51:40	プロセスの中で整理をしているっていいですかね。

0:51:45	日本原燃鈴木でその通りです。
0:51:48	はい。補足です。それであれば先ほどそのまず調査の段階での事実関係をちゃんと整理をしてくださいと。
0:51:55	いうところを踏まえてこの枠が整理がされ、
0:51:59	それを踏まえて要因分析ということで長分析っていうところ、調査の一部も入って
0:52:08	けど、問題点の抽出というのでこの前のページのフローに応じていろいろと調査をして、問題点を洗い出しをしたと。
0:52:17	いうところの作業があってということで理解をしましたので、
0:52:24	まずは調査の事実関係でその次問題点ということで対応づくように、整理をして提示をいただければと思います。上出さんどうぞ。
0:52:38	はい、上出です。
0:52:40	あとは問題点。
0:52:43	もうもうちょっとちゃんと書いてくださいねっていうことで、雄踏、今までっていうやつの問題点4とかも、各施設か数値についてエビデンスと比較し、チェックは実施したか。
0:52:58	ていうことなんですけど、本当にすべてに対して、これができるければ、他の問題点これ出ないはずだよっていうのがあると思うんです。だから、
0:53:09	これ、
0:53:10	ある限定された。
0:53:12	場所。
0:53:14	何欄なんだろうなと思ってるんですけど、ちょっとまず事実関係として問題点4で言いたかったのってどういうことなんですかね。
0:53:26	日本原燃、都築です。ここで問題点4のところの記載の、
0:53:31	要はですね、
0:53:35	申請書に数値を転記して、里見数値をこうチェックするんですけども、
0:53:42	シーン
0:53:43	を確認してですね、確認された事象のように、
0:53:51	した数値がですね、キョウチ等
0:53:53	かどうかっていう、
0:53:55	宇和しなかったっていうところを、ここに記載しております。
0:54:03	規制庁、上出です。

0:54:10	小阪です。まず鈴木さんには、ヒアリングでの対応の仕方っていうのを、これまでヒアリング対応していた許認可業務課の人に聞いてください
0:54:22	いうところです。次、先ほども言いましたけど事実関係をオウム返しだよ。
0:54:28	何の意味もなくて質問の趣旨をとらえて対応いただきたい。
0:54:32	いうことなんですけど、数値についてエビデンスと比較しチェックをし、
0:54:38	した。
0:54:39	いうのは、部分的には確かにやってるのかもしれないけど、他の問題点においてはチェックができてなかったと。
0:54:46	いうのが、
0:54:48	あちこちにあって、
0:54:50	何を言ってるんですかっていう感じになっちゃうんです。
0:54:53	なのでその辺りで誤解のないように書いていただきたいというのがまず、
0:54:59	1点だと思いますけど。
0:55:01	私が今の理解で合ってるかどうかをまずお答えいただいていいですか。
0:55:16	日本原燃佐藤ですその理解の通りだと思ってます。チェックをしたのであればそんな的にそうなんでしょうしはい。この限定の話なのでちょっと
0:55:25	お願いします。
0:55:29	はい。補足です。そうすると、事実関係が余りにも丸めで書き過ぎていて、
0:55:37	はい、その部分についてのとかっていうところがわからないっていうのが、
0:55:42	現状のこの資料だと、誤解を生むポイントなのかなというふうには思いますので検討いただければ。
0:55:49	ます。
0:55:50	上出さんどうぞ。
0:55:54	はい、規制庁上津
0:55:57	そうですね。それ以外何かあったかな。へえ。
0:56:05	あとはそうですね。

0:56:08	アイサクのところ、
0:56:12	ガイドに反映するだけで、
0:56:16	いんだって感じがしますけど、その辺りは、ヒアリングで、
0:56:23	詰めても仕方がないのかなって感じ。
0:56:26	なので、今日のところは特に、
0:56:30	1 課、
0:56:31	这种感觉ですなので、
0:56:35	事実ファクトをちゃんと押さえた上で、それを連携して問題点要因対策というふうに、
0:56:44	分けても、ちゃんと分けて買い変えてもらう。
0:56:50	いう形でまた資料を提示してもらえればなって感じですね。はい。私からはとりあえず以上しておきます。
0:57:03	コサクです
0:57:05	今カミデが一今詰めて持っていった話は、一番大事なところだけど、
0:57:12	原燃が分析してないところをこちらが先に行ってもねってことで、
0:57:18	原燃がやってきたといいますねという趣旨。
0:57:22	ですので、誤解のないようにしていただいて、私が一番最初に、どこまでの話ですかQMSとして分析足りてないところありませんかと言ったのも同趣旨です。
0:57:35	国井一番大きな問題点として、期限の設定っていう、根本的に間違ってた。
0:57:43	いうことでいうと、
0:57:45	誰が問題でしたかっていうのが、
0:57:50	全然分析ができてなくて、
0:57:54	今回の対策がガイドってことだとすると、ガイドを、じゃあそれで運用する人誰ですかといったときに、大分末端の人になっちゃうような気はするんですけど。
0:58:07	今日の資料の2 ページ目で、
0:58:11	一番右に書いてある人の関与っていうのが、
0:58:15	真ん中でのレビューでしかない。
0:58:17	いうのはこれは本当ですか。

0:58:26	日本原燃鈴木でございます。事務局総括責任者のところのレビューなんですけどもこれはですね、20日のところに書いてありますけども、この申請直前まで、
0:58:39	あんまり知らないですけども、ずっと続いてたということになっておりますちょっと表記上ですね、1から4行目サトウです。この理由だけではなくて、まずスケジュール含めたところもしっかり判断の管理しておくべき人ですし、それに向けて我々事務局の方も、
0:58:56	提言する人があるとは思ってますんでそのあたりはちょっと検討して、はい。資料の方に落とし込みます。
0:59:02	はい。コサクです。そういった事実関係をまずちゃん等しておかないと、問題点が適切になっていかないと思いますし、
0:59:12	そもそもどういう体制でしたっけというところが押さえられてないっていうところだと思いますので、ちゃんと誰が何をやるべきだったかというところを、
0:59:24	明確にしてその上で、実際どうだったのかというのを明確にして、そのところで、要求、
0:59:33	事項に合致していないところはどこだったとか、或いは、実際に発生した問題の改善として、どこが効いてきたのかと、それを踏まえて、対策ということなので、ちゃんと筋道を立てて分析評価してください。よろしく。
0:59:54	日本弁理士鈴木です。了解しました。
1:00:00	規制庁カミデすみません最後と言って1点だけちょっと聞きたいところがあったんで、
1:00:05	今のページでその表のちょっと下のところですけど問題点9であって、
1:00:13	資料がすべてそろっていることを確認できる術ツールや、
1:00:19	ということで、要は、これだけあればいいですよっていう、正解イメージのことが当時はなくてっていうこと。
1:00:30	相当な問題だと思うんですけど、今はあるんです。
1:00:36	よね、どうやって作ったんですかっていうのを説明してもらおう。
1:00:40	あり日本原燃星野です。まず形式化の方の計算書ですけども、今回は計算書を作る上でこの計算書の、

1:00:52	1にこの建屋の機器がですね、どういうふうに並ぶかっていうことを先に縦軸を整理して、これ抜け漏れがないかということ、施設課とやりとりした上で計算書を作るようにしています。
1:01:08	縦軸を決めたところに数値を埋めていきますので、前回のようにですね、各施設課でファイル、それぞれの電子データを作って、それを後で合本するという作業の、
1:01:19	場合ですと、そのドンと今回のファイルが抜けてたっていうことで、真子全部そろってたかどうかというところの確認が不足していたんですけども、今回は、そういったことがないように対応をして、
1:01:32	行っております。あとFMの方ですねも同じようにどの種別のものにどの機器が来るということを、事前に整理して整理したリストを作った上で、
1:01:45	各施設課からの集約状況を確認して合本作業をする予定としております。以上です。
1:01:51	規制庁神です。その縦軸はどうやって作ったのか。
1:01:56	その縦軸で、
1:01:59	縦軸自体が抜け漏れないっていうのをどうやって確認したのかっていうところを、
1:02:04	少し説明してもらっていいですか。
1:02:06	はい。日本原燃越野です。
1:02:09	建て時空のところですねまず設備リストなりただ耐震重要度分類なりで耐震計算すべき機器がですね、耐震計算書の方にすべて反映されてるかかどうかということで、
1:02:26	縦軸をまず整理して、その書いた機器の情報がエース抜け漏れなく入っていることを、施設課から情報を提示してもらった後に、
1:02:39	機器耐震で格好して、その合本した内容で抜けがないかどうかということ、施設課の方にもう一度確認してもらっています。以上です。
1:02:49	はい、規制庁カミデです。
1:02:53	設備リストがあって、
1:02:55	そこから計算書に載せるべきものを、
1:03:00	整理したっていうのは、正しい。
1:03:02	やり方なので、

1:03:05	それをですね、介護資料の1ポツでよく言っている登場人物のせいって いうところで、聞いている話なんです。
1:03:15	よなので整理ができたようなので、どうやってやったのかっていうのは 説明、耐震のヒアリングなりで説明をできるようにしておいてくださ い。
1:03:27	現状私は、設備リストを見ても、
1:03:32	これとこれが
1:03:35	計算書類になってさらにそので類型化として、ここの類型に入るんだみ たいなものは、私は負えないんですけど、ホシノ沢折田と言う事なの で、どうやっておったのか、設備リストだけじゃなくていいんですけど
1:03:51	設備リストとこういう、こういう情報とこういう情報をあわせ持って、
1:03:56	その縦軸を整理したんだというところをちゃんと説明して欲しいと思っ てますのでよろしくお願いします。
1:04:04	はい。日本原燃星野です。はい。整理状況についてご説明できるように 準備していきたいと思います。以上です。
1:04:13	はい。清長官です。は、私会長。
1:04:19	規制庁竹田です。コサクです。はい。お願いします。コサクですけど。 竹田さんは、別に質問はない。はい振興だけです。
1:04:28	コサクです。せっかく施設課の方がいらっしゃってって、
1:04:34	今映していただいているのに、説明会なり
1:04:39	様式の掲示等が頻繁に、
1:04:42	なされていたと。
1:04:44	いう状況で、どう思われていたのか、どう対応したのかっていう事実関 係をお話をしていただければな。
1:04:52	思うんですけど。
1:04:55	この表の中で言えば、7日から、
1:04:59	21日までと。
1:05:01	いうことで、
1:05:04	22日に、
1:05:06	提出をしてと。
1:05:09	いうことになってるんですけど。
1:05:14	これで、
1:05:18	事実関係でいうと、

1:05:21	大本のその申請書素案みたいなのは、
1:05:25	随分前から作って、
1:05:29	いうことだけれども、
1:05:31	この後第1回申請の補正の中でいろいろと書類構成を変えることになっていてと。
1:05:39	いうところの対応は、
1:05:41	12月7日から始まったっていうことで間違いない。
1:05:48	どの課の方でも結構ですけど。
1:06:07	これ指名しないと答えられません。
1:06:15	何かがいるんですっけ。
1:06:20	日本原燃津野で世代と前処理課さん。
1:06:23	あと、清仙波さんお願いします。
1:06:36	はい。
1:06:38	はい。前処理課ヤマモトです。
1:06:45	いろいろ類型化3件に伴って、資料のフォーマットとかが、
1:06:51	あったということで、
1:06:55	都度ですね、
1:07:02	かつかつによるんですが、経過したやつとかF Mの式、まあ、あの範囲の広いのでですね、ちょっと説明を受けて、
1:07:10	これその中で、
1:07:14	すぐ説明を受けながらですね、ちょっと直していったと、というような状況でございます。それは、
1:07:21	最終的には12月21日まで、最終的に変更メールが来てますので、
1:07:27	そういった対応を継続的にやっていったというところでございます。
1:07:32	以上です。
1:07:33	はい。補足ですありがとうございます。今のお話でいうと、
1:07:38	いろいろとあるのでというのは、表で言っている7日に提携して、停止。
1:07:45	どうも。
1:07:46	8日にF E Mの13日に配管弁について、
1:07:51	いうことで段階的に提示があってその内容を順次対応していったと、いうことを言われたという理解でいいですか。はい。その通りでございます。

1:08:02	はい。
1:08:03	そうだとする等、配管弁については13日まで指示が来なかった。
1:08:09	ということだと思うんですけど、それで間に合うと思われて、
1:08:19	工程的には厳しかったんですが、
1:08:23	ベストを尽くして、我々としてはやってたというところでございます。
1:08:29	はい、わかりました。で、そのあと15日2問い合わせ回答というのがありますけど、これ
1:08:39	7日4日あって、
1:08:42	連絡が来たものも作業しながら疑問点っていうお問い合わせをしてたということだと思うんですけど。
1:08:50	そこら辺の回答が一式15日に来たっていうことでいいんですか。
1:08:59	はいこれは施設課さんから答えた方がいいですかね私。ですよね。
1:09:06	はい。日本原燃星野です。
1:09:09	問い合わせはですね随時、施設課さんの方から軽いものから重いものまでいろいろ、
1:09:17	質問は受けておまして、この15日に取り扱ったものというのは少し北井新の方で検討しなきゃいけないような内容で、
1:09:29	になります。で、
1:09:31	簡単なものであれば、その都度、メールで問い合わせが来たら
1:09:37	なるべく早く回答してたということになります。
1:09:42	はい。補足です。それで検討しなきゃいけないことっていうので、ある程度時間がかかり、それで整理ができたので、説明会で説明をして、
1:09:54	措置を講じてもらうようにした。
1:09:57	ということだとは思いますが、どんな内容ですか。
1:10:09	はい日本原燃星野です。
1:10:12	すいません
1:10:15	この問い合わせの対応が多岐に渡っていろいろあったのでちょっと今すぐ思い、
1:10:21	出せない状況ですちょっと確認し、
1:10:26	させていただければと思うんですが。
1:10:29	はい、そうですわかりました。対応状況の事実関係としてちゃんと整理をしていただきたっていう中で、対応いただければと思います。というのも、

1:10:40	結局、最初出した7日から1週間経っているわけですね。で、期限まで残り1週間になっている。
1:10:50	ということなので、そこからどういう対応が必要だったのかと、というようなこと。
1:10:58	作業時間のイメージというところに非常に大事な内容だと思っておりますので、よろしくお願いします。
1:11:06	あわせて、すみません。あわせてなんですけど、計算書様式提示というのが、
1:11:13	これ日付でいうと説明会と並行してなっているんですけど、この説明会とこの提示の関係性を説明いただけますか。
1:11:24	星野さんでも構いません。
1:11:26	はい。日本原燃星野です。説明会の時には、計算書をどのように作成していくかということを実施課の方に展開説明をしておったんですが、その説明した時の資料をわかりやすく、
1:11:43	したりとか、あと様式の方に細かく何ですかね、ちょっとした微調整をして、提示するのが数日ちょっと遅れてしまったということになります。以上です。
1:12:01	古作です。今で言うと、本来は説明会に様式も提示をして、こういうふうにやってくださいねという、
1:12:11	はずのところ、間に合わなかったのが、先行して説明会をやり、案みたいなのはあったのかもしれないんですけど最終的に様式これや、
1:12:22	説明会で言った話についてよ最終的にこの様式でやってくれと。
1:12:26	ということで例えば定式については、7日の説明会の後、9日に提示をした。
1:12:33	ということですかね。
1:12:35	はい。日本原燃星野です。今コサクさんがおっしゃっていただいた通りです。以上です。
1:12:41	はい。補足ですわかりました。それで言うとFEMが8日に対して13日というので、
1:12:47	大分時間がかかったなあと。
1:12:49	という感じはしますけど。
1:12:53	どういう状況だったんですかね。

1:13:00	はい日本原燃星野です。FMの方はですね、計算書の修正の内容を説明したときにも話になりましたけども、概要に何をか、海洋図に何を書くか、モデル図に何を書くかと。
1:13:17	その辺の書き方について調整をするのに少し時間を要しておりました。以上です。
1:13:25	はい。コサクですわかりました。確かにヒアリングでも、
1:13:31	まだ薄いねみたいな話を確かにしてたかなという気はしますので、
1:13:36	状況は理解しました。また施設課に戻るんですけど、
1:13:42	そういうようなところを、規制庁と、機具耐震グループの方でやっていて、提示が遅れてたと。
1:13:54	いう。
1:13:55	中なんですけど、
1:13:57	これは
1:13:59	あれですかね元の
1:14:02	申請書準備はしていたところとはいうことなんですけど、
1:14:09	様式定員になってから作業を開始するという事で待ちの状態だったってということで、認識はいいでしょうか。
1:14:22	先ほどあれですけど前処理が言われたんですつけ。
1:14:26	はい。
1:14:27	一緒にですね、生成の方すぎません。
1:14:35	両面のアブカワです。
1:14:36	そうですね新所長様式提示までは待ちの状態でした。はい。以上です。
1:14:47	わかりました。
1:14:48	それで、
1:14:51	先生の方に、
1:14:53	この表のところ、わあ、その上に書いてある説明会っていうところろ う、
1:14:59	なりの
1:15:02	具体を書いてるってことだと思うんですけど、この説明会から左に流れていって申請書修正申請書修正助成で戻って修正版受理ってなってますけど、
1:15:14	これの具体的な作業状況を説明いただけますか。
1:15:19	うん。

1:15:38	補足です。何か、
1:15:40	質問、
1:15:42	どう噛み砕いていいのちょっとよくわかりませんが括弧女性ってな ってますけど、これは実態っていうと、
1:15:50	まず、アブカワさんはあれですかね、体育館にいる方ですね。
1:15:54	いえ、フラワーの教室にいます。
1:15:58	小阪です。だとすると、体育館にいる人ってのは何なんだっていうこと と、そ、
1:16:06	そのそこの関係を説明をまずしていただいていいですか。
1:16:11	分ですね。
1:16:14	はい。i P a d 日本語のアブカワです。
1:16:18	体育館の方には設工認の申請書作成のメインの中身を配置してまして、
1:16:28	嘘なんすかね保安業務等し、施工の申請との兼ね合いで、
1:16:33	なんすか、施工に係る業務にその時は体育館の方に、
1:16:39	移動しながら、
1:16:41	対応している状況です。
1:16:44	以上です。
1:16:47	お母さんは、設工認対応者ではあるけども、
1:16:51	普段は居室に行って、
1:16:55	必要な時に体育館の席に移動しているっていうことですか。
1:17:02	フレア日本のアブカワです。普段は節の保安業務を兼務してますので、
1:17:08	そうですね。
1:17:13	費比率は、
1:17:16	五つの方に触れ合まして、
1:17:19	質問のときに体育館に行って対応しております。
1:17:23	以上です。
1:17:24	はい、そうです。体育館2付けはありますか。
1:17:29	はい、大金光もごぞいます。
1:17:32	はい。
1:17:34	で、
1:17:37	その所、
1:17:39	ちなみに体育館にはどれぐらいの
1:17:41	頻度なり時間いらっしゃるもの。

1:17:46	そうですねその週にもよりますけども、マニュアル化ですそちらになりますけども、
1:17:55	そうですね。
1:17:58	主に3、
1:18:01	ぐらいは、三、四日ぐらいの時間的には、
1:18:04	常に1日に3時間ぐらいの割合で体育館に常駐してます。
1:18:12	以上です。
1:18:14	コサクです。わかりました。
1:18:18	ぐらいの体育館、
1:18:20	いる状況において、他農家で何をやってるかだったり、
1:18:28	北井新グループなり、
1:18:31	許認可業務課だったりと、
1:18:33	いったところとのコミュニケーションってどういうふうにやってます。
1:18:39	そうですね基本的には
1:18:43	1通には常駐してはございますが、
1:18:47	打ち合わせ。
1:18:49	そうですね
1:18:53	作家の方で、女性がメインになりますので、もう、
1:18:58	日立グループ、
1:18:59	関連の打ち合わせだったり、
1:19:03	メーカー主催の打ち合わせだったりで課長が出席が必要なものについてはなるべく出席するようにはしています。以上です。
1:19:15	はい。補足です。今のだと、打ち合わせがあるときに行って話をしてるってことが主体のようなんですけど、
1:19:26	あれですか部下は、城体育館に常駐とかっていうところはあるんですか。
1:19:31	はい。向こうは担当者の体育館に常駐しております。
1:19:37	はい。補足です。そうすると一体育館での
1:19:42	いろいろと議論の進捗って、体育館で議論ちゃんとしてんのかどうか知りませんが、あるんだとするとその常駐の会員から状況を聞いて把握をする。
1:19:54	その把握をするのに、体育館に、中に3人で33日ぐらい2、3時間と、
1:20:02	いうところで把握してるっていう感じですかね。

1:20:06	業務のアブカワです。はい、おっしゃる通りです。
1:20:10	はい。コサクです。まず、
1:20:13	状況がわかりますので、それを踏まえて、今の申請主申請書修正っていうのをどういうふうにしたか、なんですけど。
1:20:21	常駐の会員だったりといったところが、何をやっていたのか。
1:20:30	ということなんですけど、そうするとメーカーの助成っていうところが関係してて、
1:20:36	助成とはいうものの、矢印見て修正版受理って言ってるところからすると、ほとんどメーカーの人に書いてもらっていると。
1:20:45	要求事項を自分の担当の人に伝え、やってもらったやつを受理して、受理するのを一応見てますっていうぐらいの話だと思っていいですかね。
1:20:58	4名の分からです。耐震計算書につきましては成果に耐震チームっていうのがございまして、そのチームがメインで対応してるんですけども、この
1:21:11	前回の12月の申請の時ですね。
1:21:16	このメーカー助成に関しての計算書の結果で、その疑問点だったり各科の問い合わせ
1:21:26	の回答来たしグループから、施設課がもらったときに、
1:21:32	メーカーに取らせないとわからないような事項を、ありましたらメーカーの方に調整をしてもらっての回答してもらいながら、申請書の作成を進めたっていう。
1:21:44	流れになってます以上です。
1:21:47	今現ホシノです。少し補足させていただきますけども、今この資料の中で書いてるメーカーさんの助成というのは、
1:21:57	形式化の計算書をですね作る時に、少しでも早く作成できるように、メーカーさんの方に数値を埋めてもらう作業を助成してもらってました。それを
1:22:12	修正は受理とは書いてますけど実際には数値を埋め込んだものを施設課に戻してもらって施設課の方でチェック作業を入っていったのがこのフローで表現したかった内容になってます。
1:22:29	コサクです。わかりました。そういったところの作業状況とかもわかるようにしていただければと思う。
1:22:38	もし、

1:22:41	と、
1:22:46	阿藤。
1:22:48	あと施設課はあれでしょ、ガラス固化がいい。
1:22:55	はい。4年間ナカムラです。g r a s s 国家が出席してます。
1:23:00	はい。そしたら、ガラス固化の12、22日の状況を聞きたいんですけど。
1:23:08	これ資料修正で
1:23:12	機器耐震グループがチェックレビューコメント反映とかって書いてあるんですけど、
1:23:17	これは実際にどんな
1:23:20	ことを、22日からそこかてはやられてました。
1:23:26	はい、4年目ナカムラです。
1:23:28	先ほど、
1:23:31	メーカーから市女性で出てきたものがあるんですけどもそういった資料もですね結構間違ってる部分がありまして、そういったところをガラスの方で、
1:23:41	修正したものを鴛田医師の方にレビューいただくといった内容をしていて、瀧田医師の方からまたコメントいただいてそこを直すと。
1:23:51	いった作業を、ちょっと繰り返しているといった状況でございました。
1:23:57	補足ですわかりましたそうするとやっぱりあれですね様式提示も最終は21日だったりするので、
1:24:05	22日は最終段階でというよりは、ここでもうすったものいろいろやってたってということなんです。
1:24:14	日本原燃仲村です。はい。実際はそのような状況でござあ、すみませんからそこはそのような状況でございましたはい。
1:24:23	はい、迫です。わかりましたありがとうございます。
1:24:26	竹田さん私から以上。
1:24:30	成長のタケダです。その他規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:24:35	はい。規制庁浜崎です。ちょっと観点が違うんですが事実確認したいんですけども返照の方にですね、今日の話って基本的には昨年第2回の
1:24:45	再処理の申請の時に、以前の耐震計算書の不備の点のその後の対策対応という形で説明があるんですけども、

1:25:00	で、昨日提出された資料のところにもある程度の要因分析という形でこれもかなりまだ浅いといいますか、さらなるブラッシュアップが必要だと思ってるんですが一応要員が
1:25:13	歴列記されてるんですけども、
1:25:16	こういった経験を踏まえた要因、或いは対策っていう形での知見ですね。
1:25:24	こういったものっていうのは今週提出されてますボックスの、
1:25:29	第2回申請への計算書、
1:25:31	のケースにおいては、
1:25:33	当然これ水平展開されたわけのものっていうふうに我々理解しておけばよろしいんですね。
1:25:54	規制庁浜崎ですが。
1:25:57	音声が少々お待ちください。
1:26:12	はい、二本木西原でございます。はい。
1:26:17	先ほどの時系列も含めて状況をご説明しますと、最初から問題点であるとか原因分析がですね非常に出てくるのが遅くてですね。
1:26:30	我々キャッチアップした申請ぎりぎりです。その状況で我々としては、ルールに従って、一定程度の時間もありましたので一つ一つやるべきことをやってチェックをして、
1:26:45	申請書の形に仕上げる、あと様式も含めて整理をして承認行為までをやってチェックリストを作ったという形でやりましたので、
1:26:55	そういう流れの中で、そのやり方に問題がないか、問題点があって、最初の動きとかそういうものが起こってないのかということも、
1:27:06	見た上で、どちらかというところ、その通りやってないということの方が大部分であるということを見ながらですね、まず我々としては、自分たちのやるべきことをしっかりやるんだということで、ルールに従ったチェックをしたというのが、第2回の
1:27:23	先月末に出した申請書の状態でございます。以上です。
1:27:28	はい。規制庁箱崎です。今のB社さんのお話で、何となく位置付けはわかりましたけれどもこれ最終的にはっていいですかゆくゆくは当然、同じ土俵の上で品質管理を、
1:27:41	こう行っていくって言えば、それは、
1:27:44	自明ですね。

1:27:46	はい、井上西田でございます。おっしゃっていただいた通りです社内標準であったり、チェックしていただきたいという当然共通的なものを使っていますし、
1:27:56	今回の原因分析なり対策で、どんな必要性が出てくるものがあれば全社として取り組んでいくというのは当然必要なことだと思いますので、反映すべきものは監視、反映していくということだと理解をしております。以上です。
1:28:12	はい、箱崎です。今週提出された資料についての位置付けだとかですね、それも含めて、ある程度、
1:28:20	理解しましたので、
1:28:21	藤理事、私の方は以上にします。
1:28:27	須川規制庁側から方にございますでしょうか。
1:28:32	そうですね。やりとりの中で、問題点をちゃんと書いてくださいねっていうことがあったのでそれに含まれるのかなと思っていますけれども。
1:28:41	昨日の資料の2ページ目の右下の方に、
1:28:45	許認可チェックというのがあって、
1:28:48	そのままちょっと上の方に事務局で出るってのがあるんですけども、
1:28:54	ここで、先ほどの鎗田中出確か、鈴木さんでしたっけ。
1:29:00	江藤県下業務課としては事務的な取りまとめを担当されてるというご説明があったのであんまり中身、申請書の中身とかについてあまり踏み込む立場じゃなかったのかもしれないんですが、
1:29:12	一応この事務局で d u
1:29:16	チェックという、
1:29:17	こういうやつ。
1:29:18	いる中で、今回の申請書の方で、
1:29:22	ついでの問題点でなかったのかなあと。
1:29:26	思いました。3ページ目のその問題点のところ、一番から12番まで、
1:29:32	見ますとですね竣工がまず耐震グループであったり、各施設課であったり各担当者はであったりして、
1:29:41	特段そのクリンカー
1:29:42	業務課としての問題点はなかったような整理になっているんですけど、そのあたりの、
1:29:47	次。

1:29:48	そんな感じなのか教えていただけますか。
1:29:54	日本原燃鈴木です。確認した段階では問題がなかったというふうになってますので、ちょっとそれはですねもう1回ちょっと改めて整理して、大体へんをちょっと整理したいと思います。
1:30:06	以上です。
1:30:08	つまり整理できたら、
1:30:10	了解しました。
1:30:12	このあたりまだまだ整理が不十分だなということを今のご回答でよくわかったのと、あと
1:30:17	でもないのかもしれない。
1:30:18	もう、
1:30:19	3ページ目の問題点、11番のところですねこれも記載がよくわからんということになりますけれども、
1:30:26	連絡を不十分であったということが書いてあるので、
1:30:31	ちゃんとチェックはしてたんだけど、連絡を漏れてたということかなという。
1:30:35	いうふうに受けとめ、
1:30:36	ところ右側の対策を見ますと、
1:30:39	確認するようガイドに反映するっていうことで確認ちゃんとしろよっていうような対策になっていて、何かよくわからないところもありますので、
1:30:46	このあたり、
1:30:48	もうあんまり掘り下げませんが要はちゃんと問題点を抽出して、それに沿った要因
1:30:55	繋がってんのかっていうと、
1:30:57	今日のご説明よくわからんなというのが正直だと。
1:31:00	で、この辺りはこの辺りも含めて全体に直されるというような理解。
1:31:08	日本原燃鈴木です。今、してきていただいたところですねちょっと分析もう少しわかるようにですね、進めて、施策がわかるように繋がるようにですね、記載したいと思います。
1:31:20	以上です。すいません。お願いします。
1:31:22	記載の問題なのか、整理ができてないのかというそこら辺がちょっともやもやして非常にわかりにくいんです。

1:31:27	どちらかというともまだ整理ができてないというふうには受けとめとってもよろしいんですか。
1:31:36	はい。日本原燃鈴木です。
1:31:38	整理して対策の方も直していきたいと思います。以上です。
1:31:46	社長。はい。どうぞ。お願いします。はい。
1:31:49	古作です。すいません。
1:31:51	対策で言うのですね、現時点でどうこうしろと言うつもりはなくて、最初に言ったように原燃でまず、
1:32:00	やった上でコメントをする段階に来るというふうには思っているのですが、
1:32:09	原燃のこの要因分析なんかを見るのは、
1:32:15	かれこれ15年前ぐらいからおつき合ってますけど、他の事業者も含めてではあるんですが、何となくやれることを書いてるっていう。
1:32:24	一番ここ効果のあることをやるというよりはやれることを書いてるっていう感じがいつもしていてですね。
1:32:32	ガイドに反映するとかっていうので、簡単なんですよ。
1:32:36	周知するとか、
1:32:38	なんですけど。
1:32:40	周知するのは、
1:32:43	やっても、結局できなかったという実態があって、
1:32:48	であれば、違う対策を講じないと、結局実行できませんよと。
1:32:55	ということなんですけど、そういったことって考えるように、原燃ではまだなっていないんですかね。
1:33:12	日本原燃鈴木です。
1:33:14	我々もこれ対策の方考えていまして、おっしゃる通りですね、ちょっとまずやれることをちょっと記載してるところもあるんですけども、次の実効性のあるですね対策の方も、
1:33:27	ちょっと並行では県考えているところがあるんですけども、
1:33:30	実際やれるかどうかっていうところで見ちゃってるところもあるので、それをですねちょっと考えていきたいと思います。
1:33:37	はい。
1:33:38	尾崎です。よろしくお願いします。で、っていうのも、そういう。
1:33:42	いうのを議論を、第1回設工認、2年間やってたということだと思って

1:33:49	プロん
1:33:52	が大事だよというのは、結構言ってましたけど、
1:33:55	でも大事で、
1:33:57	一番大事なの、最終的に一番大事なチェックなんですよ。
1:34:01	チェックが全然できてないっていう対応、問題点に対してチェックをやら ないっていう。
1:34:08	対策になってるので、やらないというか、
1:34:12	あまり対策の中に入ってないと。
1:34:15	ことなので余りにもバランスを欠いているなというふうに思い、
1:34:19	ます。
1:34:22	第1回の時にチェックが大事だというのがポイントは、計画をちゃんと 認識をしてチェックをするのかと。
1:34:31	要求事項をちゃんと認識してるのかと。
1:34:34	ということで話をしている、
1:34:37	形式的なチェックばかりで、内容がわかってないから結局チェックの 意味ないよね。
1:34:44	やったやった言ってるけど、実態は何もやってないってことじゃないか ってものを延々と話をしたと。
1:34:50	ということで、それを踏まえて申請してくださいねと言ったけどやっぱり やってないと。
1:34:56	第1回以上に、
1:34:58	s e c。
1:35:00	やったということに伴ってないと。
1:35:04	時間なくて、素通りさせちゃいましたっていうことなので、
1:35:08	第1回よりもひどいという状況。
1:35:11	なのは、第1回を反省して申請したことなのかと、非常に思う。実態が 明確にされていると。
1:35:20	いうことは原燃も認識をされてると思いますので、
1:35:23	その点を踏まえてしっかりと対策を説明いただきたいというふうに思っ てます。以上です。
1:35:30	日本原燃佐藤です。はい重く受けとめますはい承知いたしました。
1:35:39	その他は規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:35:45	なければ原燃の方から振り返りをお願いします。

1:35:50	はい。日本原燃鈴木でございます。
1:35:54	飛び飛びになりますけどもまずは全体がわからないということで、指摘をいただけてますが、こちらですね今耐震計算書だけつけてますけども、それ以外のところにしてわかるように、
1:36:04	資料の方を修正したいと思います。
1:36:07	古田藤。
1:36:09	問題点とかを指してますけども、ここがあるべき姿部分が記載されていないので、こちらの方を、あるべき姿を記載して、問題がどこだったのかっていうのを記載を充実したいと思います。
1:36:22	それと、当間全体的な分析がまだ終了してないっていうところもあるので、藪分析をですねしっかり信ずる。
1:36:31	して衛藤。
1:36:33	整理していくということをやっていききたいと思います。
1:36:36	事象の方ですけども、もうこちらの方はまだ2件しかつけてないので、
1:36:42	事象分類をして、その分類したものについて問題点と原因、対策の方を整理して、
1:36:50	鋭意回答提示していききたいと思います。
1:36:53	それを、
1:36:56	後は、
1:37:02	組織、第3、組織的なところで誰が何をやるべきだったのかっていうところですね、この辺をめぐりますと事実関係をわかるようにして、そちらの問題点がないかっていうのを括弧の記載をわかるようにしていききたいと思います。
1:37:19	はい。
1:37:20	そう。
1:37:23	それしかない。
1:37:28	は、以上、以上です。
1:37:31	規制庁の竹田です。
1:37:33	はい。すいませんコサクですけど、まず、
1:37:37	大枠で今回C R日本でっていうような話をしましたけど、
1:37:41	今後説明するにあたってはC R分けてるというようなことはあまり。
1:37:46	言ってもらえる必要もないかなと思うんですけど、原燃としてはどう受けとめてますか。

1:37:54	はい。わかりました一緒、一緒にして、こちらの方作っていきたいと思います。
1:38:00	はい、そうです。その上で、先ほど事実関係を整理をしてという
1:38:04	形で、特異なものがあれば、どういうところのものだという
1:38:13	それで、あと、振り返りで足りないなと思ったのは、分析の結果、
1:38:22	等、
1:38:24	要因、問題点から要因対策と繋がる場所の、しっかりと検討するというのは少し言われてたような気がしますけど、
1:38:34	その中でやれることってということではなく、ちゃんと実効性のある、
1:38:40	ところで、
1:38:44	ちゃんと実行で実効性なんですかね、改善になってると。
1:38:49	いうところを抑えるだけの対策をしっかりと検討して、提示いただきたいと。
1:38:56	ということで、その際には、第1回でのいろいろと議論したことの反省を踏まえてということでもよろしくお願いします
1:39:07	日本原燃鈴木です。了解しました。
1:39:17	その他振り返りについてコメントございますでしょうか。
1:39:23	よろしいでしょうか。
1:39:25	それでは計算書についての議題は以上とさせていただきます。
1:39:31	それでは次、共通12に移りたいと思いますが、ヒアリングを開始して、岡谷時間ぐらいサトウとしているので、
1:39:40	出席者の会もあるかと思しますので一度
1:39:44	区切ろうかと思うんですが、下の方はよろしいでしょうか。
1:39:48	はい。事務局の家前面事務局仲間です。はい。小休止。よろしくお願いいたします。
1:39:56	はい。規制庁の竹田です。それではただいま15時11分ですので、20分再開でよろしいでしょうか。
1:40:04	はい。日本原燃事務局仲山です。15時20分再開ということで、了解いたしました。よろしくお願いいたします。
1:40:13	じゃよろしくお願いします。本提示します。
0:00:01	録画しますか。
0:00:03	県側から説明の方をお願いします。

0:00:17	はい。院長の谷井です。全然聞こえませんでした説明資料とご説明をお願いします。
0:00:25	はい。
0:00:26	今までちょっと聞こえてませんで申し訳ございません今機構でございますのでこれから説明開始させていただきます。
0:00:34	はい。日本原燃清水です。それでは都市共通 12 番の資料の方、ご説明させていただきます。
0:00:41	資料としては昨日 3 月 2 日提出したレビジョン 3 という資料でございます。
0:00:46	今回の説明につきましては、前回 2 月 21 日のヒアリングの踏まえまして、この資料の位置付けっていうのをちょっと全体的に、
0:00:58	見直しておりますので、そこの資料今回の資料の子バルブを全体的にちょっとご説明させていただくというのと、その骨格を説明する上で、飛来物防護版っていうのをちょっと例にとりながらちょっと資料をどうまとめていくんだというところをご説明。
0:01:14	いただきたいと思います。
0:01:18	まずは、資料をめくっていただきまして 3 ページ目になりますけども、
0:01:23	この共通 12 の資料の役割として、
0:01:28	会合でもご説明させていただいてる、申請対象設備の全員を明らかにするというところの役割がありますので、こちらの方、1 ポツの概要の方に追加するのと、
0:01:38	2 ポツ以降の中で、その類型分類っていうのをどうやって整理していくんだというこれまでご説明した内容のところを 4 ページ以降、2 ポツということで資料をまとめております。
0:01:50	その結果をどう添付するんだというのがですね、
0:01:54	今後ちょっと資料としての物量が多くなりますので、
0:01:59	資料の本文としては考え方をお示しし、
0:02:02	具体の方ですけども、
0:02:04	戸部豪士ページ 14 ページの方になりますけども、
0:02:08	別紙という形でお示ししたいというふうに考えております。
0:02:14	この別紙の中で、別紙 1 ということで、類型分類構造部品の整備結果ということで、この別紙 1 の中で、まずは類型分類タリストを条文ごと、

0:02:28	つけていきたいというふうに考えております。つける条文といたしましては、地域性基準の中で、要求事項が追加なり明確化された条文であったり、
0:02:38	設計条件の変更があった条文というものに対して、別紙1ということで
0:02:48	条文ごとに、リストの方、類型分類の結果の方、
0:02:51	お示ししていきたいと。
0:02:52	いうふうに、
0:02:55	考えております。S、Aと。
0:02:58	ただ昨日の赤井でもお話あって、
0:03:08	の部分ちょっと私の認識が違いがあって、昨日教え、提出させていただき、資料については、現状別紙1-2ということで、
0:03:11	牧だけをつけている状態です。
0:03:16	もうちょっと他の条文をちょっと準備してお示ししたいというふうに考
0:03:18	えて、
0:03:21	おります。
0:03:25	はい。ちょっと資料の方にちょっと戻って、
0:03:30	いただきまして、
0:03:33	すいませんちょっと、
0:03:39	ページの方ですけども、具体のリストをどうするんだというところで、
0:03:42	投資B、
0:03:52	16ページ以降に、具体のその分類した整理結果のリストの方、お示し
0:04:01	してございます。
0:04:06	資料の構成としては、
0:04:09	まず、次のページの17ページ目になりますけども、各条文ごとに分類
0:04:12	した、全体の、次のページお願いします。
0:04:17	整理した分、設計項目ごとの分類と、その集約した数をお示しする
	というのと、
	その具体のリストということで18ページ以降ですね。
	こちらの中で、
	BPOに整理したもの。
	全体のリストの方をお示ししていきたいというふうに考えております。
	ちょっと先取りした話になりますけども、この中で類型分類をするとい
	うことと、

0:04:23	広報の説明をどうやって分類して説明するんだっていう、
0:04:27	ちょっとこのリストの中で、整理していきたいと思っております、18ページ目、ちょっと拡大していただいて青のハッチングをかけてるところで水色ですね、すみません、水色のハッチングかけているところで、
0:04:39	真ん中左側にほどにありますけども、
0:04:43	構造外の類型ということで、
0:04:46	中で、まずは、
0:04:49	今回お示ししている竜巻対策設備の場合ですと、結局、飛来物防護ネットと、飛来物防護バーに大きく分けるということと、飛来物防犯については、後程分類の考え方を示しますけども、ご説明しますけども、
0:05:04	5番の
0:05:08	鋼材と支持架構タイプのもの、
0:05:11	鉄筋コンクリート造のものがあるということで、ここで構造の説明する分類の、
0:05:17	網羅性というのあわせて、この率の中でお示ししたいと、いうふうに考えております。
0:05:26	すみません。それでは説明ちょっと続けさせていただきまして、ちょっと本文の方戻っていきまして、
0:05:33	1ページの方なんですけども、
0:05:37	10ページ目の方をご覧ください。
0:05:45	はい。衛藤。
0:05:47	今回の2ポツの類型分類の整備の中では、AからBはB4に分類するのに加えまして、
0:05:55	金委員からの変更ということで、変更点ということで、工事の有無の整理だったりっていうのをちょっとやってくんですけども、現状今2.2の中では、工事の有無ということ、
0:06:07	2をちょっと書かせていただいています。
0:06:09	ただ、既認可の変更点につきましては、それ以外にもですね、評価方法であったり、モデルの変更だったりっていうことを、
0:06:17	銀行の変更点もございまして、すみませんこちら今、まだ資料に盛り込んでませんけども、もうそういう点を整理するということ、しっかりこの資料の中で整理していきたいというふうに考えております。
0:06:29	はい。続きまして11ページの方になります。

0:06:33	まず、2 ポツの中で全体像を整理した上で、
0:06:38	A と分類の結果、A、B1B3 に整理されたものが、今回新規性基準の設工認申請の中で、技術基準への適合性を説明する必要がある設備ですので、
0:06:50	こちらに対して市指定工場の設計野瀬構造設計の説明を、
0:06:55	展開していくということで、3 ポツのほう素の整備の考え方を書いてございます。
0:07:01	これまでもちょっとご説明させていただいてる通り、まずは構造整備にあたっては、ちょっと適合性説明が主となる条文をしっかりと、明らかにした上で、
0:07:12	もう十分、
0:07:13	の中で、
0:07:14	構造設計関連条文を含めてしっかりと適合できているということをご説明していく。
0:07:21	ということに加えて、その下、2.2 の整理の結果と書いてますけども、金からの変更点。
0:07:28	いう観点にも着目して、
0:07:30	構造設計の方をちょっとご説明するというので、資料の方を展開しております。
0:07:37	ちょっと具体的に資料をどうまとめているんだっていうのをちょっと具体的に、
0:07:41	来月防護版の方で、
0:07:43	整理の紙、方向性の方をちょっと簡単にご説明させていただきたいと思えます。
0:07:49	ページの方、ちょっと飛びますけども、
0:07:54	301 ページですね。
0:07:58	はい。こちらからが、まずは構造材の外部衝撃として、説明するものを、審議の1 という形でまとめて定義したいと思ってます。
0:08:08	次のページ 302 ページ。
0:08:10	方が、今ちょっと連携の方はいろいろ整理した考えてるところですけども、
0:08:14	目次ということで、この別紙 2-1 で説明する対象を大きい分類の方をお示ししております。

0:08:21	次のページ 303 ページお願いします。
0:08:27	303 ページ以降で、具体の各分類ごとに行動する説明を整理した結果っていうのをお示ししていきたいと思っておりますけども、
0:08:36	今回 1. に飛来物 5 番というところで、
0:08:40	飛来物防護ワンというのはどういうのを目的で設置するものであって、
0:08:45	今回の我々が採用してる飛来物工場には 2 種類の構造のものがあって、
0:08:52	機能としては同じであるけども、
0:08:54	構造の違いと、設計更新が構造によって一部異なることがありますので、
0:08:59	いろいろ説明させていただいた、飛来物防護盤の
0:09:03	構造材と支持架構で構成されるものと、鉄筋コンクリート造に二つの分類に分けて、構造整理したいということで、
0:09:12	分類させていただいております。
0:09:14	具体の説明の方ですけども、
0:09:17	整理の仕方ですけども、304 ページ以降に整理したものを記載してございます。
0:09:25	具体的にはちょっと 305 ページの竜巻のところ、
0:09:32	整理の考え方の方をご説明させていただきたいと思います。
0:09:36	まずは左側ですね。
0:09:39	では条文要求が何なのかというのを明らかにする。
0:09:42	それを受けて、受ける基本設計方針を、を展開した上で、
0:09:48	基本設計方針をさらに構造設計の観点で展開している添付書類の記載内容をお示しすると。
0:09:55	いうのと、
0:09:56	水、
0:09:58	施設である設備、
0:10:01	周りにいろいろ新規の設備であったり改造なりしていきますので、
0:10:04	設計上の配慮事項ですね、周辺環境等の状況もございますので、それを整理した上で、構造設計した右側の、
0:10:13	設計、説明につなげていきたいと、いうふうに考えております。
0:10:18	行動設計の説明ではですね、ナンバー 2 の右側の方をちょっと見ていただきたいんですけども、
0:10:25	共通的な構造物については、

0:10:29	このように情報速報、阿蘇の方に棒版で、
0:10:34	Sを設置しますというような共通的なものは、このように結合した形で、
0:10:39	構造設計の内容をお示しするというのと、
0:10:43	ただ、その各設備が、
0:10:46	この設計上の配慮事項の観点でいろいろ差分が出てきますので、差分はそれぞれ、僕のところでしか言うと、
0:10:56	どういう構造にしているのかということをお示しして、そのあとの構造概要図の展開につなげていくということで整理してございます。
0:11:05	あとは、
0:11:07	前回の、
0:11:08	ヒアリングの中でもご指摘があった、
0:11:11	3、
0:11:12	109 ページの方ご覧ください。
0:11:16	この表と、そのあとの概要図のリンクがしっかり我々お示ししてできてなかったんで、
0:11:23	放送図を、概要図の吹き出しの一番最後にですね、括弧書きで、
0:11:30	この基本設計方針の表ぶっリンクするのかっていう関係性をまず示すようにしっかり姿勢を変え見直しております。
0:11:40	というのと、
0:11:41	すみません、ページの方戻っていただきますけども 305 ページの方からご確認ください。
0:11:48	設計方針の中でも、条文間で、関係があるものがございます。例えば、305 ページですと、ナンバー2 のところで、
0:12:01	すいません、こちらのですね、は飛来物防護版 04 番と書いたところの差分の列のところ、
0:12:10	隙間の設計の話が書いてございます。これらについては、地震との設計方針との関連もあるということで、隅括弧で、その各条文間の設計方針のリンクというのも、
0:12:23	あわせてお示しするように資料の方をしっかりと示していきたいというふうに、
0:12:29	考えております。
0:12:32	このような形で、資料の方は、

0:12:36	構造設計の説明の方は、
0:12:38	しっかり資料を作り込んでいきたいと、いうふうに考えておりますけども、ちょっと今お出ししたものでですね、この表の横の展開のところ、
0:12:47	以前までちょっと一部十分ではないところであったり、
0:12:51	後に作ってます概要図を説明。
0:12:55	ほとんどついてる図のところの情報がですねちょっと、
0:12:58	矛盾するところがあるというところありますので、
0:13:01	後お話しする資料のところではしっかりそこはしっかり整理したものを お出ししたいと。
0:13:06	いうふうに考えております。
0:13:10	あと説明の方ですけども、
0:13:14	朝、朝日和の中で、
0:13:16	ご質問がありました。
0:13:19	その場でまとめるものはどう、どのようなものがあるんだということ で、
0:13:23	345 ページに、
0:13:26	ちょっと整理中のものでもありますけども、
0:13:28	こういったものを、構造概要の整理の中で整理しようとしてるのかって いうのは目次ようなんですけどもお示ししております。
0:13:37	市場分、
0:13:38	基本的には種 A としよう上部にも、
0:13:41	構造概要の方をお示しするんですけども、
0:13:44	この整理に当てはまらないものということで、1 ポツ新設設備と新設設 備以外で、このような設備ですね、1 県 1 っていうのは、他、今配管名 で書いてますけども、
0:13:58	から再処理側の介護法律関係接続する新規の配管。
0:14:03	であったり、2 ポツの申請施設設備以外で書いてあるものとしては、重 要度の低い設備のも、事業化の共用する設備であったり、
0:14:14	ていうものをですね、今その他の中で、構造概要の方をちょっと整理し たいというふうに考えております。
0:14:22	ちょっと今、全体、設備リストのものを母数でですね、

0:14:28	その条文で整理するのかっていうのをちょっと検討してるところではございますが、すごい今のページでいきますと、四角枠で書いてあるものですね、ちょっとまだちょっと整理してるものもちょっとございまして、
0:14:39	本件、防護対象設備であるんですけども、あの中に収納されるような、耐震BCクラスの機器で自分たちとして何かしらを設計し、する
0:14:50	ものではないものたちですね。
0:14:52	これらを今、ちょっとどう整理しようかというのを考えてまして、
0:14:56	やはりちょっと全体の流れもちょっと考える必要があると思ってまして。
0:15:00	新規の要求にはかかるんですけども、構造説明という追加でいらぬようなものをやる場合もございますので、そういったものを全体の整理の中で、
0:15:13	整理するのか、その
0:15:17	その考え方もちょっと成立をする必要があるというふうに考えております。
0:15:26	はい、すいません簡単な高角の部分でありますけど今のちょっと整理状況、考え方の方、ちょっと。
0:15:32	説明させていただき、
0:15:37	ですと、それではただいまの説明に関して、規制庁、すいません。
0:15:44	高齢者です。ちょっとだけ補足をさせていただきます。この資料、シミズが、赤間からあっち行ったり来土肥自体説明してましたけど、
0:15:54	まず構造としてそもそも、まだ完全にやりきってないところがあると思ってまして、ポツと3ポツは、完全分業制になっていて繋がりが全くないところ、1ポツで、
0:16:07	全体像を挙げた上で、じゃあそれに対してどういう説明を展開していくのか、共通で展開していくのかというところの3ポツの津波がですね全くなくてですね。
0:16:19	約最後に1年サトウといった
0:16:23	竜巻会社みたいでいくと、17ページに書いてある数字でいうとでいくと、本来15、4、2081っていう数字が出てくるんですけど、
0:16:34	今説明しているのはどこで、まずは残り多分2081とか一切触れてるんですけど、この人はこの資料ではどうしたいのか。

0:16:42	それに対してどう設定、今後、個別の説明も含めて展開していくつもりなのか、Bについても同じなんですけどそういうところも、
0:16:51	整理がまだできてない、入口のところの整理ができてないのでそれをしっかりやらせようと思ってますというところです。あと南一定、工事以外の方でやりますっていったところを本当はもう全部エントリーした上でまだ、
0:17:04	調べてますっていう言い方をしたかったんですけど、僕は全部上げた上でじゃあ、それに対して、この資料出てることを扱って、個別の補足にとることはつけるのかと。
0:17:15	いうところの線引きの整理も、3ポツの頭のところで全部仕切ることが必要だと思ってます。その中で1003ポツのタイトルが、設備の構造設計でいいのかってところも含めて整理が必要かなというのが現状認識です。
0:17:29	加えて
0:17:31	届け出ている竜巻の防護弾で額等をもっていう建物の上についてるもの。
0:17:37	もう、竜巻防護対策設備から見れば、今の目線なんですけど、じゃあ次の建物から見たらどういうふうに線なのかっていうところの整理も一方が必要で、そういうところを耐震で預けるんだってところの入口に、多分ここで整理をしておかないといけないと。
0:17:52	そのために必要な情報なんですかっていうところも、
0:17:55	ちゃんと整理をした上で、それぞれのひもづけであったり役割分担を示していく必要があるかなと思ってました。以上です。
0:18:05	社長シミズそれではこれまでの説明、
0:18:09	踏まえてと規制庁側から確認等ございますでしょうか。
0:18:13	はい。規制庁の田尻です。
0:18:16	説明聞いて少しだけが終わったつもりではあるんですけどちょっと頭から確認していきたいんですけど、あと一步IIと2ポツのところがあって、ここっていうのはこの間まで開放で整理してたような絵からB T B 4の話っていうのを改めて書いて、うちは普通12の位置付けなんだって言ったらそれ整理したものを、
0:18:36	それぞれ構造示しながらどういうふうに示していくかっていうところにつなげなきゃいけないっていう意味でちょっと頭に付随したんだと思うんですけど。

0:18:43	だから、所々、何が答えてるのかよくわからないところがあるけど一応意図としては、この間までの道からBM繋がりのためにその位置付けっていうのはここに紙にいったっていうことでいいですかね。
0:18:56	はい。日本へのシミズです。やはり、そういうことでございます。
0:19:01	規制庁たりです。江藤さっき意味がよくわからなくなるというのは4ページとかのところとかの位置付け自体はここで構わないんですけど具体的な対応とかのところろが、
0:19:14	いきなり開いた時の話は変えたりするところとかあるんですけど、ここらは多分先ほど石原さんが言われたように、三区かな、11ページ以降で結局こういう設備のところにつなげなきゃいけないんですけどこないだまで説明してとりあえずそのままあって、ちょっと言葉で言ったらこの示し方っていうところで生まれてないっていうのも位置付けかなと思うんですけど。
0:19:33	これ一本2ポツっていうのは、
0:19:35	何かさっきの話だとまだ直ったものが出てくんですよ。そしたら文言細かく言っても仕方ないかなと思ってんですけど。
0:19:44	はい今、佐治さんがおっしゃっていただいたところと、石原からも言われた通り繋ぎの部分というのが、
0:19:52	整理ができてないのでそこは見直したいと思っております。
0:19:57	生協田尻です。なんで1ポツ2ポツはこの間までの所から、津波とあと先ほど石原さんが触れた中、
0:20:09	例えば10は17ページですか17ページとかのところで防護対策とか防護対象とかそれぞれの多分設備ごとに考え方が違っててそういったものについてそれぞれ何を示していくのかっていう基本的な考え方みたいな。松波。これは2の方にかかるのか3の方にかかるのかちょっとよくわかってないんですけど。
0:20:25	そういう繋ぎとかを入れることによって、分類とのつながりができますよという説明をまずしようとしてるっていう位置付けは何となくわかりました。で、文言は製造されるということなんで、とりあえずそういう位置付けのものだということで理解したんですけど他の方この位置付けまで何かありますか。

0:20:42	コサクですすみません、文言というレベルでは、私はないと思ってて、内容的にもよくわかんないところが幾つかあるんじゃないかなと思うんですけど。
0:20:53	今ここでここをやっていくよりは、各条文での対応で見ていった中で反映をしていただくと。
0:21:01	ということで進めるべきかなと思って、
0:21:04	てます。
0:21:08	前もお話しましたが、
0:21:10	例示で一通り書かれてきていて、
0:21:14	考え方に本当にはなっていないという気はするんですけど、
0:21:20	例示を共有する形でプラットフォームを作っておけば、各条文の人は見て他の人はこういうふうやってるんだと。
0:21:30	自分たちのところは合ってるのかどうかというのを考えるネタにはなると思う。
0:21:35	ますので、
0:21:40	記載方針としてはこれでもいいですから内容としては今後、順次、一つ一つ見ていきましょうという進め方でよろしいですかね。
0:21:52	はい、日本円でシミズです。はいその進め方でお願いしたいと思います。
0:21:57	はい。補足です。で、2ポツはそういう話なんですけど、
0:22:03	2ポツと3ポツっていうところろが、どちらでも3ポツですね、3ポツの内容っていうのが
0:22:13	グレーだったところで、これも実際ここやっていった中で理解度を高めていければいいところかなと思って、
0:22:24	出ますので、その点では、最低限、
0:22:30	としてですね、
0:22:32	場所がちょっと議論したやつ。
0:22:35	いくという、共通補足の共通シリーズとして、作られたということだと思いますので、その点では理解ができるかなと。
0:22:47	いうふうに思ってます。内容については順次拡充していくということで認識をしました。
0:22:55	で、
0:22:57	この3ポツ、

0:22:59	の、
0:23:07	そうだな。
0:23:08	11 ページ。
0:23:15	具体的な整理のイメージを以下示すといって①と、
0:23:21	なってて、さらっと見た限りはある程度、
0:23:27	私のお話したことは理解していただいているのかなあとは、
0:23:32	思うんですけど、これが具体的に繋がってるかどうかというのがわからないので今後というお話をしています。で、ちょっと今、口や軍団の①と言いながら①しかないんですけど、これって何か、
0:23:45	追記をするつもりがあるとか、何か状況ありますか。
0:23:49	日本原燃清水です今おっしゃっていただいた通り、まだ私も会社の一部の設備でしか、まだ整理できてないので、いろいろな点での拡充があるということで①とちょっと今書いておりました。
0:24:06	はい、蘇武です。わかりました。その点では、整理を進めていきましょうということで認識共有ができ、
0:24:14	いう
0:24:15	事で理解をしておきます。で、12 ページの、
0:24:20	ごめんなさい。
0:24:21	佐治さんも、私先走ってる。社長です。いや、野辺同じところを言おうと思ったんで、大丈夫です。お願いします。
0:24:28	はい。補足です。で、12 ページの表が、
0:24:34	あってこの表でどう変えていくつもりなのかそれがそれまでの文章の中のやつを具現化する形になってるのかというのが今後展開する中で大事なかなと思うんですけど。
0:24:47	まずう条文要求があり、その基本設計方針を述べ、その具体を書いている添付書類、
0:24:58	のところを、ここは、構造設計に係るということで抽出するというところで、前回それが随分と限定的だったっていうところで話がありましたけど、
0:25:10	そのあたりをどう工夫したのか、工夫するつもりなのかっていうこと、その次の配慮事項というところで、さらに工夫するところが、
0:25:20	文章の中で少し表れてるかなと思いますけど、少し説明いただけますか。

0:25:30	はい。日本原燃清水です。
0:25:35	設計方針添付書類というところ。
0:25:39	頭書きたかったのは、
0:25:45	本文の挙績方針を受けて、設備の設計をどうするんだというコンセプトの方は、共同計算の方針であったり、耐震の構造計画のところに書いてありますので、
0:25:57	そういうところをまずしっかり持ってくると。
0:26:00	いうことをするというのが市。
0:26:02	一つ。
0:26:04	いや、いや、抜けるっていうのを考えて基本設計方針をまず全部書くてとところで、抜け漏れないようにするって、その次は、構造に関してっていうところで整理をしていくという考え方で作りましてことなんでしょ。
0:26:17	はい。すいません。その通りです。基本設計方針を、つまり聞いてたところ、評価要求とか、地下を抜いてたところも含めてしっかり書くんだと。
0:26:27	旧本部をしっかり書くとそこに該当する構造設計の設計方針をしっかり抜けば漏れなく展開できるというふうに考えて整理したいと思っておりました。
0:26:38	コサクです。
0:26:40	その添付書類からの抜き方が不足してないかっていうところを、
0:26:48	議論が必要だと思うんですけど、最低限本文を書いておけば、原燃の作業として、不足があれば議論するだけの資料にはなると。
0:26:58	ということで、とりあえず作業を進めさせてくれっていうことですかね。
0:27:04	はい。
0:27:05	二瓶シミズです。はいその通りでございます。
0:27:08	はい。補足です。そうするとその次の
0:27:12	列も含めて、どの程度書いてくということなのかは、今後具体をやっていく中でこの程度ですねっていう認識共有をしていて、それをなるべく
0:27:24	展開しやすいように、このページで文書化をしていくと。
0:27:28	いうことかなと理解をしましたがそういうことでよろしいですか。
0:27:32	はい。その理解ですちょっとは自明にちょっと言葉をしっかり、まだ整理できてないので、そういう進め方をさせていただきたいと思います。

0:27:41	はい。姑息です了解しまし。
0:27:45	とりあえず本文までで、私からは以上。
0:27:50	あと、本文まで、
0:27:52	一応合わせ
0:27:54	同 305 ページ、2、竜巻の、この表具体に書いてみた例ってのがいるんだと思うんですけど。
0:28:01	11 ページのところで、基本設計方針括弧弧本部
0:28:09	この関連するっていうのは、例えばこの竜巻防護板の話でいうと、第 2 章に書かれたものだけっていうことになるんですかね、第 1 章の共通的な話があって、第 2 章の個別
0:28:25	イメージは何か第 2 章のものが抜かれているような気がするんですけどそういうことでしたっけ。
0:28:30	日本原燃清水です。一章と 2 章の関係性があるものにつきましては、2 章のところで、設備の具体の設計約束するので、
0:28:40	今現状図 2 章で十分かなというふうに考えてございました。
0:28:45	規制庁館です。結果大丈夫なものが多そうな気がするんですけど、そこんところの抜け漏れはとりあえず信じてくださいっていう状況ですかね。
0:28:55	あ、すいませんコサクです。信じられるわけがなくて、
0:29:01	耐震とカー用の水とかもですけど、波及影響機器については、何らか説明してもらわなきゃいけないということだったと思うので、そうすると、
0:29:11	1 章で方針の対応者っていうのも出てくると思うんですけど、そこはいかがですか。
0:29:19	はい。日本原電シミズです。はい。そういう意味で、はい。医師 2 章だけですと危ないので、1 章もしっかりね、中整理したいと思います。
0:29:33	はい。規制庁の梶です。今おっしゃっていただいたようにちょっと最初に読んだのは、防護板とかネットとかだと今は Q A D を含めて、割と少し多めに書いてるところがあったので、
0:29:45	結果たまたまうまくいってる可能性がある貯油飯尾山ですけど、基本的には一緒、共通的な方針があってそれを舞台にっていう形なので、共通的な方針とか広く書いてるはずなのでそこを踏まえながら書いていただいた方が間違いなく漏れないかなというふうに思うので、

0:30:00	その上で、添付とかのレビューになると、まず本文は全部引っ張ってきてるんだからそこを踏まえた上でどこまで書くかという先ほどの話になるのかなという気がしているので、
0:30:10	ちょっと分量が多くなるかもしれないけど、本文だけだったらそこまでじゃないかなと思っているのでよろしくお願いします。
0:30:18	はい。日本原燃清水です了解いたしました。
0:30:24	はい。規制庁田尻です。
0:30:27	とりあえず小中コサクですすいません。今の点なんですけど、第1章と第2章で関連性もあるので、第1章第1章立てに並べるというよりは、
0:30:40	増すものにもよるとは思うんですけど、第1章を第1章と第2章を横に並べた形で拾ってって第2章で受けてない第1章で終わりにしているものっていうところを、
0:30:54	具体的に話ができるようにしとけばいいのかなっていうふうにも思ったんですけどそのあたりいかがですかね。
0:31:03	はい。日本原燃清水です。
0:31:06	今までちょっと1種をまず横に置いて横に印象が来るような形でちょっと整理したいと思います。
0:31:16	はい。補足ですよろしくお願いします。条文によっても、
0:31:20	いろいろとある条文というか第1章と第2章での関係性が殊、各条文によって違うものもあると思うので、そのあたりを見ながら、適宜対応いただければと。
0:31:33	ますんで、その辺りもまた、この本文のところに明確にしていれば、
0:31:39	いうところです。
0:31:41	で、コサクです、ちょっと異常ですと言っておきながら申し訳ないんですけど、タジリが後ろの方の話をしながら、前の話をしたので、その点でもう1点だけ言っておくと、
0:31:52	先ほど、
0:31:55	石原さんが言った全体抜け漏れがないようにみたいなどころ別紙側で衛藤、どっか、17ページですかね。
0:32:07	ええ。
0:32:10	リストアップしてこれが全体示したことになるかどうかみたいな話があったんですけど、

0:32:18	ここの部分こういう整理をしてどうやっていきますよっていうのが本文側になかったような気がするんですけどどうなってるんですか。
0:32:28	はい、乳井西浦でございますこれはまさしくですねおっしゃっていた、この後にドーンと月というか、言っちゃあれですけど、前回の審査会合の時点で、
0:32:39	集計したものを載せたのが今 17 ページのもんですけど、いわゆる 2-2 でいう評価であったり、もう視点を踏まえた時にさらにこの中に分類額が、
0:32:50	発生するようなものがあるはずで、そういうものもちゃんと整理をした上で、橋渡しをしないといけないと思ってました。例えばですけど外部衝撃では建物の中に収納して建物で防護しますよって言ったやつは、これ、設計を示していれば建物で設計を説明します。ですし、
0:33:10	そういったものがちゃんと明確になるような金額っていうのをやらないとですね、しっかりと海が終了しなくて、3 ポツに引き渡さない。また 3 ポツで何を説明するかよくわからなくなってしまうみたいなの。
0:33:22	なるかなということでそこを今至急整理をしな、しなければいけないという認識でありました。以上です。
0:33:32	古作です。ちょっと頭が私が飽和しちゃったんですけど。
0:33:36	今のところ、まず、後ろの方
0:33:42	分類をする考え方みたいなのは書いてあるけど、それを踏まえてどう後ろで書いていきますよっていうのが書けてないので、
0:33:53	そこをまた一つ、
0:33:56	3 ポツの中での章分けをするのか。
0:33:59	どうかはありますけど、書き込んでいきますってことでいいですか。はい。評議員の石田でございますはいそういうことをしないといかんかなと思ってました。はい。
0:34:11	はい、わかりました。それで言うとあれですね、後の
0:34:20	別紙については、17 ページでまず大枠の体系があり、そのエビデンス的に次表があつてと。
0:34:30	いう古藤。
0:34:34	さらにす、元今書いてある、その基本設計方針とかを並べながら、構造として説明しなきゃいけない。

0:34:44	要求事項っていうのを整理をするという話があってっていうのでそれぞれ記載項目がありますので、それをちゃんと並べてそれぞれの関係性と、
0:34:56	いうのを説明を入れるようにしてもらおうと、どこで何を見ればいいのかというのがわかっていいかなと。
0:35:04	思い
0:35:05	ます。
0:35:07	よろしくお願いします。
0:35:11	規制庁の田尻です。少し関連してなんですが、今お話があったように、3ポツの設備の構造設計があって17ページぐらいに、この間の2000機器とかそういう話があってっていう形になって、定評があってなんですけど、
0:35:26	表のところ急に累計の話があって、今303ページとか行くと、今回いた何で以下に関してはこういう設計方針の一部が異なるからとかでこういうふうに整理しますねっていう考え方が書かれるんですけど、
0:35:41	個別設備の整理の考え方はここなのかもしれないんですけど、これの共通的な要は何が異なったら、分類しますよっていう考え方とかが、全体に示されて、それを踏まえて評価整理されて、それが各上へ落ちてってとかそんな感じになるんですかね。
0:36:02	コサクですけど、
0:36:05	似たような話だと思うんですけど、
0:36:08	鶏と卵っていうか順番がいいよ、私もよくわかんないな。
0:36:12	で、今田尻が言ったページって分類整理した上で、結果内容を説明するところにもう入っちゃってて、
0:36:21	7-2そのあとに304ページで表が出てくるというのがわかんないなと思ってんですけど、どうなんかに、どういう認識でここに入れたのかとありますか。
0:36:35	日本原燃、清水です。
0:36:39	作業の整理の仕方としてはおっしゃっていただいた通り、
0:36:44	そう。
0:36:45	18ページ以降の表で登場人物明らかにして、すぐタイの300、
0:36:55	3ページ以降のところで、その分類の考え方をお示ししつつというのがステップなんですけども、それをさらに、何ですかね、この分類で目的

	ですよって指名するのに、やはりちょっとリストとの関係も示す必要があるということで、
0:37:10	ちょっと前に戻してしまってるってのが今 10 実態でございます。
0:37:15	井上西原でございます。一応
0:37:19	4、お聞きますけど、最初 2 ポツ 3 ポツで書いてるものの順番がほぼわかりつつ、いろんな表いくつか付けることも、またこの表とこの表の関係がっていうのを、
0:37:34	学生 0 日でということで、
0:37:37	表が出てくるところに全部の情報を入れ込んだというのが今の状態ですただちょっと説明の順番というのは理解をしますでそこは表の位置付けとあと文章の流れとの関係で、頭がごちゃごちゃにならないようにちょっとちゃんと整理をしなきゃいけないとここにあることが決して、
0:37:56	一番いい方法だとは思ってないのも実際でございます以上です。
0:38:03	コサクです。なので先ほど本文 3 ポツのところもちょっと、別紙との関係も含めてしっかりと網羅した形にして欲しいと。
0:38:13	ということでお話をしました。その結果として、ヒアリングとしてはその要求事項からの関係を聞かないと、
0:38:22	最初にある
0:38:25	リストもですね、リストというか、
0:38:27	そうですね。もう、何でこれでいいわけて、乗ってこのパーツとして何があるということが適切なのっていうのがわからないので、
0:38:39	まずはこれだと思っています。
0:38:41	その上で最初の方にある
0:38:48	機器リストの抜粋のものを、包含関係を見ていくと。
0:38:55	ということになるかなと思っ
0:38:58	てますので
0:39:01	まずはそういったところで整理をして見れるようにしていただける
0:39:06	田尻さんどうぞ。
0:39:07	ありがとうございます。
0:39:09	で、ちょっと表の話に少し戻ってなんですけど 12 ページの表があって、条文要求本文資本的法人本部が書かれていて、
0:39:20	具体は個別でか、確認してこうと思ってるんですけど、設計方針括弧添付書類って書かれてるところろは何らか抜粋の意図とかってもう整理

	されてるんですけどここ基本防護板に絡むノーっていうので書かれてはいるかなと思うんですけど。
0:39:35	割と絞って 305 ページとか以降です。書いてる気がしたのでこの辺りもどう網羅的にやったかっていうのが今後示されるんですかね。
0:39:48	はい。通そ降雨、日本でシミズです。
0:39:53	そこの網羅的に広いというちょっと考え方の 3 ポツの中でしっかり書き込んでいきたいと思います。
0:39:59	はい規制庁たです。考え方をまず示していただいて。だからこの部分を書かれてるんだなっていうのが理解できればいいと思ってるんですけど、まずは本文部分しっかり書いていただいてそれに対応する部分っていうふうに課題書いていただければある程度読めていくかなと思ってるんでよろしくお願ひしますというのと、
0:40:17	あとすいません。
0:40:18	設計上の配慮事項の加古周辺環境等ってやつが言うかと思うんですけど、ここっていうのは申請書との関連でいうとどこかの内容が持ってこられるんですかねそれとも。
0:40:28	これようにここに新たに書かれてる内容なんですかね。
0:40:32	本件でシミズです。12 月申請の時点ではここをしっかり書き込めてなかったというのが今の実情で申請書上今書いてなくて、作った文章になっております。
0:40:44	ただこの整理を踏まえるとやはり、申請書の中でもですねしっかりこの配慮事項というのを、
0:40:52	書かないと、具体の設計に繋がらないという認識ではあるのでちょっとそこら辺、申請書上の扱いもちょっと考えていきたいと思ってます。
0:41:00	規制庁田尻です。申請書の添付に書かれるのかそれとも図面から読み取れる内容を文字に起こしたらこうですって言うてるのかとかいろいろあり得るとは思うんですけど、一年生は配慮事項だけど申請時には全く読め
0:41:13	ない事項が書かれてるんですってなると、結局これ、どこから来たって話になりそうな気がするのでその辺りの整理もよろしくお願ひいたします。
0:41:25	コサクですちょっとタジリの発言の仕方が誤解をそうだと。
0:41:30	病院。

0:41:31	あと、今回はまず、志水さんが言われるように、
0:41:35	登場人物をちゃんとす。
0:41:38	説明いただけるよう2、添付書類に今書いてあろうがなかろうが、内容がわかるようにここを変えていく。
0:41:46	ということで、それを踏まえて、今後、このポイントは、全体的に添付書類のどこの部分で記載していきますっていうのを、ある程度進んだところで整理をして、
0:42:00	今後の補正で書き込んでいくという流れだと思ってますけど田尻さんそういう趣旨でいいですね。はい。瀬崎さん。
0:42:09	文言がすべてこのまま書かれるのか図面で、ここが読めるようになってるといのかとかは選択肢があるのかなっていうふうに思って先ほど発言してしまいました。
0:42:20	はい。補足です。なので、次の段階で添付書類にどうしていくかというのは、改めて原燃の方で考えて考えを説明いただければと思いますけれどもよろしいでしょうか。
0:42:35	はい。日本原燃清水です。はい。ちょっとこちらの作業をちょっとしながらですね、どういったものがあるというのをちょっと掴みつつ、申請書への反映の考え方ちょっと共通資料として整理していきたいと思います。
0:42:52	はい規制庁谷ですよろしくお願いします。
0:42:55	で、ちょっと続けてになるんですけど12ページの表でいうと構造設計と書かれてるところ305ページとかでも、多分まだ例として書いてるだけっていうことだと思うんですけど。
0:43:05	2段で書かれて一つの項目設計方針の添付書類に該当するやつが2段に分かれてたら、上が共通で、下が差分ということなんだと思うんですけど、
0:43:15	今、多分、A1とかA Bとかで差分が書かれてるんだと思うんですけど、ここっていうのは、それぞれの設計だけが書かれてその差分の説明とかではないんですけど。
0:43:31	2のナンバー2の段の2段目が、それぞれそういう設計してますっていうのが、単に並んでるようには見えるんですけど、ここっていうのは何を示す感じになるんですけど。

0:43:47	日本原燃清水です。いえ、やりたかったことは今立石さんおっしゃっていただいた通り、
0:43:52	左の廃油事故を踏まえして、
0:43:55	結果としてどういう設計の株が出たのかっていうのを書き、言ったか。
0:44:00	というのが今思い出考え方でございます。
0:44:03	規制庁館です今後竜巻ん時に個別に確認はしていこうと思ってるんですけど、単に構造形が違うだけですよっていう話をしたいのか、その構造が違うことによって評価とか考慮事項が違うんですよっていうのを言いたいのかが、何かものによって違うような気もするので、
0:44:20	その辺り確認していければと思ってるのでよろしくお願いします。
0:44:28	はい。日本原燃清水です了解しました。今ちょっと、我々としてはまず構造の違いを明らかにするという視点でちょっとここを書き込みたいというふうに考えておりました。
0:44:38	はい。規制庁田尻です。まずは意識書き込んでいただいて、その中で、意味のあるものとそうじゃないものっていうので最後綺麗にできればいいかなというふうに思ってるので現時点の状況は理解いたしました。
0:44:51	はい、飯尾清水です。はい、了解しました。
0:44:55	古作です。ちょっと別紙の話なのであとかなと思ったんですけど、触れられたので、
0:45:01	確認したいんですけど、これ、
0:45:04	横に
0:45:07	飛来物防護ネットだとこんなふうになっちゃいそうでき、よくないから、
0:45:14	ある程度統一的に説明ができそうな5番でと言ったんですけど、防護版でもこんなふうに、何かいろいろと違いがあるんですみたい。
0:45:23	なっちゃってて、よくわかんないんですけど何でこれ横軸2、1 b A B Cとかって並べる形になってるんですか。
0:45:41	日本原燃志水です。衛藤駒田ちょっと作業の途中なのかもしれないんですが、まず、その中の作業としては、そこで整理したい登場人物を並べて、それを、
0:45:55	全員を見た上で、最終的にはまとめられるところはまとめたいというふうには考えていたんですが、まだそこまで行きつけてないです。
0:46:13	古作です。どうすればいいですか。

0:46:20	はい。日本原燃清水です。
0:46:22	ここでまず我々の整理としてまず今の情報でちょっと硬いところもありますけども、差分がどこがあるのかという全容がわかるのでそれをちょっと累計してその表現するように、
0:46:35	価値を見直したいと思ってました。
0:46:40	はい、古作です。それで言うと、何かいっぱいこれ段落書いてますけど、今映していただいているところですね。
0:46:49	それぞれの段落に何らかの意味があるんじゃないかなと思うと、
0:46:55	すいません見てないのでちょっと正しいかどうかわかりませんが、
0:46:58	それぞれごとに
0:47:02	この設計上の配慮っていう項目が一つたち。
0:47:05	それに応じて
0:47:09	その配慮事項に対し、全体共通なのか、
0:47:15	どこか一つ特異なのかと。
0:47:18	一つじゃなくてもいいんですけど得意なものなのかということがあって得意なものはどういうものに対してという、またもう一つ小分類的な類型の考えがあってそれを明示的にしていただくと。
0:47:31	ということですかね。
0:47:35	日本原燃清水です。今ちょっと設計の岡崎さんおっしゃっていただいた通り設計の配慮事項に対しての、
0:47:42	繋がりが真横選べて表現できてないというところもあるのでそこも含めてちょっと水しっかり整理していきたいと思います。
0:47:51	はい。補足です。そういったところがわかるように本文で書いていただき、その例示として小海見えてそうだねっていうふうになると、展開できるっていうことかなと。
0:48:03	よろしく。
0:48:04	きます。田崎さんとして、
0:48:06	瀬尾タジリさんありがとうございます現状は正直横がぐちゃぐちゃに書かれてるような気がするので、今調査官から指摘あったように、本来であれば、横にせっかく段落分けて書いてるんですけど、
0:48:19	何かちょっと上のやつと並んでたりとかよくわかんなくなってるのでその辺りも含めて整理いただければと思います。

0:48:25	あと、ちなみにすいません一遍よくわからなかったんですけど、飛来物防護板の自営建屋っていうのは、これはたまたま準備が間に合わなかったちゅう話なんでしたっけそれとも何か違いがあるからまだ整理できてないって話でしたっけ。
0:48:43	日本原燃清水です今ちょっと資料の準備、概要図なりの準備がちょっと追いついてないので今、現状の数字として、記載させていただいております。
0:48:53	規制庁田尻です。なんで少なくとももう構造設計のところで書かれている上段部の共通的な設計部分は、横まで延びていく予定ですよって思っとけばいいですかね。
0:49:05	はい日本円シミズです。はい横に、今おっしゃっていただいた通り横に並ぶような考え、
0:49:12	のところもあります。すいませんコサクです。G A 建屋の飛来物防護版って何の話です
0:49:28	規制庁谷井ですけどこれは入行とかについてで書いたことかなと思ったんですけどこないだ付けるっていうと事故の話ですか。
0:49:36	はい。日本原燃のサカモリでございます飛来物防護板事業は先ほど田尻様にご認識された通り、発言されたようにですねあの時建屋周りについては鉄の大分のことでございます
0:49:48	シャッターとかああいうところでおりますのでそれを指しております。以上です。
0:49:57	コサクですそれはあれですか横に並んでいるワン A B C 経営と同じものっていう理解でいいですか。
0:50:05	はい。日本原燃のサカモリでございます構成部材としては支持学校と徹底となりますので部類としては同じになるかと、今そのように考えております。以上です。
0:50:16	コサクですその表現が前からよくわからないって言われて、
0:50:20	形で、
0:50:23	それは鉄板等自然学校といやあ、
0:50:26	大体一緒になって、
0:50:28	1 項のやつだって、そう言おうと思ったら入れちゃったりするような気もするんですけど。
0:50:36	そこは、

0:50:38	ちゃんと分けられる適切な表現になってるんですかね。
0:50:53	コサクですけど、
0:50:56	対になってるからもうよくわからないんですが、
0:51:01	その集合体としての適切性を、
0:51:05	話をした方がいいよねっていうことだったんですけど、随時なので今日はそれはできないっていうことで諦めつつも、
0:51:16	どういう議論ができるようにしといてくださいねというところですよ。
0:51:21	で、
0:51:26	うん。
0:51:27	一緒のものを、この表でやるということだとすると、先ほどの地溝のやつはまた別の表がつくっていいのでしょうか。
0:51:38	ただ、基本設計方針ってのは大体は同じであってってということだと思んですけどその辺りどう進めるつもりなのか説明いただけますか。
0:51:46	日本原燃のサカモリでございます。今コサクさんがおっしゃってる1個ってのはこの前介護で伺ったG. の
0:51:54	大分のことかと思ってるんですけども、それがですね事前防護ネットの一部ということで防護ネットの1%として扱う予定で今考えております。以上です。
0:52:07	ごめんなさいコサクです。何か認識が変わっちゃったんですけど、前はその方法ね。
0:52:13	とは別に、建屋側の、
0:52:16	につける設備として別出しで防護盤といいますって言ってたよ。
0:52:21	けど、何か違いました。
0:52:24	日本原燃田仲でございます。今ので理解しました。飛来物防護万事この間、先日
0:52:31	G. ネット等へとそれ以外の1個上から利用して塞いでますというご説明差し上げまして、それ以外の事項というのはこの日のこの表の飛来物防護番カッコgの中にある一部材でございます。以上です。
0:52:47	はい、古作です。そうだと思ったので、並べていいのか、並べた上で、分けて説明しますということなのかどういふふうに進めるつもりですかという質問です。

0:53:05	はい、日本石田でございます。そういう意味ですすね3ポツの出だしのところの続きで、3段落ぐらいですかねどういう類型をするかって考え方がまとまりなく幾つか書いてあります。
0:53:17	向上の観点と設計方針とか要求事項の観点とかあと機能の観点とかいろいろ観点を変えてるんですけどこれ、どちらかというと、ゲームに近い構造の観点っていうんすかね。
0:53:30	どっちつかずの状態の観点な例の類型になってるので、そこは設計方針をちゃんと並べつつその中での分類額を持ち込んで、ずっと方向に展開していく中での累計をして、
0:53:43	どれとどれが類型化されるのかっていうのをお示しできればなと思いますそのためにはただ全廃は出てないと、累計もくそもないので、素行は、情報の、結局タイミングも含めて、
0:53:57	お示しできる道路の検討をさせていただきたいと思います以上です。
0:54:03	はい。補足です。そこがポイントでして、飛来物防護盤について幾つかあるというところですけど、
0:54:14	ここ、302ページの目次でいうと、1ポツ2ということでもとめちゃって、
0:54:21	まとめた上、その次の文章で、1ポツ2ポツ11ポツ2ポツ入戸二つに分けていると。
0:54:32	ということ。
0:54:34	だけど、
0:54:35	さらに1ポツ2ポツ1の中には、
0:54:39	違うものが入っていると。
0:54:42	ということ。
0:54:44	なので、
0:54:45	そこがですね順々に分岐され、
0:54:49	るのがいいのかどうか。
0:54:51	ていうところですよ。それが先ほどの表のつく。
0:54:57	売り込みをどの範囲でどうやっていくかっていうことにも関係してくると思うので、その辺りの考えを作業しながら整理をして示していただかないと、次に行かないかなと思ってます。

0:55:09	はい、上西でございますはい。先ほど来、医師を入れてという話もしながらそういう展開をしないといけないなという認識もございますので、整理をさせていただきます。以上です。
0:55:26	はい。規制庁田尻です。若干絡むので言っておきますけど 303 ページのところの書きぶりだと、支持架構で支持する構造と直接建屋に支持する構造で構造が違うんですって話なんですけど。
0:55:39	G. のやつ、建屋にくっついてた疑いたような気もするのでこないだ言われたやつと別のところも言ったような気がするので結局どういうふうに、そのあとのやつを整理して説明するのかという考え方を示していただいて、
0:55:52	でないとやっぱり何か混乱するような気はするので、物がそろえば、ずっと説明できるようなのかもしれないですけど、確認してこうと思ってるんでよろしく願いいたします。
0:56:04	はい、日本エネシミズですはい。了解しましょう。
0:56:08	はい。成長度です。
0:56:10	一応、本文というか 17 ページのこれ、12 ページまでは十分以上ですけどどこまでで他の方向かあればお願いします。
0:56:21	規制庁カミデです。12 ページの表。
0:56:26	の横軸は、さっき話をしている本文も一緒に章あたりみたいな話でしたけど、
0:56:36	耐震は、じゃあどうするっていうと、耐震と竜巻、横軸一緒じゃなくてもいいかなっていう感じが。
0:56:45	してるんです話を聞いている中で、その辺、事業者なんか考えたりしました各条文一緒にした方がいいとか、
0:56:55	逆に分けてもいいかなみたいな検討ってます。
0:57:01	日本原燃清水です。
0:57:03	今現時点では、
0:57:06	形で、各条文整理できるかなというふうにちょっとまだそこまでしか考え至ってなんか、
0:57:16	古作です。もし、
0:57:19	何ですかね、
0:57:23	サポートっていうか、

0:57:26	言うと、耐震ってほとんど第1章であって第2章で、具体的に何かありましたっけっていう感じがあって、もとは第2章しか考えてない
0:57:36	っていうところから今の
0:57:39	問題点っていうのは多分考えに至ってなかったっていうのが実態なんじゃないかなと思ってます。
0:57:45	で、第1章の耐震について、抜き出す必要のあるところってあんまりないので、その点では表で一先懸命っていうよりは、スクリーニングをかけてこの部分っていうのをまず認識共有してっていう作業の仕方でもいいかなというふうに思います。以上です。
0:58:00	日本円でシミズです。はい。おっしゃってることがわかりました確かにおっしゃる通り地震ですと、一緒の基本設計方針全部抜いてくることに、構造説明に意味があるのかということそうではないのでそこら辺条文によって、
0:58:13	基本設計方針でもスクリーニングをかけてやるということもちょっと、3ポツの考え方の方でしっかり整理したいと思います。
0:58:22	はい。
0:58:24	規制庁神谷です。
0:58:27	そういう枚数さ、一緒に、
0:58:29	たくさん、最新はにしょうがないんでっていう話もあれば、
0:58:36	結構添付が多くにあって、いろんなこと書いてあってっていうことなので、
0:58:43	その添付も一つだけでいいのかって感じがするんです。
0:58:49	だとアクティビティのう、添付の説明書の
0:58:55	方針をとりあえずプロット貼ってるんですけど、そこってあんまり意味のないところで、他に何かあるんじゃないかなと。
0:59:06	例えば累計をしたところの設計プロセスの説明をする添付資料を作りますけど、素行の関係部分を貼ったりですね、
0:59:18	あとは
0:59:22	別紙4-1っていうんですかね、一番最初のその親脳天添付の方針の一番、親のものを使ってみるとか、ある場所を作っておくとかっていう、
0:59:33	方法もあるだろうし、
0:59:36	構造設計のところも、これ耐震の場合は計算書があって、FEM式のもののですけど、構造概要を書くところが、

0:59:47	ありますからそこを貼ってもいいんですよね。なのでどうせ整理をするなら、より
0:59:57	何だろう。
0:59:59	申請書、
1:00:00	その申請書と親和性の高いような形で、ちゃんと整理ができればな思っているところですからその辺も考えて
1:00:12	どういう見せ方がいいのかっていうのは少し頭を働かせてもらえればと思います。私からは以上。
1:00:21	はい。日本原燃清水です。おっしゃる通り、地震はいろいろ隔週添付書類ございますのでちょっとはい。
1:00:28	耐震メンバーともちょっと相談しながらちょっと、
1:00:31	考え方を整理したいと思います。
1:00:36	はい、五味ですよろしくお願ひします。じゃないと何か、また作業する人も、
1:00:42	膨大な添付書類から何かがあるんだっていう感じも、
1:00:45	して困るんじゃないかなと思いますから、あんま検討いただければとか。
1:00:49	以上です。
1:00:53	はい、規制庁田尻です。
1:00:55	12 ページまで 8% なんて言えば、ちょっと佐瀬ちょこっとだけ刻んで申し訳ないけど 13 ページ 14 ページの一覧表みたいのがあると思うんですけど。
1:01:06	先ほど言われたのかもしれないですけど、別紙 1 と別紙 2 の関係がよくわからなくなってるんですけど別紙一位で書く上ザッと行って、別紙 2 っていうのは、これは今後増えるんですかそれともこいつらで全部の登場人物になってるんでしたっけ。
1:01:23	日本原燃志水です。我々の整理としてこの別紙には今お示ししているもの、すべてのつもりでこの中に、
1:01:31	どの出張米州で説明するのかというのを整理して機器を割り当てていきたいというふうに考えておりました。
1:01:39	規制庁谷です。別紙 1 は先ほど言った条文で別紙 2 っていうのは
1:01:45	18 ページ以降の表をもとに出てくるんでしたっけ、別紙 2 ってどうやってこいつらが抽出されたんでしたっけ。

1:01:57	はい。日本N-Sシミズです。別紙2につきましては、これまでの会合でもご説明させていただいたような、主要条文というもの。
1:02:09	説明の条文ごとに説明するものの仕様条文というものを押す、整理して、その値を条文に隠せ設備の適合性説明終わり
1:02:20	割り当てていこうというふうに考えておりました。
1:02:23	規制庁、田尻です。
1:02:25	なんで、2-7のその他はバスケットクローズで最後何でも拾えるからとりあえず仕様条文書いて後は、
1:02:32	これでいいでしょっていうぐらいのもんと思っとけばいいですか。
1:02:35	日本原燃清水です。現在の考え方はその通りです。
1:02:40	規制庁館です。ちなみになんですけど、2-1で外部実施外部衝撃っていうふうにまとめて書かれてはいるんですけど、これ自主的に防護対策設備っていう意味でいうと竜巻がメインで出てくるから他のやつで一つ建てるより、1個1個建てるよりも外部衝撃でまとめてしまった方が説明がしやすかったと思っておけばいいですかね。
1:03:01	はい、日本原燃清水です。はい。今おっしゃっていただいた認識でございます。
1:03:07	はい規制庁館です。変わりました。先ほど最後にしゃーすいません。はい。コサクです。今までのところでちょっと
1:03:16	補足というか突っ込みというか、なんですけど、別紙1と別紙2の関係っていうところで、
1:03:24	とりあえず使用条文がありましてっていうのはこれまでの経緯はそうなんですけど、最終的に資料を整備するという関係からは、
1:03:34	鶏と卵はありますけど、別紙G T Gの中で、
1:03:40	この設備は、こっちの設備で代表、代表というか、
1:03:47	包絡説明できますねというところを見て、
1:03:52	行って符号をつけて、
1:03:54	行ったところで
1:04:00	他の条文で、
1:04:03	説明がし切れると。
1:04:05	いうところが
1:04:09	あれば別紙2として、
1:04:12	入れなくていいしと。

1:04:13	いくつか残ったというのを、別紙2-7というところで束ねてやりま すよ。
1:04:21	ということで別紙1を全体なめていった結果としてのアウトプットとして こういうふうにとまとめますよという、
1:04:31	ことだとは思いますが、いずれにしてもそこら辺の流れを、
1:04:35	3ポツなりという本文の中で整理をして、
1:04:40	まとめていただければと。
1:04:42	いうところかと思えます。で、
1:04:45	そうやって別紙の1、別紙1で整理をするにあたっては、別紙2の ところでの、ついている機能の表があってその分析の結果だと。
1:04:57	ということにもなるので、それもまた関連性として説明いただきたい というところです。以上です。
1:05:07	はい。峰シミズですちょっと。はい。今おっしゃっていただいた別紙、 Gから同意して別紙になるんだというちょっと関係整理の方もちょっと しっかりお示ししたいと思います。
1:05:22	はい。規制庁谷井ですよろしくお願ひします。
1:05:25	ではそのあと17ページ以降の表に関してなんですけど、大分見方だけ 確認しておきたいんですけど、18ページで、
1:05:33	先ほど以前から示してある設備リスト表のところにAとかBからBを書 かれて分類が下の水色のところで書かれていて、
1:05:43	そのあとのマルとか二重丸のところなんですけど、これ
1:05:46	は灰色一番江藤石谷凡例書いていた伴新野灰色のやつっていうのは、
1:05:53	これは、
1:05:54	後、今後何を、今後示すものとしては配慮のやつはどうしようとする って話でしたっけ。
1:06:01	音源シミズです。基本的にですね、灰色部分につきましては、1本とし て、施設全般的な共通的な方針を受けるところ、
1:06:14	上はですけども外部衝撃ですと、その防護対象以外は、補をしとか交換 で対応しますとかそういう共通的な方針を受けられるものを、このグレーの ハッチングで、
1:06:27	の近くでちょっと示したいというふうに考えて、それらについては、そ この説明に繋がるようなことがないので、少し切りたいというふうに考 えておりました。

1:06:37	古作です。それは根本的に間違ってますね。
1:06:41	構造説明は少なくとも、
1:06:43	の、
1:06:44	新設ものについては説明必要ですよ。
1:06:51	はい、すいません日本原燃清水です。
1:06:55	はいにつきましては全部の条文に対して適正説明をしなければいけないというおっしゃる通りですのでちょっと考え方をちょっと整理したいと思います。
1:07:07	はい。補足です。その上で、各条文で全部内容書かなきゃいけないかと、共通なので、煩雑になっちゃうからってというのは理解するんで、
1:07:20	どこかで整理をしておいて、各条の別紙今回1と別紙2のそれぞれのところでの説明においては、
1:07:27	別紙3なのか何だかわかりませんが、
1:07:31	共通で呼び込んでいって、具体の説明だけ、それぞれの別紙の中で、
1:07:38	書くと、
1:07:39	というようなことでもまあいいかなと思いますので
1:07:43	書類の構成は整理をしていただいて説明すべきところはしっかりと説明
1:07:48	するように、
1:07:51	はい。日本原燃清水です。はい。今アドバイスいただいたことを踏まえてちょっと資料の方、
1:07:56	別紙の構成も含めて見直したいと思います。
1:08:00	はい、規制庁タジリさんありがとうございます一番気になったところ今少し解決したのが解決はしてないですけど今後ここを示してもらえそうなのでよかったんですけど、1点ちょっと飛ばしちゃったんですけど先ほど水色のところで、
1:08:13	説明会をのすみません、構造概要の累計の横に評価対象の0ってやつがいるんですけど、
1:08:21	これは何の0でしたっけ、何度もあるって言っていいのかよくわかんないんですけど、これ0使わない場合ってというのは何者でしたっけ、何か今全部に丸がついてるのでちょっとよくわかんなくなりましたんですけど。
1:08:33	音源年シミズです。ここで、丸がつかないもの竜巻ですと、建屋内に収納される応募対象施設とかにちょっとイメージしておりました。

1:08:46	規制庁樽井です評価対象と評価対象設備かどうかっていうことですか。いや何か累計っていうやつ横についてたんで、累計の中で、こいつを基に説明したんですがまだ始めたのかなと思ったんでそういうことじゃないんですね。わかりました。
1:09:00	あまり、何か新しい方じゃないのがわかりました。ありがとうございます。
1:09:09	はい規制庁館です。
1:09:11	表の見方と直してもらおうところはわかったんだよと、個別個別のところは自分の条文で細かい含めてこうと思うので、表の書き方とかルールのなもので何か気になってあれも他の方よろしくお願いします。
1:09:27	古作です。この表で、
1:09:29	気になるのは、あとその数字となってるのがどういうものなの、どういう趣旨なのかどう進めていくのかっていうことなんですけど。
1:09:38	どうなってますか。
1:09:41	共通中に取りらんと。
1:09:51	建屋と、
1:09:55	あ、
1:09:56	すいません日本原燃清水です。こちら江藤スイート書いているものにつきましては、
1:10:04	ちょっと平行してこのリスト等、別紙2の分類分け、分類の整理の方をちょっとしてまして、そこがまだちょっと、
1:10:16	盛り込めてないところがございました建屋ですと、今外部衝撃の別紙2-1の中で、
1:10:24	2ポツ3という所で整理しようと思ってるんですが、そこをちょっと入ってフィードバックちょっとできてないところ等がございます。
1:10:34	古作です。それで言うと外部衝撃の中に入れるので消してないんだけど竜巻の趣旨じゃなくてっていうところがあって、
1:10:45	それを統合していくと、数字が埋まっていくっていうことですか。
1:10:52	はい、日本原燃清水はい別紙2の整理を、別紙2-1の整理を進めていくと、埋まっていると思って、埋まっています。
1:11:03	総務名刺の中でちょっと外部衝撃でおさまるものではないというちょっと整理した場合は他の条文のリストの方に、に行く場合もございます。

1:11:16	はい、佐古です。わかりました。今だと八条のところにも二重マルになってなかったりするんで、何でこのリストに入ってるだろうってよくわかんない。
1:11:26	けど、
1:11:27	まずそこも整理中ということなんですか。
1:11:38	すいません、日本へのシミズちょっと私も認識ちょっとずれてるところがあって今、この
1:11:45	解消で整理
1:11:49	しないものを今築地というふうになんかちょっと変えてしまっているところがあるので、そこはちょっと、しっかり整理して外相で整理するものと、他の分類で整理するものがわかるようにしたいと思います。
1:12:04	古作です。ちょっと混乱してますけど、
1:12:09	この別紙、
1:12:12	1でしたかね、作業って、その条文で二重マルになるものを抜き出して行って、その中で、別紙2でドーン
1:12:24	まとめていくかっていうところの振り分けの確認をするっていうことだったと思うんですけど。
1:12:31	違いましたっけ。日本原電シミズですはい今、日下さんおっしゃっていただいた通り、
1:12:36	左の条文のマトリックスのところでも二重丸という整理したものに対して、
1:12:43	旅行の類型の中でどう分類するんだっていうのをお示しするものでございます。
1:12:49	ので、ここで二重丸が塚田八条で二重丸がつかないものは、左側の類型のところでは、白、富対象外になって他の条文で、
1:13:03	類型整理するものとなりますのでそれがちゃんとわかるようにしたいと思います。
1:13:09	コサクですけど、ニジュウマルじゃないものは、このリストに残るんです。
1:13:14	だっけ。江藤。日本原燃清水です。この資料の表の目的としまして、
1:13:21	17ページの8条竜巻で整理したものの内訳のちょっとエビデンスという目的もありました。あり、あるので、ニジュウマルつかないものについてもリストとしては残ります。

1:13:37	人間自社でございますそれが先、一番最初私が言った2ポツと産物の境界の考え方をまとめないまま、もともと審査会合をつけたリストを、
1:13:50	ちょっといじくって作ってしまっただけで変化球になってるのが今の表ですので本来その17ページのやつをまとめた表というのがあった上で構造の説明をするのに、じゃあ竜巻でやるのは誰って、
1:14:04	いろいろ抜き出して出てくる表っていうのを、
1:14:07	幾つの表があってもらうと言って全部コサクしちゃってるんでちょっと今立ち位置がよくわかんなくなってるということだと思ってました。以上です。
1:14:25	りす分がよくわかんないんですけど、
1:14:29	17ページでカウントしてるっていうのはニジュウマルだけじゃなくて0のものもあります。
1:14:36	いう古藤丸の部分はどう、
1:14:41	表していくということがこの17ページとの関係で必要なのかってことですかね。
1:14:47	はい。乳井西田でございますはい。おっしゃっていただいている通りでございます素行がないと、見ている人がこの表一体何だかって話になるし、
1:14:57	その設備ってどこで出てくるんだというのもわからなくなるので、その辺をちゃんと整理が必要かと思ってました。
1:15:06	はい。補足です。わかりました。
1:15:09	あとで、元はこの17ページとの関係っていう話では、共通13で出しますと言っていたんですけど、
1:15:19	分ける必要ないよねと言ったところ入れる時にどうするかっていうのを、今悩んでいるっていう状態だっていうのが現状認識ですかね。はい、西田でございます。おっしゃっていただいている通りでございます。
1:15:34	はい。補足です状況はわかりました。で、その意味では入れていくというところはあるつつも、
1:15:41	ただ
1:15:42	そうすると、丸が多くてニジュウマルが飛び飛びでいっぱいあるってなると、
1:15:49	わかりづらいし、わざわざ
1:15:53	別紙Cとしていっばいつけるっていうところとの関係でも、

1:15:59	もったいない。
1:16:01	だと思っんですよねページ数だけやたら増えちゃってと。
1:16:05	二重丸のものを類の類型を見ようとしても、
1:16:09	ページが飛びまくっちゃってるので、どれとどれだよみたいになっていくというのはよくないので、
1:16:16	その意味では、
1:16:20	安全機能を有する施設なりっていうのの数は、そもそもがその設備リスト全体で示しているはずで、
1:16:30	ここに示す必要があるのかっていうところもあるんじゃないかなと思いますから、
1:16:38	別姓それぞれの別紙の－何番で示すということと、
1:16:44	全体で示すというこ等を少し整理いただいた方がいいんじゃないかなと。
1:16:51	いう気も。
1:16:53	今の話を聞いてると思いますのでそれも含めて今回別紙として何を示すのかと。
1:16:59	いうことを改めて整理いただいたらいいかなと思います。
1:17:07	はい。日本原燃清水です。ちょっと考え方チョクセイ悩ましいですけど整理させていただきたいと思います。
1:17:19	はい。規制庁の田尻です。で、一応今ので表までののはなCですけどここまで何か他の方ありますか。
1:17:30	規制庁岡です。ちょっと確認させてください。24 ページ目から、
1:17:35	IUの話があって、結局今回も案いうは、
1:17:40	対象条文として丸はつけない。
1:17:43	という整理のまま、とにかく案言って入ってたらここに、
1:17:48	入れてくるとそういうふう整理されたということでしょうか。
1:17:52	日本原燃シミズですいませんちょっと後まだ作業ができてなかったですね、ああいうと、作るものも、
1:18:00	条文対象だということはしっかりこの表の中で示したいと思っておりました単純にバーではなくて、はい。
1:18:09	はい、規制当局今後じゃあ、そこも見直されるということで理解しました。以上です。
1:18:18	はい規制庁谷です。

1:18:20	Dはちょっとページ飛びますけど表は、途中から持ってなかつたりするんでそそういったところも今後見られるという認識をした上で別紙2から構造概要書いてあって、本日どこまで一つ一つ細かくっていうところLowerあるんですけど、
1:18:35	ちょっとどう変えていこうとしてるかっていうところで気になる点を聞いていければと思うんですけど。
1:18:41	ちょっと僕が竜巻いきなりちょっと304ページ飛ばしちゃいそうなんです、304ページ地震的になるところさっきあればお願いします。
1:18:56	カミデです。300、
1:19:00	4ページ。
1:19:06	はい。
1:19:07	赤木です。先ほどお話しちゃった通りですね横軸として何を書くのかっていうのは、耐震は耐震で整理した方がよさそうだな。
1:19:18	わかりやすくなりそうだなっていう。
1:19:22	ぐらいですかねえ。
1:19:25	大坂です。
1:19:27	今カミデくんが言った通りで、他条文のところで、関連条文として何を書くべきかっていうのを個別に話してもしょうがないので、
1:19:39	まず、
1:19:41	各それぞれの条文で、何をこうピックアップする構造としてピックアップすべきかというヒアリングをした方がいいと思います。その点でも、耐震はすべてに絡むので、
1:19:53	それが議論できる耐震のヒアリングを早々にやった方がいいかなと思いますけど、原燃はどういうふうに進められますかね。
1:20:07	いいよねシミズです。はい。ちょっと先ほど来あった通りちょっと条文ごとで作りかたが、それぞれ違うと思いますので、
1:20:17	ちょっと打ち合わせヒアリングに、の方をちょっとセットさせていただきたいと思います。
1:20:30	はい。規制庁土肥です。耐震、赤嶺さん何かありますか。ごめんなさい。
1:20:37	大丈夫です。はい。はい。規制庁丹治です。今お話が出たように、結局それぞれで詰めてった方がいいと思うので、竜巻も今1個1個細かくやってても仕方ないんですけど、

1:20:49	ざっと言う、ざっとだけなんですけど、とりあえず穴空いてる部分に関して、確度とかそういうのでどこをしようと思ってるんだと思うので、そこはまず説明してもらわないと結局これでいいのかどうかっていうのがおさまらなくなるので、ちゃんと準備してくださいねと言ってんと。
1:21:03	あと 321 ページとかのところで、ナカハマのボルトの穴長いやつの話されてるんですけど、保守的に考慮しませんよって言うんですけど、長いことによるデメリットの方にも触れてくれてなかったりするので、そういったところについては今後聞いていきたいと思ってるので準備のほどよろしくお願いします。
1:21:24	はい。日本原燃田仲でございます今のいただいたご指摘の方へと資料に反映していきたいと思えます。よろしくお願いします。
1:21:32	はい。規制庁谷です。大枠として他の方で気になるところあれば、竜巻としてはその 2 点で、降下火砕物としてはあんまりどこってならないような気がしてるので、
1:21:42	自分の分としては今後個別に確認施工かなと思ってます。
1:21:48	それ超過です。ちょっと図面の書き方ということで、322 ページ目の、
1:21:54	外部火災関係なんですけど、
1:21:57	もそうだったんですけど、
1:22:00	空気墜落位置をどういうふうを設定しているのか、火炎の円筒火炎のどこに配置して、下からこういう売り方でも、ちゃんとここまでの範囲ですっていうのがわかるように、
1:22:15	愛知の設定ですねそこまで書いていただきたいんですがいかがですか。
1:22:19	はい、井上センター長でございます。今の指摘については、図面の方に想定している外周位置がどこにあるかっていうのが分からない質問だと理解しました。それについては
1:22:29	図面の方に追加したいと思えます。以上です。はい。よろしく申し上げます。
1:22:34	以上。
1:22:38	日本原燃のサカモリでございますすいません先ほど館さんのちょっとながらの説明の件についてすいません私の勘違いが入ってたら申し訳ないちょっと確認させていただいてよろしいでしょうか。
1:22:50	長野評価のデメリットですねこちらのいわゆる 2-2 の評価項目の方に入るかなとちょっと考えていたところがありまして、今 2 分の 1 という

	かそういう構造材を説明するところですのでちょっと後になるのかなと思ってたんですけども、
1:23:06	それもこん中に織り込んでいくということで、よろしかったですでしょうか。
1:23:10	規制庁田尻です。個別条文行った時これプラスで示すんでもいいんですけどながらなんで剛性ちょっと弱いところありますよとかそういうところぐらいしかないような気がしているので、ただ考慮してるのがここで言っというてもらわないと次に繋がる継ぎ手が個別の条文のところに繋がらないかなと思って言っただけなので、
1:23:27	この資料に事細かに何でも書いてくださいっていうとわかります。はい。谷さん、ちょっとこの数。
1:23:35	背量でどういう作業が必要かっていうことをちゃんと伝えるようにしないと、せっかくそのサンプルで話をしてるよにこれの個別の話になっちゃってるので、
1:23:46	問題かなと思ってます。で、一番問題だと思ってるのは、
1:23:51	懸念したことが浮き彫りになってるんですけど、2-2の説明だと思いますということなんだけど、
1:23:58	今日の午前中のヒアリングでも飯塚あったと思いますが、
1:24:02	最終的な評価で現れるんだけど、その評価をするにあたって、
1:24:07	構造設計としてこうしますよっていうのは設計の話で、
1:24:12	ここで言えば、長野で設置しますということは構造設計でやって、それは説明してもらわなきゃいけない。その前提が評価でこういうことをするからだと。
1:24:22	いうことは、この資料の本文の3ポツのところでもそういうものは書きます、説明しますっていうことになってたと思うんですけど。
1:24:31	その点で、何かコミュニケーションとしてずれはあるんでしょうか。
1:24:38	規制庁タジリ部長。はい。
1:24:41	衛藤。
1:24:42	今現状においてすいません記載がなかったのでっていうところでただ今、すいません減免が言ってきたのが、何かもっと細かな話をしようとしてるような気がしたので、考慮するところさえ書いてあればこの資料として完結するのかなという意図で僕は言いました。
1:25:01	日本原燃清水です。はい。今のところでもう、

1:25:05	評価を見据えて、構造的に説明しなきゃいけないところはここに共通時にしっかりご説明しますということを書いていますので、その構造を説明する。
1:25:15	キックになってる評価との関係ですねそこをちゃんと書き込んでいきたいと思います。
1:25:22	はい。そこです。それで言うとあれですか今、
1:25:26	移されているその図面のところ2評価においては、書いてある。
1:25:31	けど、
1:25:33	表の方では、その旨が書いてなくておもむろになガーナを設けるとしか書いて、
1:25:40	いないので、その部分を表の中に埋め込んで何でこれが配慮事項なのかと。
1:25:47	ということがわかるようにするってということですかね。
1:25:51	はい。日本原燃清水です。はい。そのような整理をさせていただきたいと思ってます。
1:25:57	はい、わかりました。
1:26:05	はい、規制庁タジリ数をほか全体通して他にある方お願いします。
1:26:13	古作です。
1:26:17	304 ページから、表で本当に網羅してるのかと。
1:26:22	いうところなんですけど。
1:26:26	あれですかね網羅してなさそうに感じるのは先ほど、表の中で灰色四角になってるようなものが見えないからとかってそういうことですかね。
1:26:37	はい日本原燃シミズですちょっと入口で切り過ぎてしまったところがあるのでそこが見えてません。
1:26:44	はい、わかりました。
1:26:46	その点を入れ込んでいただいて、
1:26:52	こちら辺が網羅した形で見れるようにと、それがあってようやく全体に展開できるということになるのかなと。
1:27:09	通称館です。他に規制庁側から何かありますでしょうか。
1:27:14	規制庁カミデです。
1:27:20	何ページぐらいがいいかな 323 ページとかその辺り、
1:27:25	この
1:27:27	2、

1:27:29	どうなってるのかなって気にするポイントがなかなか説明されないなと思っていて、特に
1:27:37	縦やあ、
1:27:39	菅D。
1:27:41	その経営と分離の間の、
1:27:46	学校なりが、これ繋がってるのかつながらないのか、おそらく繋がってないんだとは、
1:27:53	思うんですけど、トリアイがよくわからないんですね。なのでそのあたりは
1:28:01	設計として説明するポイントだと思って欲しくて、そういうところはわかるように、情報を入れてくださいねっていう感じですね。
1:28:12	それはここの、
1:28:16	建屋間もそうだし、あとは基礎とか、どういう基礎からとってるのか、どの建物と同じ基礎から取ってるのかみたいなのところも、わかるように、情報を入れてください。
1:28:29	ちなみに、
1:28:33	どこだっタカナシ 322 ページもなかなかイメージのつきにくい感じ。
1:28:40	これも異なる基礎から取ってるものが上で繋がってるのか繋がってないのかっていうのがよくわからないんで、
1:28:50	拳わかるようにしてくださいってということなんですけど、ちなみにこれあれなんですね主排気塔の基礎からも、
1:29:00	取ってる部分があるってことなんですよ。
1:29:04	まずそういうことですかね。
1:29:10	はい。日本原燃原田です。ですね竜巻設備の基礎については、
1:29:18	どう言ったらいいんでしょうね。主排気塔の基礎に、ちょっと増設する形できそう。
1:29:24	設置し、それに付ける形で構築してます。
1:29:30	その基準はちょっと、
1:29:33	将来既設の基礎を使う。
1:29:37	勝手にちょっと解釈によると思うんですけども、ちょっといずれその辺がわかるようにですねちょっと図面を少し用意していきたいと思います。以上です。

1:29:48	日本原燃のサカモリでございますちょっと少し補足させていただきます。309 ページのところですね主排気止まりの防護板のブロック、
1:29:59	東ブロック中国西ブロックで三つの独立したブロックがございます、それぞれをどのように基礎から取っているかっていう図面を一応し、付けさせていただきます。
1:30:10	記載についてはですね 304 ページの表ですね、こちらの地震の表になりますけどナンバー1の方にもその旨を示させていただきますので、
1:30:22	またちょっとご確認いただければと思います以上です。
1:30:29	藤規制庁カミデです。まず 309 ページも見て、何か基礎分かれてるんだなあとはいってるんです。ただ、上の、
1:30:41	方がどうなってるかあんまりよくわかんないってこと等後は、その諸排気塔の基礎としてどうなったのか影響を受ける側ですね、最初にもちょっと話はありましたけど、
1:30:54	その辺がまだよくわからないと出て、実際司会木藤と木曾の書記等の計算書耐震の計算書何個を見ると、増設した。
1:31:06	部分も込み込みで今回評価してたんじゃないかなあとと思ったんですけど、事実関係として終わってます。
1:31:15	はい。日本原燃原田です。はい。主排気塔は3部として評価してますよということで、その中の中央ブロック、真ん中のブロックの基礎については、
1:31:27	既設の基礎統一を設置基礎を込み込みで、
1:31:30	それ。
1:31:32	評価したものをお渡ししております。以上です。
1:31:37	はい。カミデです。そういうところが表だったり、
1:31:43	2 多分整理されるといい、いいのかな。一体として、計算していてそれは耐震計算書の何々を見てくださいみたいな感じだと大分、
1:31:55	交通整理としての機能を果たすのかなという感じがするんで、その辺りを
1:32:03	わかりやすいようになればという感じです。ちなみにそのこないだ会合で、別添って形でリストをつけてもらいましたが、
1:32:15	耐震の耐震なかったら、そうですね、設定値が耐震で主排気塔だとこれ工事の有無がバーになってるのでこれも木曾増設してそれで形。

1:32:27	計算してるのに、なんで工事してないんだらうなっていうのは不思議に思ってるところなので、それもいずれ綺麗になったもので確認できれば、
1:32:38	とりあえず私からはそんなところですよ。
1:32:46	コサクですちょっとカミデさんに質問しつつなんですけど、最初に言ってたその建屋間のところでの、
1:32:54	加工だっりの構造はっていうのは、それぞれで耐震計算するから、相対変位とかで、どう、そこを設計配慮してるのっていうことですかね。
1:33:08	はいカミデですおっしゃる通りで、
1:33:11	相対変位の評価が載ってなかったんで、ダクトにぶつかりませんっていうのは載ってるんですけど、学科鋼管の衝突みたいのは見てない、見てないんで、
1:33:24	うんどうなってんのかなっていう感じだ。
1:33:26	でした。はい。
1:33:29	はい。補足です。現年そのあたりは、この書類でこういうふうにしてますって間が各イメージをもうついていますか。
1:33:40	はい。日本原燃原田ですけれども。そうですね。ちょっと今の竜巻と同じ整理だとかその辺が全然見えてこないなど。
1:33:51	思いましたので、ちょっと。そうですね。度どういう形のものがあって、こう評価しているかっていうのを、
1:34:02	見えるような表の整備の仕方を工夫したいと思います。
1:34:07	コサクです図表としては、そういう相対変位を考慮しまして、ぶつからないようにだったり何なりっていうところはあげなきゃいけない。
1:34:17	ということでそれを踏まえて図の方では、
1:34:21	物としてこういうふうな構造にして、ぶつからないようにしてますとかっていうのをわかるようにするということで、おそらく上出が言ったような視点をまだ抽出しきれてないので図面に表せないで。
1:34:31	ということだと思いますからまずは、耐震の方でしっかりと項目抽出をし、図面の方でも対応できるように、図面の方っていうと、
1:34:43	各条の図面それぞれに入れ込んでいかなきゃいけないということなんでよろしくお願いします。
1:34:49	はい、本件では承知いたしました。

1:34:54	規制庁浜崎ですちょっと今話が出たんで323ページでもいいんですけども、荒田さんにお聞きしたいんですけどもこれ、建屋かも跨ってる学校って、建屋間の
1:35:05	建屋関連Xエキスパンション
1:35:08	取ってるんですか。学校って一体になってるんですか。
1:35:14	40ハラダか。
1:35:20	323ページの、例えば断面があります40ページ、横断的に学校がこうつくれ作られている、この学校っていうのは建屋間の
1:35:31	建屋下においてエキスパンションをとってるんですか。
1:35:35	日本原燃のサカモリでございます今、323ページの経営建屋とA B建屋の境界だと思うんですけども孔口ですね実は隙間があってですねすいませんそれが図に示されていないんじゃないかというところなんですけれども、それを今後拡充していく必要があるというのは私、我々も認識してございます。
1:35:52	ですのでここはエキスパンションがあるところではなくて隙間がある、相対変位量を考慮した、隙間があるということになります以上です。
1:36:01	こちら岡崎です。そういう構造が全くわかんないんで、記載をお願いしたいっていうと、あとついでに言うと、A B建屋の、これは
1:36:12	藤東側になるんですかね一番下の右向かって右側の
1:36:17	G Lから来学校で立ち上がってるんですけども、
1:36:20	これでして、この学校自体は建屋から支持してるんです、建屋だけから指示してるんですかそれともG L面で何かこう基礎を増設して、それから立ち上げてるんですか。赤田支店長どうぞ。
1:36:32	P Lを基礎として、赤瀬さん。
1:36:37	日本原燃花田です。原田です。一番東側のあれですかね壁にくっついてる部分のことをおっしゃってるんでしょうか。にくっついて後、G L。
1:36:48	C L G Lの、例えば、下のコサクですグランドレベルっていう意味ですよ。そうそう。だから、地表面からしてるのかどうかっていうそうですね。
1:37:01	日本原燃原田ですけども、江藤石田はですね接してなくてですね、少し隙間があいてます。わかりました。さっき排気塔のところは基礎共有してみたいな話があったんですけどここは

1:37:17	期いわる地中に埋め込まれるような基礎がないということで理解しましたんで、ちょっとやはりそういう違いが明確にわかるような説明の方はこの場でして参りたいと思います。よろしくお願いします。
1:37:30	それで日本原燃の坂上でございます。324 ページの方に行っていただくとですねその付近のところプラス面計の拡大図がございまして、こちらすべて建屋から志賀田内事件をとっているっていうのがわかりがあるかと思えます以上です。
1:37:49	伊勢町ハバサキですが、
1:37:54	地表面には荷重は全くいってないってことなんですね、これ。
1:37:58	そういう理解でいいんですよ。
1:38:01	はい。逸見サカモリでございます。その通りでございます以上です。はい。規制庁、田崎です。わかりましたけど今この現状の図でそれは、
1:38:11	ちょっと判断しかねないんで、しかねるので、ちょっとそこを明記してもらえますでしょうか指示支持形式ですね。
1:38:19	はい、そうですね日本原電ハラダですけれどももう認め接してるように見えちゃいますので、ちょっと誤解のないようにですね、もうちょっと丁寧に修正したいと思います。
1:38:32	はい。関沢月個別のところは個別でまたいろいろ尋ねますけれども、おっきなところ主事形式だとかですねそこはやはりこの資料でもわかるようにしてください。
1:38:43	以上です。
1:38:53	はい。規制庁田尻です。こっから規制庁側から何かありますでしょうか。
1:38:59	そうであれば現場から振り返りをお願いします。
1:39:09	はい。日本原燃清水です。
1:39:13	はい振り返りといたしまして、まずは、
1:39:19	ごめんなさい、振り返りのちょっと
1:39:22	先ほど建屋間では、
1:39:26	隙間をあけてますっていうことだったんですけど、隙間が空いてるとすると、今度はそもそもの竜巻の対策としての飛来物防護盤との関係でどうなのかっていうのあるんですけどそこはどういう設計になってんですか。

1:39:49	はい、少々お待ちください。日本原燃のサカモリでございます当該箇所にはですねラビリンス構造のものがあるというふうに今思っております。そういうのをちょっと絵でお示ししたいと思っております以上です。
1:40:02	はいコサクですよろしくお願いします。
1:40:15	はい。日本原燃清水です。振り返りの方ですけども、
1:40:19	全体的な話としまして、2 ポツで整理した類型分類から、3 ポツへの繋がりでですね。
1:40:28	ここの繋がりのまだ整理がまだちょっと十分ではないと。
1:40:34	ということがございますので、その点しっかり整理したいと思っております。
1:40:42	あとは、
1:40:45	17 ページの別紙 1 のリストですね、こちら先ほどお話にも繋がりますがけども、防護対策なり関連条例 20 までつくものと、
1:40:57	安全機能を有する施設みたいな、丸だけつくものをちょっと示し方リストの整理の仕方っていうのはちょっと全体的に、今一度考えたいと思っております。
1:41:11	はい。あとは、
1:41:13	別紙 2 の、
1:41:16	各条文ごとにつけていく、
1:41:21	構造設計の整理の表の方ですけども、
1:41:24	まずは大きい話として、まず、業績を施工し抜け漏れなく一生をしっかりこの中で整理すると、いうことを、それを本文にも記載するということ。
1:41:34	あとは、その各条文、
1:41:37	ベース、条文ごとにですね、ちょっとこの表をどうするべきかっていうのですね。
1:41:41	こいつでちょっとヒアリングの方を設定させていただいてご議論させていただきたいと。
1:41:47	いうふうに考えております。
1:41:51	はい。あとはさ、いろいろ表の内容であったり、図面对応図の内容で、

1:42:00	説明すべき点がですねしっかり洗い出す設定ないというのと表現しきれ てないという点がございましてこちらの方は、全体的にブラッシュア ップをしていきたいと。
1:42:13	いうふうに考えております。
1:42:15	ちょっとスケジュールの方なんですなのですが、
1:42:20	今まで安里浅野ヒアリング示したスケジュールではちょっと今、いけな いのでいけないというふうな認識ですので、まず日、この別紙2の表の つくりをどうするのかっていうところをですね、ちょっとどういう順番 というかスケジュールで、
1:42:37	説明させていただくのかというちょっとスケジュールの方をちょっと改 めて考えた上でちょっと、
1:42:43	来週ちょっと朝のヒアリングの中でご説明できればなと思っております ちょっと今後の進め方の方はちょっと1度検討させていただきます。
1:42:57	とコサクです。
1:42:59	確かに今日のコメント結構いろいろとあって、悩ましいことも多いと思 うので、少し考えていただいて、来週、進め方を改めて、
1:43:11	いうところで理解をしました。で、一方もともとスケジュールどうして くんだってというのは、会合に向けてはあやしい部分もあったので、
1:43:21	それも週明けに話をしましょう。
1:43:25	ちょっと先ほど、最後に言ったところで、
1:43:31	資料の作り込みっていうところから気になったってお話すると、
1:43:35	表もすべて条文ごとに書かれてて、複数の条文の要求に対応するところ を、調和を図る形での設計をしなきゃいけないというポイントについ て、
1:43:50	先ほどもその図面で話をしたらいやそこじゃなくてこっちのページにあ りますとかいうのがあったんですけど、
1:43:59	一体で、そういう調整状況が見れないと、それはそれで毎回聞くことに なっちゃうので、
1:44:07	関連スルー図面があるんであればそれもあわせて示していただくとかで すね、考慮が必要かなと思うんですけど、今何か考えてることありませ るか。
1:44:21	日本原燃清水です。

1:44:24	今もともと考えていたのは、304 ページ以降の、この条文からの表の中で、
1:44:34	他の条文の設計方針とリンクして考えなきゃいけないものは、例えば地震ですとナンバー2の中で、
1:44:43	飛来物防護板はノーリツの2列目のところですけども、
1:44:49	一番下に進み括弧です。ねこれ。で竜巻の、
1:44:53	設計方針とリンクさせながら、設計、構造設計を考えなきゃいけないっていうのをまず明らかにして、その前に書いてある図面でその関連性が、図面との関連造わかるのかなというふうにちょっと整理したいというふうに考えておりました。
1:45:14	すいません。今の2番た地震の2番で、
1:45:21	竜巻の番号が、
1:45:23	売られていて、
1:45:25	D2、
1:45:28	配信の関係から示す図版が書いてあると、ということなんですけど、その図版の中に、
1:45:35	竜巻の中についての対応も書いてある。
1:45:40	すいません、日本原燃施設へそこまでは今かけていないので、ちょっとその図の番号のちょっと示し方はちょっと追加で考えたいと思います。
1:45:51	はい。補足です。なので、こっちで書いてありますからといってもその図を見に行った時にその図の中で、竜巻の、じゃあ、
1:46:00	ナンバー2についてどうかっていうのがわからないと意味がないので、
1:46:05	図の方でも、表なり図なりってところのリンクを書くというような工夫が必要かなと思いますのでよろしくお願いします。
1:46:15	はい。日本エヌシミズです。了解いたしました。
1:46:24	はい。規制庁田尻です。他原課規制庁が何かありますでしょうか。
1:46:31	日本原燃は特にございません。
1:46:34	はい。規制庁田尻です。それでは本日のヒアリングこれで終了したいと思います。
1:46:40	録音停止 S I M M E R す